周西公民館開館20周年記念誌

つなぐ周西



周西公民館開館20周年記念事業実行委員会
君津市周西公民館

目 次

あいさつ ---------- 2

巻頭特集　写真でみる周西の今昔 ---------- 5

第1節　すさい今昔

第2節　記録に残したい　すさいの今

第１章　地域と公民館の１０年 ---------- 15

第1節　10年のあゆみ

第2節　特集　2016-2025
台風・大雨災害　と　新型コロナウイルス　あのとき私たちは

第２章　公民館事業・取り組みのあゆみ ---------- 43

第1節　公民館事業・取り組みの変遷

第2節　公民館事業・取り組みの概要

第３章　地域の歴史・文化を未来へつなぐ ---------- 59

第1節　「すさい・まちの変化　100の記憶」が伝えるもの

第2節　【資料】周西地域史関連文献一覧

第４章　サークル・団体活動のあゆみ ---------- 67

第1節　サークル・団体活動のあゆみ（寄稿）

第2節　サークル・団体活動の変遷

第５章　資料・データ ---------- 89

施設概要、施設利用状況、人口、自治会長（市政協力員）、青少年相談員、公民館運営審議会委員、公民館だより編集委員、利用運営協議会・利用者の会役員、職員、20周年記念事業実施要項、20周年記念事業のあゆみ

編集後記 ---------- 103



開館20周年を迎えて

周西公民館開館20周年記念事業実行委員会 実行委員長 相場　明彦

周西公民館は平成18年５月に開館して以来、地域の公民館として今年で20年目の節目を迎えることが出来ました。利用団体や地域の関係機関・自治会など、様々な方々のご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。開館10年目の記念誌には公民館ができるまでの経緯が記されています。また、10年前には50を超える団体が利用されており、地域の憩いの場となってきました。その後、新型コロナウイルス感染症のまん延により、人々の活動が制限され、休止を余儀なくされた団体も数多くありました。現在では、37となり、徐々に活気を取り戻してきています。

公民館は、人づくり、地域づくりの礎の機関として設置された社会教育施設です。今後も地域の課題や社会の変化に対応し、地域の過去・現在・未来をつなぐ役割を担っていただき、「また来たい」と思える、温かい公民館の運営を継続していってほしいと思います。また、老若男女が集う、生涯学習の拠点として、地域を盛り上げる土台となっていくことを願っています。

20周年事業では、防災学習、ＸＲ技術体験、聴覚障害理解の講演会、地域挙げてのモルック大会、記念式典・記念文化祭の開催、記念誌の発行と多くの事業が取り組まれています。これらの記念事業にご尽力いただいた実行委員の皆様、並びにサークルの皆様に心から感謝申し上げます。

結びに、これからも地域の皆様や利用団体の皆様など、多くの方からのご支援・ご協力をお願い申し上げましてご挨拶とさせていただきます。



開館20周年に寄せて

周西公民館　館長　五十嵐　徹

周西公民館は平成18年の開館以来、地域の皆様の温かいご支援のもと、晴れて20周年を迎えることができました。これまでの歩みに関わってくださったすべての方々に、心より感謝申し上げます。

この20年間、当館は「地域に根ざした生涯学習の拠点」として多様な事業を展開し、文化祭や公民館だより「はまっぺ」の発行などを通じて、世代を超えた交流を深めてまいりました。

令和元年の台風やコロナ禍による休館など多難な時期もありましたが、オンライン学習の提供や公民館の歌「きらめき」の制作など、工夫を凝らしながら地域との絆を繋ぎ続けました。現在は「すさい子どもキャンプ」の再開や従来通りの文化祭の実施など、日常の活気と子どもたちの笑顔を取り戻しております。

周西の丘小学校の開校や地域づくり協議会「周西ファンＢＡＳＥ」の発足、そして大学の開校を控えるなど、地域は常に進化を続けています。当館もこの大きな節目を新たなスタートラインとし、皆様が集い、共に豊かな未来を創造する場であり続けられるよう、職員一同精一杯努めてまいります。

結びに、本記念事業の実行委員会の皆様をはじめ、多方面から多大なるご支援とご協力を賜りました皆様に深く感謝申し上げ、開館20周年記念の挨拶といたします。



周西公民館開館20周年を祝して

君津市長　石井 宏子

周西公民館が記念すべき開館20周年の節目を迎えられましたこと、心よりお喜び申し上げます。

周西公民館は、地域の皆様の熱い思いと長年にわたる活動により、君津中央公民館周西分館から発展する形で、市内８番目の公民館として開館しました。今日までの20年の歩みは、地域住民や利用者をはじめ、関係する皆様が大切に育んでこられた賜物であり、深く感謝申し上げます。

これまで、サークルや団体活動をはじめ、地域の学びや交流の拠点として、多くの皆様に親しまれてきました。近年では、地域の歴史や文化を継承する取組に加え、周西地域を元気にしたいという思いを持つ方々が集まり、地域の課題解決に取り組む「周西ファンＢＡＳＥ」が公民館を拠点に活動するなど、新たな地域づくりの核としての役割も担っています。

本市が目指す将来都市像「ひとが輝き幸せつなぐきみつ」の実現に向け、公民館は、人と人をむすび、地域の歴史や文化を次の世代へつなぐ大切な役割を担っています。

この開館20周年が、これまでの周西地域の歩みを振り返るとともに、地域の皆様の絆をさらに深め、これからの地域づくりへとつながる新たな節目となることを願っております。

結びに、周西地域と周西公民館のさらなる発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



開館20周年記念誌発行に寄せて

君津市教育委員会　教育長　粕谷 哲也

周西公民館開館20周年、誠におめでとうございます。

この節目に、地域と公民館の軌跡を振り返り、これからの公民館の役割を見つめ直すため、20周年記念の各種事業に取り組み、記念誌が発行されることは、誠に意義深いことと存じます。

さて、この10年を顧みますと、令和元年房総半島台風をはじめとする災害や新型コロナウイルス感染症など、私たちの日常の暮らしや地域社会を揺るがす出来事が相次ぎました。

こうした状況にあっても、周西公民館は「つなぐ・つなげる・つながる」を掲げ、地域住民・利用者と常に共にある姿勢で困難な期間を乗り越えながら、まちの変化についての100人を超えるインタビューとその丹念な記録化、障がいや外国出身の方に焦点を当てた多様性理解・地域共生に資する活動、若者同士のつながりづくり、不登校や引きこもりへの理解を深める事業など、着実な取り組みを積み重ねてきました。

20年という歳月は、かつての「成人」の年齢にあたります。その節目を迎えた周西公民館が、地域のみなさまにとって、自己を磨き続けることができ地域の豊かな暮らしと学びを共に創る機関として、さらなる飛躍を遂げるよう、教育委員会としても取り組んでまいります。

これまで周西公民館を支えてこられた関係各位に深く感謝申し上げるとともに、今後のさらなる発展と、地域の皆様のご健勝を祈念いたします。

開館20周年記念誌「つなぐ周西」について

●タイトル「つなぐ周西」

周西公民館は、2019(令和元)年度より「つなぐ・つながる・つなげる」を運営のキャッチフレーズとしてきた。人と人、地域の関係性、地域の過去・現在・未来をつなぐ公民館の役割を示し、公民館自身もたくさんの人・モノ・コトとつながっていきたいという願いが込められている。

開館20周年記念誌を発行するにあたり、本誌の役割は、これまでの地域と公民館の歩みを振り返り（つなぐ）、今ある絆を次世代へ渡し（つなげる）、新たな出会いを生んでいく（つながる）ことにあるのではないかと考え、記念誌編集部会及び実行委員会役員会の議論により「つなぐ周西」となった。

●表紙

周西公民館外観。2026(令和８)年８月撮影。

●裏表紙

周西公民館マスコットキャラクターがデザインされた開館20周年記念ロゴマーク。左から「公馬ちゃん」「みどぼう」「すさゴン」

●本誌の対象期間

本誌は、開館10周年記念誌「ひだまり」発行後の2016(平成28)年度から2025(令和７)年度を主な対象としているが、必要に応じて、それ以前や発行年度である2026(令和８)年度についても言及している。

●執筆・編集分担

巻頭特集　写真でみる周西の今昔：編集委員
第１章　地域と公民館の10年
　第１節　10年のあゆみ：編集委員
　第２節　特集 台風・大雨災害と新型コロナウイルス あのとき私たちは：職員・編集委員
第２章　公民館事業・取り組みのあゆみ：職員
第３章　地域の歴史・文化を未来へつなぐ
　第１節「すさい・まちの変化 100の記憶」が伝えるもの：編集委員（小沢・朝生）・職員
　第２節【資料】周西地域史関連文献一覧：編集委員（小沢）
第４章　サークル・団体活動のあゆみ
　第１節　サークル・団体活動のあゆみ：寄稿
　第２節　サークル・団体活動の変遷：職員
第５章　資料・データ：職員
なお、校正作業は編集委員全員で行った。

●「周西地区」について

本誌における「周西地区」は、原則的には、周西公民館対象地区を表す。
(1) 君津市公民館の設置及び管理に関する条例における対象区域は次の通り。
　坂田、東坂田１～４丁目、西坂田１～４丁目、君津台１～３丁目、大和田、大和田１～５丁目、人見、人見１～５丁目、君津及び西君津の区域
(2) 上記区域における市政協力員設置自治会は、坂田、君津台東地区、君津台西地区、君津台南地区、君津台北地区、大和田、大和田団地第１・２・３・５・８・９・10・12区、人見、神門。市政協力員未設置自治会（団体）は、大和田寮、若草寮、パインズマンション君津ウエストタワー。（いずれも2026年8月時点）
なお、近隣のエリアを含めた表記として「周西地区」「周西地域」用いている場合もある。

巻頭特集

写真でみる周西の今昔



人見大橋（2026年4月 撮影）

通称「亀橋」と呼ばれるが、欄干にあるのは
亀ではなく妙見菩薩の使徒である「玄武」。

地域は、日々変化を遂げています。しかし、その記憶は曖昧になりがちです。

周西公民館だより「はまっぺ」では、第62号〔2021(令和３)年６月発行〕より「すさい今昔」を不定期連載し、地域の変化を記録してきました。この「すさい今昔」掲載写真と、今回の20周年記念誌発行にあたり、編集委員が集めた写真で、地域の「昔」と「今」を記録しました。

すさい今昔



2021年４月16日撮影



1979年４月23日撮影

君津駅北口・千葉銀行君津支店付近　（はまっぺ62号掲載）



2021年10月14日撮影



1983年８月25日撮影

国道16号線神門歩道橋付近　（はまっぺ64号掲載）



2022年10月6日撮影



1983年７月22日撮影
君津忠実屋と周西小学校跡地石碑

周西小学校跡地　（はまっぺ65号掲載）



2022年４月23日撮影



1981年11月14日撮影

君津駅北口 （はまっぺ66号掲載）



2022年７月18日撮影
解体中の様子



1981年11月14日撮影

ホテル千成 （はまっぺ67号掲載）



2022年10月20日撮影



1980年2月13日撮影

大和田団地Ｄ１棟バス停付近 （はまっぺ68号掲載）



2022年12月27日撮影
尾張屋



1981年11月14日撮影
イトーヨーカドー

イトーヨーカドー君津店（現尾張屋）付近 （はまっぺ69号掲載）



2023年12月撮影



1988年10月8日撮影
人見大橋と道路の開通式渡り初め

人見大橋 （はまっぺ72号掲載）



2025年12月30日撮影



1981年6月16日撮影

漁業資料庫・資料館 （はまっぺ73号掲載）



2024年撮影



1990年撮影

君津駅　改札口　（はまっぺ74号掲載）



2024年撮影



1990年撮影

君津駅　南口階段上　（はまっぺ74号掲載）



2024年６月30日撮影
日本製鉄東日本製鉄所君津地区正門



1985年８月19日撮影
新日本製鐵株式會社君津製鐵所

君津製鉄所正門　（はまっぺ79号掲載）

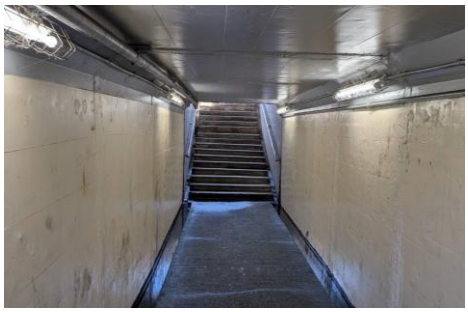
記録に残したい　すさいの今

特別な記載があるものを除き、記念誌編集委員または協力者による撮影



西いやさか通り　人見４丁目付近　2026.4





人見地下道 2026.7



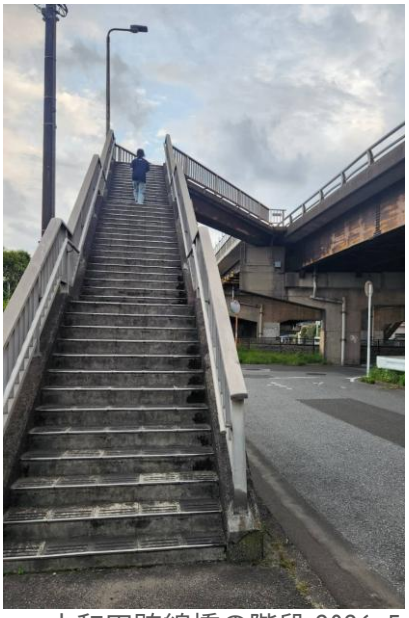
西いやさか通り　中富付近　2026.4



人見橋　2026.5



大和田跨線橋から
大和田団地を望む　2026.5



大和田跨線橋の階段 2026.5



周西橋　2026.5



旧大和田小　大学への改修工事へ　2026.5



国道 16 号線　神門の街並み 2026.4



大和田自治会館前 2026.5



大和田郵便局から大和田団地への坂道 2026.5



整備が進む大和田団地の様子 2026.5



大和田団地 2026.5



坂田大通り西坂田２丁目付近交差点 2026.5 ↑



坂田大通り西坂田３丁目付近 2026.5



人見山、大和田丘陵 遠景 2026.3 →



山の上各校と君津製鉄所（周西の丘小学校提供）2025.10



周西の丘小学校新校舎移転記念航空写真
（同校提供）2025.10



君津台２丁目から新関池を望む 2026.4



坂田のボーリング場・レストラン周辺 2024.2







君津駅北口ロータリー2022.4



君津駅北口周辺の商店街 2026.4



旧ホテル千成付近 2026.5



朝日に照らされる君津駅北口と君津市役所 2026.3

第１章

地域と公民館の１０年



2022（令和４）年度周西公民館地区文化祭
新型コロナウイルス感染症の影響で３年ぶりの通常開催となった。

開館10周年記念誌が発行された翌年の2016（平成28）年度から2025（令和７）年度までの周西地域と公民館の10年間の記録です。

【「主な出来事」の表記について】

ゴシック体：周西地区、周西公民館の出来事

明朝体太字：君津市に関する出来事

水色細字：全国・世界に関する出来事

・作成担当編集委員は、次の通り

2016(平成28)年度	------	廣部
2017(平成29)年度	------	廣部
2018(平成30)年度	------	小沢
2019(令和元)年度	------	小沢
2020(令和２)年度	------	川崎
2021(令和３)年度	------	川崎
2022(令和４)年度	------	古屋・川崎
2023(令和５)年度	------	古屋
2024(令和６)年度	------	朝生
2025(令和７)年度	------	朝生

・本章は、主に周西公民館だより「はまっぺ」及び「広報きみつ」を参照・引用して作成した。

２０１６(平成28)年度

主な出来事

４月

市の指定ごみ袋有料化(１日)

第19期青少年相談員委嘱
周西地区はこの期から定数が２名増え、10名体制となる(4日)

「大道沢公園ホタルプロジェクト」活動開始

熊本地震(16日)

６月

三島ダムハザードマップ作成

ＳＮＳでの写真をきっかけに清水渓流広場(濃溝の滝・亀岩の洞窟)ブーム到来

８月

君津市学校再編地区説明会開催

健康増進運動教室100会場到達

リオデジャネイロオリンピック、パラリンピック開催(５日～９月18日)

天皇陛下(当時)の「お気持ち」表明(８日)

９月

バスケットボールプロリーグ「Ｂ.リーグ」が開幕(22日)

10月

周西公民館利用サークル「周西マップクラブ」が『周西地域誌』発行

１月

稀勢の里が横綱昇進(25日)

２月

市のホームページをリニューアル

３月

公募により、周西公民館だよりの愛称が「はまっぺ」に決定

君津駅北口交通広場整備開始

市内の小中学校の耐震が完了

廣瀬隆喜選手が市民栄誉賞

リオパラリンピックボッチャ競技混合団体戦で銀メダルを獲得した廣瀬隆喜選手が君津市初の市民栄誉賞を授与されました。



写真：広報きみつ2016年11月号より

第10回周西公民館地区文化祭が盛大に!!

節目となる第10回の開催！舞台発表では、サークル・老人会等15の地域団体が、舞踊やシャンソン、詩吟等を披露しました。また、人見保育園年長児、周西中学校合唱部、君津高校ダンス部の発表も行われ、会場からは溢れんばかりの拍手が送られました。

この他、スポーツ・体験、展示、ダンスパーティー、バザー、模擬店、２分の１成人式など、様々な取り組みが実施されました。



公民館だよりの愛称「はまっぺ」に



22点の応募の中から、ギャラリー投票の結果「はまっぺ」となりました。「“はまっぺ”は浜辺のことや、浜で生計をたてる人たちのことを言った言葉。浜は無くなったが製鉄所で働く人もまた現代の“はまっぺ”」と応募者の元岡陸視さんは由来を語りました。

２０１７(平成29)年度

主な出来事

４月
新たな高速バス「君津・新宿線」運行開始(１日)

５月
神門保育園跡地に神門公園開園(１日)

６月
上野動物園パンダ「シャンシャン」誕生(12日)

７月
ソフトボール女子、U23日本代表とニュージーランド代表の強化合宿が君津市・市原市で開催(14～17日)

９月
陸上男子100m、桐生祥秀選手が日本人初の９秒台を記録(９日)

10月
中央図書館開館15周年(１日)

文化祭にて初の特別企画展「団地のある街で～地域の変化とみんなの暮らし～」(21～22日)

きみぴょんInstagram運用開始(25日)

11月
周西中学校・大和田小学校創立50周年を祝う会(11日)

２月
きみつ公式プロモーション動画が完成(14日)

平昌オリンピック、パラリンピック開催(９日～３月18日)

３月
「旧ダイエー君津店」の跡地にイオンタウン君津オープン(30日)

君津市立周西幼稚園が閉園(31日)

文化祭特別企画展「団地のある街で～地域の変化とみんなの暮らし～」

文化祭での初の取り組みとして、特別企画を実施。地域を象徴する風景である大和田団地が、再編により姿を消していることから、地域の変化や思い出、資料を展示しました。



周西中学校・大和田小学校創立50周年

1968(昭和43)年に君津中学校に併設開校した周西中学校、周西小学校から分離開校した大和田小学校が、創立50周年を迎え、「祝う会」の開催や記念誌が発行されました。



ありがとう周西幼稚園

1966(昭和41)年に開設された君津市立周西幼稚園が52年間の歴史に幕を下ろしました。３月15日には「ありがとうすさいようちえんの会」が開催され、翌日からは地域の皆さんのメッセージ・卒園アルバム・思い出写真の展示が行われました。



10月18日　最後の運動会

２０１８（平成30）年度

主な出来事

4月
島根県西部地震（９日）

5月
「周西公民館利用者運営協議会」が解散し「周西公民館利用者の会」発足（18日）
公民館ギャラリーに「周西公民館文庫」、「子ども作品展示スペース」を開設

6月
人見神社で茅の輪くぐりの神事始まる（22日）

7月
西日本豪雨により岡山県倉敷市などで河川氾濫被害発生（６月28日～８日）

9月
台風21号上陸、関西空港連絡橋にタンカー激突（４日）
北海道胆振中部地震により大規模停電発生（６日）

10月
文化祭にて漁業資料館30周年記念「海苔つけ体験」「30メートルの長い海苔巻きづくり」実施（20～21日）
築地市場閉鎖（６日）、豊洲市場開業（11日）

11月
君津市長に石井宏子氏就任（１日）

12月
祝日としての最後の天皇誕生日（23日）

1月
横綱稀勢の里引退発表（16日）

3月
周西公民館のマスコットキャラクター決定（4日）
坂田共同調理場が閉場（31日）

人見神社で茅の輪くぐり神事はじまる

茅の輪くぐりは「夏越しの大祓」という神事に由来し、大きな茅の輪を左廻り、右廻り、左廻りと３回くぐった後に本殿にお参りすることにより、無病息災、厄災除けを祈願するものです。人見神社では、６月22日の縁日に因んでこの神事が始められました。境内に直径1.6mの大きな輪が設置され、７月の半ばまで多数の参拝者が茅の輪くぐりを体験しました。



撮影・取材は、2021（令和３）年７月

周西公民館マスコットキャラクター決定

2018年の夏休みに、大和田小・坂田小・周西中のみなさんに周西公民館のマスコットキャラクターのデザインを募集し、142点の作品の応募がありました。2019年３月に審査会が行われ、次の３作品が選出されました。

最優秀賞
みどぼう（大和田小６年・長塚真穂さん）

優秀賞
すさゴン（大和田小６年・小髙颯太さん）
公馬ちゃん（大和田小６年・宮崎友哉さん）



２０１９(令和元)年度

主な出来事

4月
新元号「令和」と発表(１日)

新日鐵住金、社名を「日本製鉄」に変更(１日)

学校給食共同調理場運用開始

房総スカイライン有料道路及び鴨川有料道路の無料化(21日)

5月
徳仁親王、第126代天皇に即位。元号を令和に改元(１日)

6月
山形県沖地震、震度６強(18日)

7月
京都アニメーション放火事件(18日)

8月
広報きみつリニューアル

9月
台風15号(令和元年房総半島台風)により県下に建物被害・長期停電発生、周西地区でも大きな被害が発生(９日)公民館は12日間避難所となる

10月
台風19号(令和元年東日本台風)により中部・関東・東北に広域被害発生。周西中学校体育館が避難所開設(12日)

台風21号に伴い千葉県内記録的豪雨(25日)

1月
国内で初の新型コロナウイルス感染症確認(16日)

2月
新型コロナにより、公民館では主催事業停止などの対応が始まる（25日）

3月
東京オリンピック・パラリンピックの延期が決定(24日)

台風15号により甚大な被害発生

９月９日未明、房総半島に上陸した台風15号は、関東地方に上陸した台風としては観測史上最強クラスの勢力で、千葉県内各地に大きな被害をもたらしました。

君津市内では小糸地区で高圧線の鉄塔が倒壊、また電信柱倒壊や電線の破断も相次ぎ、その影響で広い範囲が停電に見舞われたほか、一部地域では断水も発生しました。

周西公民館周辺では、人見保育園の砂場の屋根が破損・飛来して進入路を塞ぎました。人見神社では、山頂のご神木が倒壊したのをはじめ、社務所の屋根や複数の祠が損壊、また人見山全体に多数の倒木が発生して参道が通行できなくなりました。

このほか停電中の特別養護老人ホームで、高齢の女性が死亡、また個人住宅の建物被害も多数にのぼりました。当地域においては、日頃からの防災を改めて考えさせられる大災害となりました。



倒木が重なる人見神社の鳥居



公民館前に飛来した保育園砂場の屋根

２０２０(令和２)年度

主な出来事

４月

君津市立人見こども園 開園(１日)

内みのわ運動公園市民プール閉園(１日)

新型コロナウイルス感染症の流行を受け、初めての緊急事態宣言(７日)

６月

「利用のルール」を設けながら段階的に公民館施設の利用を再開(3日)

７月

君津市LINE公式アカウント開始

９月

前年の台風15号災害の際の活動が称えられ君津市消防団が防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞(４日)

中止していた公民館主催事業再開。「すさい・まちの変化100の記憶」の取組が始まる(12日)

内閣総理大臣に菅義偉氏が就任(16日)

大和田郵便局開局50年(17日)

11月

坂田小学校創立50周年を記念して航空写真を撮影(10日)

文化祭の代替企画として「周西万博週間」を開催(29日～12月６日)

12月

小惑星探査機「はやぶさ２」から分離されたカプセルが豪州の砂漠に着地(６日)

１月

新型コロナウイルス感染症による２度目の緊急事態宣言(７日)

「成人を祝う集い」中止

人見こども園　開園

2012(平成24)年に開園した人見保育園が君津市初の認定こども園に移行しました。



新型コロナウイルス感染症拡大の影響

2020(令和２)年１月初旬に中国で感染が確認された新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、外出自粛、学校の休校、緊急事態宣言、休業などによる収入の減少など、前例のない事態に私たちの暮らしにも大きな影響が出ました。



屋外で、間隔を空けてのサークル活動(6月5日)

「成人を祝う集い」が新型コロナウイルス感染症拡大により中止に

「成人を祝う集い」実行委員会は開催直前までオンライン会議で準備を進めていました。年内最後の会議では予定を調整し何とか顔合わせで会議を行いましたが、感染症拡大の影響は大きく、残念ながらこの年の開催は中止となりました。



成人を祝う集い実行委員会会議の様子(12月)

２０２１(令和３)年度

主な出来事

４月
君津高等学校創立50周年
君津高等学校と上総高等学校が統合。普通科・園芸科の２学科設置
大和田小・坂田小、統合前最後の入学式(7日)

５月
坂田小学校で約20年の時を経て創立30周年時のタイムカプセルを発掘(29日)

６月
新型コロナウイルスワクチン接種開始

７月
東京オリンピック・パラリンピック、無観客での開催(23日～９月５日)

９月
君津市制施行50周年を迎える(１日)
周西中卒業生の綾小路翔さんが「きみつ大好きだぜ！応援團」團長に就任(１日)
東京パラリンピックボッチャで廣瀬隆喜選手が銅メダルを獲得(４日)
横綱白鵬引退発表(27日)

10月
内閣総理大臣に岸田文雄氏が就任(４日)

11月
歌詞を公募した周西公民館の歌「きらめき」が完成し、文化祭特別企画にて披露

12月
神門コミュニティセンター第１回竹灯籠祭(22～25日)

２月
北京オリンピック、パラリンピック開催(４日～３月13日)
ロシア・ウクライナ間での全面的な武力衝突が発生(24日)
「令和版君津ふるさとかるた」完成

３月
ＪＲ君津駅「みどりの窓口」営業終了(３日)
『すさい・まちの変化　100の記憶』発行
ホテル千成、48年の営業を終了(31日)

周西の丘小学校に校名決定

少子化をはじめとする様々な時代の変化により、君津市内でも小中学校の統合が進みました。わが周西地区も、新日鉄(現日本製鉄)の進出によって一気に人口が増え発展してきましたが、丘の上３校もいよいよ変革の時期となりました。統合後の新しい校名は2020年８～９月に募集が行われ「周西の丘小学校」となりました。



坂田小学校最後の入学式の様子

周西公民館の歌「きらめき」

コロナ禍の公民館の活動として、周西公民館の歌の制作が行われました。地域のみなさんから歌詞を公募し、補作詞・作曲:大河原館長（当時）、編曲:山崎智さんにより完成しました。

朝日に輝く　小糸川
春には桜の　散歩道
柔らかな日差しの中　鶯も鳴きわたり
人と人とのふれあい　笑顔満ちあふれ
明日もまた来たい　周西公民館

成人を祝う集い、２年ぶりに開催

１月９日、前年度は中止となった成人を祝う集いが開催されました。君津市民文化ホール中ホールを会場に感染症対策を徹底して行われ、当日は91名の新成人が参加し、人生の節目を共に喜び合いました。


間隔を空けて着席

２０２２(令和４)年度

主な出来事

４月

周西の丘小学校 開校(１日)

公民館を含む市内公共施設で施設予約システムによる予約受付　開始(１日)

民法上の成人年齢が20歳から18歳に引き下げられる

君津市、ウクライナからの避難民受け入れ

５月

ＭＬＢ大谷翔平選手、日本人最速のメジャー通算100号ホームラン(15日)

７月

君津市の魅力がラッピングされた高速バスの運行開始(１日)

安倍晋三元首相銃撃事件(８日)

人見神社祭礼、３年ぶりの開催、神馬(おめし)が奉納される(23日)

９月

君津市、９月１日から年度内までの学校給食の無償化

10月

西地区敬老会が４年ぶり開催(９日)

第１回坂田ふるさと祭開催。坂田ふるさと音頭を一般披露(10日)

11月

対面の発表が３年ぶりとなる第16回周西公民館地区文化祭開催(５～６日)

12月

きみさらづ聖苑　供用開始(１日)

１月

「20歳のつどい」開催。周西公民館が会場となったのは３年ぶり(８日)

３月

君津台自治会作品展３年ぶりに開催(４～５日)

人見神社祭礼　３年振りの開催

2020(令和２)、2021(令和３)年は、新型コロナウイルス感染症防止の為、儀式のみ行われた人見神社祭礼が実に３年ぶりに開催されました。

感染症対策を講じながら君津市指定の無形民俗文化財「神馬(おめし)」やお神輿(車両での運搬)も奉納されました。



「神馬」の一場面

対面での発表は３年ぶり！
第16回周西公民館文化祭開催

新型コロナウイルスが私たちの日常を脅かし始めたのが、2020年が明けた頃のことでした。感染症対策のため、2020年度は中止(代替事業を実施)となり、2021年度は企画したものの、舞台発表は録画の上映となるなど、スタイルや規模も変更しての開催でした。

そして迎えたこの年の文化祭。発表・体験・展示・販売の４つの分野と『特別企画』という構成で企画し、42団体が参加。従来のスタイルに近い形で開催することができました。何といっても舞台発表が対面で実施できたことが嬉しかったですね。



特別企画として「土地区画整理組合記念碑巡り」

２０２３(令和５)年度

主な出来事

５月

新型コロナウイルス感染症が「５類」移行し、日常生活が戻る(８日)

７月

周西公民館利用者の会「サークルの輪」創刊(１日)

第27回君津市シニアクラブ会員芸能大会にて、大和田倶楽部が団体最高賞の君津市長賞を獲得(７日)

人見神社祭礼で神輿渡御・お囃子の奉納・餅撒きが再開(22日)

コロナ禍での３回中止を経て「きみつサマーフェスタ」開催(23日)

８月

４年ぶりに、夏祭り・盆踊りが大和田・人見・神門で開催(11日)君津台夏祭り開催(26日)

10月

４年ぶり開催された君津ふれあい祭りの「いやさか君津踊り」に君津台地区有志が連で出場（１日)

藤井聡太、将棋界史上初の八冠独占を達成(11日)

１月

能登半島地震(１日)

周西の丘小学校にＭＬＢ大谷翔平選手からのグローブ３つが届く(15日)

２月

千葉県初開催Scavenger and Quiz Rally(SAQR)の表彰式が周西公民館で実施(９日)

３月

元周西分館の建物であった君津市地域福祉推進センターゆうゆう館が閉館(31日)

コロナが５類に移行
夏祭り・盆踊りが復活！

７月は、坂田駅前公園をメイン会場にして、きみつサマーフェスタ2023が開催。８月には、大和田・人見・神門の各地区で盆踊り大会、ちょうすけやま公園での君津台夏祭りが実施されました。

長期間の「お祭りから離れざるをえない生活」から解放され、大人から子どもまで全世代が楽しみ、笑顔があふれる夏となりました。



きみつサマーフェスタでのイルミネーション



君津台地区有志　「いやさか君津踊り」に参加

「20歳のつどい」にて

1923年に起きた関東大震災から100年の節目の年であり、防災意識を高めようと様々な報道がされました。そして、2024年元旦、能登半島地震が起きました。

１月７日に行われた「周西公民館20歳のつどい」では、能登半島地震の被災者への黙祷を行いました。

新型コロナウイルスの猛威により様々な行事が中止となり、日常生活の制限など息苦しい生活を余儀なくされた高校時代を過ごした20歳のみなさんが、「感謝と精進」を目標に掲げ、素晴らしいつどいとなりました。

２０２４（令和６）年度

主な出来事

４月
「君津ファンクラブ」スタート（１日）
みふねの里保育園開園（30日）

６月
「きみつ地域づくり協議会」周西地区設立準備会がキックオフ（17日）
周西公民館だより「はまっぺ」が第74号よりカラー印刷になる（20日）

７月
日本銀行新紙幣発行（3日）
パリオリンピック、パラリンピック開催（26日～９月８日）
すさい子どもキャンプ５年ぶりに開催（27～28日）

８月
米不足問題が顕在化（令和の米騒動）

９月
パリパラリンピックボッチャで廣瀬隆喜選手銅メダル獲得（５日）

10月
内閣総理大臣に石破茂氏が就任（１日）
松本ピアノを市長応接室に設置しコンサート開催（30日）
「さかなクンと一緒にSDGsを考える～小糸川源流の生き物調査～」開催（31日）

１月
豊昇龍が横綱昇進（19日）

２月
周南中学校にて「松本ピアノレクチャー＆コンサート」開催（15日）

３月
千葉ロッテマリーンズファーム本拠地の君津市移転が発表（25日）

５年ぶりにすさい子どもキャンプ開催

周西地区青少年相談員連絡協議会と周西公民館が主催する「すさい子どもキャンプ」が公民館にて開催されました。コロナの影響もなくなり、５年ぶりの再開。今回は防災をテーマにして、ハイゼックス炊飯、心肺蘇生法、カートンドック、プライバシーテントなど、災害時に役立つアイテム利用や学びがありました。



ハイゼックス炊飯

はまっぺがカラー印刷に

印刷技術も進化をつづける昨今、以前と比べてカラーも白黒も印刷のコストがさほどかわらなくなってきた中で、市内のあらゆる地域情報紙もカラー刷りが多くなってきました。はまっぺも地域住民の声を受けて、いよいよ第74号よりカラー印刷になりました。



カラー印刷最初の号の一面

２０２５（令和７）年度

主な出来事

４月

非常勤職としての公民館長が廃止され、常勤職員が館長を務めることになる

消防団の統廃合。地区内は第８分団・10分団の２団体制となる

君津高等学校の制服が新しくなる

大阪関西万博開幕（13日）

５月

大の里が横綱昇進（28日）

６月

君津市と福島県相馬市が災害時相互応援協定を締結（30日）

７月

旧大和田小校舎の利活用（大学開設）についての説明会開催（３日・12日）

人見神社例大祭にて45年ぶりに新調された幟旗披露（20日）

８月

群馬県伊勢崎市で国内観測史上最高の気温41.8℃を記録（５日）

９月

周西の丘小学校が旧大和田小学校校舎から旧坂田小学校校舎へ移転し登校開始（３日）

地域活動組織「周西ファンＢＡＳＥ」発足（28日）

10月

内閣総理大臣に女性として初めて高市早苗氏が就任（21日）

12月

マイナ保険証制度スタート（２日）

２月

ミラノ・コルティナオリンピック、パラリンピック開催（６日～３月15日）

周西の丘小学校、新たな校舎へ！

2022（令和4）年、大和田小学校と坂田小学校が合併し、周西の丘小学校となりました。児童たちは旧坂田小学校校舎の改修が終わるまで、旧大和田小学校の校舎に通っていましたが、９月３日より旧坂田小学校をリニューアルした新校舎に通うようになりました

一学期の終わりには思い出作りに旧大和田小校舎にて、全校児童、先生みんなで学校かくれんぼ。夏休み中には地域の方々に向けた新校舎お披露目会を経て、新たな校舎に引っ越しました。

また、７月には、旧大和田小学校校舎がスポーツ系の大学として利活用される説明会が行われました。



新校舎移転記念航空写真

自分たちの周西地域を盛りあげたい！地域づくり協議会「周西ファンＢＡＳＥ」

一年余りの設立準備会での協議を経て、地域活動組織「周西ファンＢＡＳＥ」が22名の会員により発足。「つなぐ」をキーワードに地域の情報発信やイベント等の企画に取り組むこととなりました。

10月24日には、市から「地域づくり協議会」の認定を受けました。



９月28日設立総会

特集　2016-2025

台風・大雨災害 と 新型コロナウイルス
あのとき私たちは

この10年間を振り返ってみると、私たちの暮らしや地域に大きな影響を及ぼしたトピックスとして、2019年の令和元年房総半島台風とそれに続く大雨災害、2020年からの新型コロナウイルス感染症の２つが挙げられるだろう。

あのとき、地域は、公民館は、わたしたちは、何を感じ、どのように行動していたのか―。地域の“歴史”のひとつとして、記録したい。

2019年の記憶
令和元年房総半島台風と大雨災害

希望に満ちた新時代「令和」の幕開けとなった2019(令和元)年。君津市を含む房総のエリアは、９月９日房総半島を縦断した台風15号(令和元年房総半島台風)をはじめ、10月12日には台風19号。さらに同月25日に台風21号の襲来と三度(みたび)の被害に見舞われた。

周西公民館では、地域にある公民館の役割として、身近な地域の様子や、人々の行動・気持ち・考えたことを記録していきたいと、記録冊子『令和元年　台風15号･19号・大雨～私たちに残したもの・問いかけること～周西公民館地区の記録』を2020(令和２)年３月に発行した。これには、周西公民館が避難場所に指定された９月９日(月)から９月20日(金)の12日間の様子と地域の声が記録されている。

以下の１～５は、その抜粋である。

１　周西公民館　台風15号における避難所運営の様子

周西公民館の記録と職員メモを基に避難所運営の様子と公民館の動きについて記載した。

■９月９日(月)

・６：00ごろから　職員随時出勤：吹込み水濡れの対応、飛散していた選挙用看板や自転車小屋の屋根を回収、駐車場や屋上の排水口を塞いでいた落ち葉や泥を除去

・午後から　避難所開設準備(公民館職員)
①情報ボートの設置　②多目的ホールに区画ラインを引く　③避難場所の設定(一般は多目的ホール、ケアが必要な方は和室など)　④人見仮運動場を仮駐車場とし、駐車場案内看板の設置(公民館駐車場への進入が不可能だったため)　⑤発電機の配置と延長コードなど設置

・16：00　避難所開設(避難所開設要員：公民館職員+市役所より１名)

・物資：防災倉庫から飲料水とサバイバルフード、避難者からの差し入れもあり。

・発電機(２機)で、照明・扇風機・充電(充電には多くの需要)を対応。

・公民館の電話は不通。災害対策本部との連

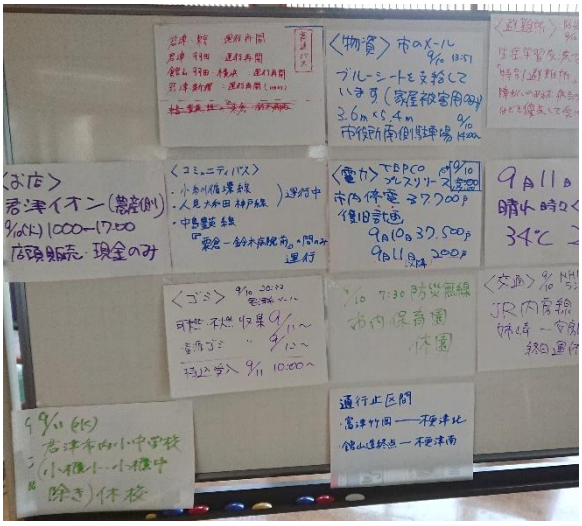


９月９日　公民館前に飛来した人見保育園(当時)の砂場・倉庫の屋根

絡手段として、職員個人の携帯電話を公民館の代理電話として設定。徐々に通話が難しくなる。翌日には、屋外に出ても、音声が途切れる。
・停電についての情報を求める人多数。職員がスマートフォンで得た報道情報を可能な範囲で提供。
・避難者は８世帯16名（おとな10・こども６）。うち、宿泊は５世帯９名（おとな７・こども２）

■９月10日（火）
・公民館利用や各種事業の長期間の中止を判断。電話連絡を試みるも、双方が携帯電話であり、充電や通信状況の不安定化により連絡困難。
・物資　近隣スーパーより：パン・菓子類
・充電の需要が引き続き多い。50％での交代をお願いし、一部整理券の配布も。
・周西公民館区域でも断水が広まってきた様子が見られた。
・発電機用のガソリンの補給を本部に求めるも、市としてガソリンを確保するのが困難な状況であるとの連絡。夕方、補充が届くも十分な量ではなかったため、夜間の照明と扇風機を優先し、携帯電話などの充電を断る。苦情もあり。
・暑くて寝苦しい夜。深夜になって「暑いので」という理由で避難される住民もあり。
・宿泊避難者　４世帯７名（おとな７）

■９月11日（水）
・１：20ごろ　周西公民館の電気復旧。それに伴い、避難者も一部は帰宅。
・20:30頃　本格的に物資が届き始める。（バナナ、各種パン、豆乳飲料、スポーツドリンク、飲料水、液体ミルク等）すぐに食べられるパンが喜ばれる。
・周西公民館より、西地区社会福祉協議会・シニアクラブ役員に、公民館に物資が届いていることを連絡し、情報や物資の共有を促す。
・宿泊避難者　４世帯６名（おとな６）



9月11日　避難所３日目の掲示ボード

■９月12日（木）
・給水車〔自衛隊・他自治体応援〕の配置。（～翌13日まで。その後は公民館の水道から給水対応）
・この日から、民間・個人による支援物資が届き始める。
・各地から調査や視察目的の来館あり。
・９月10日より市役所等で屋根補修用のブルーシート配布が始まっていたが、周西公民館にも問い合わせが出始める。（周西公民館は配布場所にはならず）
・来館者に、車を持たないご近所、親戚、停電断水地域に物資を配ってもらうことを声かけ始める。
・宿泊避難者　２世帯４名（おとな４）



9月12日夕方　周西公民館前に配置された給水車

■９月13日（金）
・宿泊避難者　２世帯４名（おとな４）

■９月14日（土）
・夕方、公民館の主催事業の参加者や関係者で、メールアドレスが分かる方（約50名）にメールを送信し、①社会福祉協議会が、災害ボランティアの受け入れに向けて被災者のニーズ調査を行っており、周西公民館でも受付可能　②周西公民館に物資が届いている。車が無く公民館まで来館できない方の代わりに取りに来ていただき、届けていただくことが可能　③周西公民館は避難所として24時間対応。電気も水あり。停電地区にご友人などいれば、伝えてほしい。　の３点を連絡。
・近隣のスーパーにはほぼ商品がそろう状態。
・宿泊避難者　１世帯３名（おとな３）



屋外に設置した看板

■９月15日（日）
・周西公民館地区は概ね電力は復旧。
・食料を求める人は極端に減った印象。来館のニーズの多くが給水や飲料水になった。
・夜間から明朝の雨を心配して、避難する方が一世帯増。
・宿泊避難者　２世帯４名（おとな４）

■９月16日（月）
・宿泊避難者　１世帯３名（おとな３）
※以降、避難所閉鎖まで同。



9月15日ごろ自動ドア前


ギャラリーで配布していた物資の様子

■９月17日（火）
・かずさ水道広域連合企業団ＨＰによれば、周西公民館地区はこの時点でほぼ断水から復旧。（ただし、場所や住宅地の事情によっては、引き続き不便な場所も。公民館把握最終情報　９月19日　16：30）
・周西公民館が給水場から外れる。希望者には引き続き対応。

■９月18日（水）
・給水の希望も減り始める。半日に数人程度。物資を取りにくる人が固定化。

■９月20日（金）
・周西公民館は避難所としては閉鎖。

■９月25日（水）
・通常開館に戻る。一方で、ブルーシートや罹災証明書についての問い合わせ来館も。

２　令和元年周西公民館地区文化祭アンケート結果

２つの台風と大雨により準備に遅れがあったものの、2019(令和元)年11月2日(土)・3日(日)には第13回周西公民館地区文化祭が開催された。文化祭では急遽、今回の主に台風被害を振り返るアンケートを実施した。以下はその結果である。

---

(１)名称:令和元年 台風15号･19号アンケート

(２)対象：周西公民館　来館者

(３)期間：11月２・３日(文化祭)～17日

(４)回答数：23名

(５)アンケート項目

①住まい(地区)：坂田・東坂田・西坂田・君津台・大和田・人見・神門・その他

②性　別

③年　代：10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代・それ以上

④台風15号・19号の被害状況や、どのように過ごしたのかを教えてください。

⑤振り返ってみて思うことやこれからに向けて考えることがあれば教えてください。

1	君津台　女　こども ④こわかった。
2	君津台　女　10代 ④家では15号は停電・断水。19号はなし。 ⑤準備をしっかりする。
3	君津台　女　10代 ④停電・断水。
4	西坂田　男　20代 ④停電していたが家族と話をして時間をつぶした。
5	人見　男　20代 ④２日間停電をしていて、家にあったライト又は車の中で泊まっていた。 ⑤灯油とか食料の準備が必要だと思った。
6	人見　女　20代 ④長時間の停電。ガスは使用できたため、それで過ごした。キャンプ用のランタンを使用。 ⑤被害があることを想定して準備しておく。
7	中野　男　30代 ④15号では家の雨戸や外に置いてあったものが飛んだ。 ⑤備蓄が大事(ランタン・電池)。停電が長引くと情報が手に入れづらくなる(ネットもダメでラジオしか使えないが、ラジオの情報では足りない)。
8	人見　男　50代 ④避難所にいた(運営側)。長時間の停電は、断水になり、基地局のバッテリーがダウンすることでスマホが使えなくなることをどれだけの人が理解していたでしょうか？台風は予想できる災害。スマホの充電は事前にできたはず。公民館には災害用特設公衆電話があったはずなので、通信はできたはず。 ⑤事前の備えがいかに大切か痛感した(ブルーシート、土嚢袋、生活水など)。
9	坂田　女　70代 ④15号：ベランダの屋根が飛んであちこち散らばって大変だった。停電は割りと早く解消した。19号：あまり被害はなかった。 ⑤前もって情報をもっと集めておけば良かった。準備不足だった。
10	西坂田　男　70代 ④横浜在住の娘宅に疎開した。大変怖かった。帰宅後は、地元自治会での町内復興作業に追われた。 ⑤住民一人ひとりが防災意識を身につけ、ハザードマップを常に気をつけ、防災に努めていただくことが大切。今後、このクラスの台風は継続発生する予知がなされており、我々の心の準備をおこたりなくすべきであろう。
11	西坂田　男　70代 ④15号：２階の下がり棟瓦が３m程はがれた。その瓦が１階に落ちて1階の瓦も２枚程度割れた。 19号：15号で被害のあった棟瓦を応急処置しておいたが、応急処置のシートが19号で再びはがれた。

	⑤屋根瓦の点検・補修をきちんとやっておくべきだった。
12	君津台　男　70代 ④台風15号の時に窓ガラスが破損。 ⑤今後同様の台風が来るということを頭に入れて準備が必要だと心から思った。
13	大和田　女　70代 ④風当たりが強くて少しキズを負った。１日目の停電、心細かった。２日目より娘宅に強制的に連れて行かれたが、次の日に通電。ほっとした。
14	人見　男　70代 ④屋根瓦(１階・２階)計60枚破損落下。カーポート、雨樋破損。２日間停電　水風呂、ガスでメシ炊く。電気のありがたみがわかった。 ⑤台風19号は伊豆半島に上陸したので水害は無かったものの、もし房総にきていたら、小糸川は大丈夫だっただろうか。周西中に避難したが満員で門前払い。堤防が切れるか、溢れていたら大きな被害がでていたと思う。もう一度ハザードマップを見直してほしい。避難場所を拡大してほしい。
15	人見　男　70代 ④２日間の停電で済みましたが、残暑厳しかったので暑くて閉口しました。 ⑤台風19号が房総に上陸していたら、周西公民館も自分の家も水難にあっていたかも知れません。
16	人見　女　70代 ④15号のときは、田舎に帰ってしまいましたので、帰った日は水道も電気もついていました。19号の時は何もなく通りすぎました。
17	人見　無　70代 ④公民館に避難!人でいっぱいだった。 ⑤近所の人はみんな家にいた。でも避難した。考えることが多かった。
18	神門　女　70代 ④雨漏り少々。自宅で過ごした。 ⑤神門は川が近いので、大水を心配したのですが、幸い大丈夫でした。停電で冷蔵庫の中の物が大変。充電器の用意が必要。
19	中富　女　70代 ④家のうだつ用(？)のトタンがめくれてしまう。雨漏り。

	⑤電化生活にも欠点があり、いざという時の対応を考慮したい。
20	中野　男　70代 ④自宅で過ごした。ガラスの補強 ⑤心構えが大切。電気の大切さ、停電対策を考えます。
21	富津市　女　70代 ④７日間停電しましたが、断水がなかったので、トイレ・ご飯炊きなど、不便無くて助かった。大きな被害にあわれた人達の事を考えると心が痛みます。
22	西坂田　女　80代 ④家の応接間が雨もりしまして大変でした。どうにかタオルで拭き取り、絨毯ですので何度か足踏みをし、大人用のオムツを敷き、一夜を過ごしました。大きなごみ袋が重かったです。 屋根瓦もとびましたが、雨漏りはなくブルーシートで、19号の時は、雨が降っていたときシートが全部とんでしまいました。 ⑤電気のありがたさをつくづく感じました。ガスは使うことができました。 ・台風前に御飯はたくさん炊きました。 ・ラジオの情報を良く聞き判断しました。 ・20日朝早く、取引先の電気屋さんに電話し、携帯電話の充電と電池の注文に出かけましたが大変な人でした。 ・水と食料はいつも用意しておく ・冷凍庫はいつもいっぱい ・冷蔵庫は使用以外に開けないよう心掛けました ・トイレは風呂の水で(夜風呂の水はすてないこと) ・給水車に生活用水を頂いてきたこと ・21日木更津の電気屋さんよりポリタンク・ペットボトル届けてくれた。となりにも使ってくれるよう頂いた
23	人見　女　80代 ④停電でエアコンが使えず電気の有難さをつくづく感じた。車内でテレビの情報、クーラーで涼をとりました。 ⑤断水がなく電気より水のありがたさ。被災地のつらさを短日経験した。

３　周西幼児家庭教育学級（たんぽぽ学級）自主活動における情報交換

周西公民館で主催する周西幼児家庭教育学級(通称　たんぽぽ学級)は、乳幼児期の子どもを持つ保護者を対象に、年間10回程度のプログラムを実施している。

2020(令和2)年1月14日(火)には、学級生からの希望もありプログラムとは別の「自主活動」として、フリートークを実施し、台風15号・19号の振り返りや災害についての情報交換を行った。

●Aさん〔人見〕

９月８日(日)に里帰り出産から自宅へ帰ってきた。夫は台風対応のため家におらず月曜日は停電のなか、長く不在にしていたため家の中を整理して過ごした。一日外に出ず、情報も入ってこないため状況がわからず不安であった。月曜の夜に再び実家へ戻った。アクアラインで木更津に入った途端まっくらで、迎えに来た家族も驚いていた。家から出て、情報を得ることが大切だと感じた。

●Bさん〔西坂田〕

９月９日(月)の昼間に鉄塔が倒れたことをどこからか知った。10日(火)から15日(日)まで夫の実家に避難した。ちょうど買いだめした後で、冷蔵庫の中の食べ物がたくさん無駄になってしまった。

19号の時も20時間くらい停電した。

●Cさん〔東坂田〕

15号では、３日目(11日(水))の夜に電気が復旧したが、その後１日断水があった。子どもが通う幼稚園は休園しなかったため、信号が機能しない中での送迎は大変だった。小学校は休校したので兄弟が休みの中登園することは子どもにとっても負担だったようだ。

非常食は普段から備えてあったが、情報が中々得られず、防災無線も聞き取りづらいためラジオを買おうと思った。太陽光の自立機能で昼間は冷蔵庫が使えたが、洗濯機は電力不足で使えなかった。



●Dさん〔人見〕

太陽光の自立機能で洗濯機等使えた。家族が多いと懐中電灯も数本必要だと感じた。

外壁がへこんでしまったため、り災証明書を取得したが、手続き時はとても混んでいた。

学校が休校になったので、冬休みが短くなったりするのかと思っていたが…。休校期間の補習等どうなっているのか気になっている。

●Eさん〔西坂田〕

２日目に実家に避難したが、その日に電気が復旧したので一泊して君津に戻った。

しかし断水があり、出るようになっても色があった。飲めるかどうか問い合わせをしたら、飲まないほうがよい、飲めるようになったら連絡すると言われたが、その後そのような情報提供はなかった。一週間位で透明にはなったが、しばらく煮沸して使用していた。水に関する対応にはいまだに疑問を感じている。

乳児がいるので、離乳食の備えも必要だと感じた。

●Dさん〔人見〕

２日間ほど停電した。初日は暑くて、荒天のため窓も開けられず音もうるさかった。寝室ではなく、家の中で一番音がしない部屋で寝た。

太陽光の自立機能に当初気が付かなかった。気が付いてから冷蔵庫をつなげたが、あまり冷えていなかった。電力が少なく、洗濯機も使用不可。通電して、冷蔵庫が元の機能を有するのに２日程かかった。携帯電話が全く使えなくなってしまい困った。

車のガソリンについては、普段から残量が

半分になったら入れる習慣があったので、慌てて並ばなくて済んだ。

●Ｃさん〔東坂田〕
台風後、どのような対策をしているか。
〔各参加者から〕
・家の周りの補強。
・お水とおむつは備える。
・ラジオ(今回は台風直後の報道は少なかった)。
・防災の家というのを見学に行って、まだまだ自宅は備えが足りないと感じた。
・非常食を家族３日分(段ボール１箱相当)備えている。賞味期限が近くなったら子どもに食べさせている。はじめは物珍しく喜んで食べていたが、あまりおいしくはないようだった。子どもが好きなお菓子等も備えている。
・４つに分割する懐中電灯が便利。
・ソーラー式のラジオを購入した。手回し式は結構回さなくてはいけなくて大変。

４　地域課題解決支援事業「私たちの防災・災害対応」概要

周西公民館では、令和元年度より課題解決支援の視点を持った事業として、「地域課題解決支援事業」に力を入れて取り組むこととした。5月には住民有志と「地域課題(お困りごと)調査隊」を組織し、8月からは今後取り組むべき地域課題を検討するため、アンケート調査(回答133)を行った。

アンケート調査からは、「高齢化」・「災害・防災」・「地域のつながり」が“地域のお困りごと(課題)”として多くの意見を集めた。また、これらを検討していく過程において、２つの台風を経験した。

そこで、地域課題解決支援事業では「高齢世帯と防災・災害対応」をテーマに設定し、学習活動に取り組むこととなった。

以下は、2020(令和2)年2月5日(水)に実施した第1回学習会の概要である。(予定していた第2回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期となった)

- 令和元年度　地域課題解決支援事業　第１回　学習会
- 日時：2020(令和２)年２月５日(水)　9：30～11：30
- 場所：周西公民館会議室１・２
- 参加者：男性12女性13(地区内19、地区外６)

〔第一部〕情報交換会
台風１５号・１９号　そのときあなたは…
～今回の台風の際の高齢世帯の経験談をお聞きします～
(高齢者学級の学級生５名＆ 会場のみなさんにインタビュー)

①実際に困ったことはどんなことでしたか？
・防災無線が聞こえない。情報が入ってこない
・携帯電話がつながらない。一人暮らしの人に連絡が出来ずに車で回った。
・屋根に穴があいた。増水中だったため、最寄りの周西公民館は避難所として使えないとのこと。市役所に問い合わせたら、ハザードマップでは近隣に避難所があるはずなのに、何の説明もなく生涯学習交流センターや文化ホールを指示された。遠いところを言われても、風雨の中に避難できない。
・応接間が雨漏りした。子どものおむつを敷いて水を吸わせたが、重たくなってしまった。
・近くに住む兄夫婦(身体障害者手帳あり)の手伝いの約束をしていたが、夜中の強烈な台風で自分の車では移動できず、役に立たなかった。19号ではどうするかを確認したら、事前に避難所での様子の情報も入っていて、自宅にいるとのことであった。
・周西公民館は大雨や台風では避難所にならないが、私の住む地域は、その増水した川の橋をわたって、遠くの避難所に避難することになる。
・ブルーシートの配布があったが、「全員に２枚」という配布は本当に有効に使われたのか疑問。

・ブルーシートは自治会館で配ったり、地域役員に配ることを依頼したり、工夫があればよかった。
・屋根瓦の修理が業者の手配がつかずに困った。建てた業者に頼むのが良いが、大工さんの家も被災しているような状況だった。

②こうしておけばよかった、こんなサポートが欲しかった ということはありますか？
・普段の備え（水・食料）
・ペットボトル３本を冷凍して、停電時は冷蔵庫に入れている。
・個人で避難することが難しいひとには、避難する手段を。例えば、バスや公共の大型車など。幼稚園のバスなどの手段もある。自治会に入っていない人は把握できないが。
・冷蔵、冷凍の食品がどうやれば長持ちさせられるのか、どの程度まで食べられるのか、などの情報が欲しかった。
・停電解除後、すぐに洗濯をしたら、断水になった。節水の呼びかけなどの情報が欲しかった。

5　台風15号　周西公民館及び周西公民館地区の状況（周西公民館調べ）

①周西公民館施設
- 吹込みによる館内水濡れ、隣接保育園の砂場・倉庫の屋根飛来、倒木、自転車小屋屋根飛散、選挙看板飛散　他
- 停電（～９月11日（水）午前１：20）　断水は無し

②周西公民館地区
- 停電：～９月15日（日）
- 断水：９月10日（火）～17日（水）

※停電・断水の解消は、地区や個別の条件などの事情により、差があった。

◆　地域行事：周西中学校体育祭延期（９月14日→９月20日）、敬老会中止（10月６日）

◆　学校・保育園：人見保育園再開（９月11日）、大和田小学校、坂田小学校、周西中学校再開（９月13日）

◆　９月17日　公民館だより編集委員と職員により撮影　他


人見仮運動場横の倒木


人見神社　御神木と納札所


大和田郵便局交差点　電線への飛来物

2020年からの記憶
新型コロナウイルス感染症と公民館・地域・暮らし

「三密」「ソーシャルディスタンス」「アベノマスク」「ステイホーム」「新しい生活様式」「GoToトラベル」「まんぼう」――。「コロナ禍」において、私たちの日常生活を覆い尽くしていた言葉の数々である。2026（令和８）年の今日、それらにどこか懐かしさを感じること自体、当時は想像もできないことだった。



政府から全戸配布された布製マスク（2020年）

2020（令和２）年の１月初旬に中国で感染が確認された新型コロナウイルス感染症は、瞬く間に世界中に広がり、私たちの暮らしのいたるところに大きな影響を及ぼした。

不安、不便、会えない寂しさ、そして感染の恐怖。私たちはかつてない経験をした。そして、その被害に苦しむ人は、今もいる。

この数年間の出来事は、地域の学びと交流の拠点である公民館に、そして私たちの暮らしに何をもたらしたのだろうか。

将来、再びこのような「想定外」の事態が起こるかは誰にもわからない。しかし、この苦難の中で得た経験と教訓は、必ず将来の地域を支える糧になるはずである。開館20周年の節目に、「ウィズ・コロナ」での公民館・地域の歩みをここに記録していく。

１　感染症と公民館の状況

新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）の状況と、当時の公民館の様子をまとめたものが表１である。また、休館や使用・活動の制限と緩和の経緯を表２にまとめた。

2020（令和２）年の２月の段階で、市の方針


手作りの飛沫防止卓上シート

により公民館事業は中止または延期となる措置が始まった。その後、３月に入り政府の要請により学校が全国一斉休校になり、君津市の公民館も休館となった。

この期間、君津市の公民館では地域や暮らしに少しでも役立つことを模索し、家庭時間が多くを占めるようになっている日常に役立つ情報を「ご活用ください」と題して、ホームページで情報発信することを始めた。周西公民館では当初、休校になっている子どもたちに目を向け、それ以前に実施した青少年事業のプログラムの一部から家庭でできる工作や遊びの情報を掲載した。その後には、地区公園マップ（2020年5月）、簡単手作り！飛沫防止卓上シート（同）、家庭内でのコミュニケーションに向けて～傾聴とは？～（2020年12月）、おうちでストレッチ（2021年１月）、子どもの遊び情報（2021年3月）とその展開を広げていった。また、2020年４月からは、コロナ禍での地域とのコミュニケーションツールの１つとして、ホームページ上で「周西公民館日記」の連載を始め、職員が３人のマスコットキャラクターとして交代で公民館の日常を綴った。

大変な時期に公民館のホームページを日々見ている人などいないのではないかと思いつつも、公民館が歩みを止めていないことを発信し、心身共に閉ざされた環境にいる地域のみなさんと公民館を繋ぎ続ける唯一の糸として、かろうじて紡ぎ出した取り組みだった。

当時の職員のメモには、公民館使用サーク

表１　新型コロナウイルス感染症と公民館の状況

2020(令和2)	
1 月 16 日	国内で初の新型コロナウイルス感染症確認
2 月 21 日	市の方針により、公民館主催事業の中止などの対応を始める
3 月 3 日	感染拡大防止の観点から君津市公民館〔市内の8公民館。以下同〕休館★
3 月 4 日	学校一斉休校などにより家庭時間が増えたことに伴い、君津市公民館が HP 発信「ご活用ください」に取り組む。周西公民館では第一弾として工作や遊びの情報を掲載
4 月 7 日	政府から初の緊急事態宣言が発出される(千葉県を含む7都府県)
4 月 15 日	公民館職員からも市のコロナ対応関連業務へ応援動員
4 月 15 日	コロナ禍での地域とのコミュニケーションとして、HP 上で「周西公民館日記」の連載を始める。3人のマスコットキャラクターが交代に、公民館の様子などを日記形式で情報発信
4 月 30 日	周西公民館 HP に「とりもどそう、日常。乗りこえよう、みんなで」のメッセージを掲載
5 月 22 日	周西公民館「飛沫防止手作りシート」を設置し、つくり方を配布
6 月 3 日	5 月 25 日の緊急事態宣言解除に伴い、条件付き再開★
6 月 4 日	周西公民館だより「はまっぺ」58 号　新型コロナウイルス感染症の影響などの特集
6 月 24 日	国の 6 月 19 日の「ステップ2」への移行を受け、公民館使用についての条件緩和★
7 月 15 日	国の 7 月 10 日の「ステップ3」への移行を受け、公民館使用についての条件緩和★
7 月 22 日	周西公民館地区文化祭の中止を決定し、サークル等に通知
9 月 1 日	君津市公民館主催事業再開。周西公民館では 9 月 12 日、地域課題学習講座「すさい・まちの変化 100 の記憶」第一期学習会を開始。
9 月 4 日	当館防災倉庫に避難所運営用パーテーション配備
11 月 29 日	中止した周西公民館地区文化祭の代替事業として 11 月 29 日(日)から 12 月 6 日(日)の8日間、「周西万博週間～SusaiExpoWeek～」を開催
2021(令和3)	
1 月 7 日	2度目の緊急事態宣言が発出される
1 月 8 日	1 月 8 日から 2 月 7 日までは夜間 20 時閉館とする。マスクの着用必須に★
1 月 10 日	直前まで開催を予定していた「成人を祝う集い」が中止となる
1 月 19 日	緊急事態宣言と市内感染者数状況に鑑み、休館★
3 月 22 日	3 月 21 日の緊急事態宣言解除に伴い、再開。ただし当面夜間は 21 時閉館★
5 月頃～	高齢者などへのワクチン接種始まる
6 月 21 日	君津市が「まん延防止等重点措置」対象区域に含まれたことに伴い、時間短縮★
7 月 12 日	君津市が「まん延防止等重点措置」対象区域から外れたことに伴い、条件緩和★
8 月 2 日	千葉県での3度目の緊急事態宣言が発出されため、閉館時間短縮★
8 月 24 日	緊急事態宣言と市内感染者数状況に鑑み、休館★
10 月 1 日	9 月 30 日の緊急事態宣言解除に伴い、再開★
10 月 16 日	時間条件緩和★
10 月 25 日	平常の 22 時閉館(日曜日は 17 時閉館)に戻る★
11 月 12 日	君津市公民館、使用条件の緩和★
11 月 15 日	周西公民館、ロビーやホールの子どもたちの当日利用を再開★
2022(令和4)	
1 月 9 日	君津市民文化ホールで感染症対策を徹底した「成人を祝う集い」開催
1 月 21 日	千葉県が「まん延防止等重点措置」対象区域となったことを受け、休館★
3 月 7 日	「まん延防止等重点措置」中ではあるが、社会経済活動の両立に向け開館★
3 月 22 日	前日の「まん延防止等重点措置」解除を受け、使用条件緩和★
6 月 13 日	館内の飲食や接近・接触が必要な活動(ダンス等)についての条件緩和★
10 月 25 日	使用についての大幅な条件緩和★
11 月 5･6 日	対面の発表が3年ぶりとなる周西公民館地区文化祭開催
2023(令和5)	
1 月 20 日	3年ぶりに周西公民館を会場にした「20 歳のつどい」開催
3 月 13 日	使用条件をほぼ従来に戻す★
5 月 8 日	新型コロナウイルス感染症が「5類」移行し、日常生活が戻る

・周西公民館沿革史、HP 掲載履歴、利用者への配布通知などから作成
・★印は公民館の休館・開館・使用条件等に係る内容。詳細は表２参照

表２　休館や使用・活動の制限と緩和の経緯

	状況	マスク	名簿	定員算出	消毒作業	時間上限	閉館時間(月-土)	活動				その他
								対面	歌など呼気を出す	調理・飲食	運動・近接	
2020(令2)	3月3日休館											
	6月3日再開	着用	提出	2m間隔	職員	2時間	21:00	×	×	×	×	
	6月24日条件緩和	↓	↓	↓	利用者	↓	21:30	マスク＋飛沫防止で可	マスク	↓	マスクで可能(対面・接触は不可)	
	7月15日条件緩和	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	2m間隔、横並び等でマスク不要	手袋着用、調理後に持ち帰りで可	↓	
2021(令3)	1月8日条件変更	↓	↓	↓	↓	↓	20:00	↓	マスク必須	↓	↓	
	1月19日休館											※1
	3月22日再開	↓	↓	↓	↓	↓	21:00	↓	7/15条件に戻る	↓	↓	
	6月21日時間短縮	↓	↓	↓	↓	↓	20:00	↓	↓	↓	↓	
	7月21日時間緩和	↓	↓	↓	↓	↓	21:00	↓	↓	↓	↓	
	8月2日時間短縮	↓	↓	↓	↓	↓	20:00	↓	↓	↓	↓	
	8月24日休館											※1
	10月1日再開	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
	10月16日時間緩和	↓	↓	↓	↓	↓	21:00	↓	↓	↓	↓	
	10月25日時間緩和	↓	↓	↓	↓	↓	制限解除	↓	↓	↓	↓	
	11月12日条件緩和	↓	↓	1m間隔	↓	3時間	↓	マスク＋1m間隔で可	↓	黙食、食器の共有無し等で可	距離をあけ対面を避けることで可	
	11月15日条件緩和	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	※2
2022(令4)	1月21日休館											※1
	3月7日再開	↓	↓	↓	↓	↓	21:00	↓	↓	↓	↓	
	3月22日時間緩和	↓	↓	↓	↓	制限解除	制限解除	↓	1m間隔、横並び等でマスク不要	↓	↓	
	6月13日条件緩和	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	昼をまたぐ場合、黙食で可	感染症対策を徹底した上で可	
	10月25日条件緩和	↓	不要	通常定員	↓	↓	↓	マスクで可	↓	黙食で可	↓	
2023(令5)	3月13日条件緩和	個人判断	↓	↓	不要	↓	↓	予防対策を講じた上で可能				

※１：平日日中の窓口業務は継続。夜間・土日は閉館

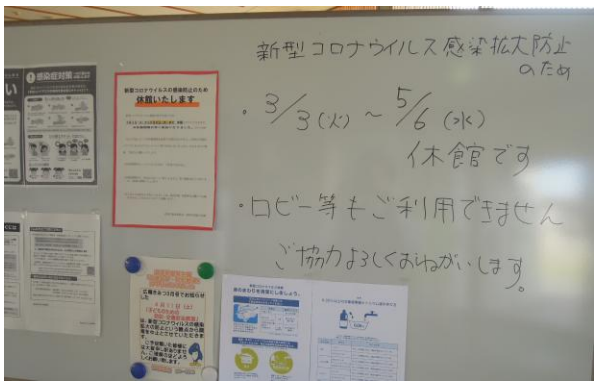
※２：ホール等の子ども利用を再開

ルからの聞き取りとして「サークル内でもめている。公民館が再開したらすぐにでも使いたい人と、まだ危ないからという人がいる。だから、公民館からダメって言ってほしいとの意見があった。」という記述がある。だれもが不安で、だれかにすがりたかった当時の様子が見て取れる。

そんな不安を分かち合い、みんなで支え合って乗り越えるためにと周西公民館が掲げたメッセージが「とりもどそう、日常。乗りこえよう、みんなで」であった。ギャラリー南側の小糸川に面した窓に大きく掲示し、ホームページや休館などを知らせるあらゆる紙媒体にこのメッセージを掲載した。このメッセージが生まれた背景には、前年の台風・大雨災害の経験が少なからず影響していたと考えられる。







最初の休館を伝えるボード2020年４月９日撮影



最初の再開を翌日に控えて　同年６月２日撮影

さて、表２にあるように、コロナ禍においては、公民館は４回の休館期間を余儀なくされた。いずれも、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置対象区域などの流れ、また市内の感染状況などにより、制限と緩和の間を揺れ動いていった様子が読み取れる。

コロナの段階的緩和が進み、2022(令和４)年３月下旬の大幅な緩和を経て、その１年後の2023(令和５)年３月に、ようやく従来の使用条件が戻ってきたのだった。

しかしながら、第４章のサークルの変遷からもわかるように、この時期、もしくはその少し後の時期に休止・解散となっているサークルが一定数ある。高齢化・役員のなり手不足などの課題を内包していたところに、コロナによる活動制限が休止・解散の引き金になってしまった例は少なくないだろう。

２　コロナ禍での公民館主催事業の模索

公民館主催事業の経緯の詳細は第２章に記載されているが、ここでは特に、コロナ禍という特殊な状況下での特筆すべき事項を整理しておきたい。

2006(平成18)年の開館以来、歩みを積み重ねてきた主催事業も、2019(令和元)年度末(2020年２～３月)には、青少年バスハイクなどの５事業が中止や延期を余儀なくされた。

再開の見通しが立たない中、2020(令和２)年４月には、高齢者学級の前年度参加者へ「つながり」を絶やさないためのはがきを送付。また、周西公民館だより「はまっぺ」では、同年６月号において電話やメールでの取材を試み、不安の中にいた住民の声や小学校

の様子などを紙面で共有した。

毎年恒例の「周西公民館地区文化祭」は、2020(令和２)年７月に中止を決定し、代替事業として「周西万博週間～SusaiExpoWeek～」を開催することとなった。密を避けるため、期間を例年の２日間から８日間へと延長し、①展示、②映像上映での舞台発表、③期間と内容を制限した模擬店が実施された。このスタイルは通常開催に戻るまで、踏襲されることとなった。なお2021(令和３)年には、住民公募の歌詞による「周西公民館の歌」が誕生し、文化祭特別企画「秋風コンサート」(映像上映)で披露された。



2020年周西万博週間のお知らせ

「二十歳のつどい」も大きな影響を受けた事業である。2021(令和３)年１月は、直前まで開催の方向で準備されていたが、１月７日の緊急事態宣言に伴い中止となった。2022(令和４)年１月は、会場を君津市民文化ホールとし、席の間隔を開けるなど感染症対策を徹底しての開催となった。

コロナ禍で大人数での集合が困難な時期に、少人数での実施として取り組まれたのが、地域学習講座「すさい・まちの変化100の記憶」(詳細 第３章)であった。2020(令和２)年９月の事業再開の最初の取組として実施された同事業は、少人数での学習会とインタビュー調査と執筆活動を軸にした事業であった。対面調査ができない時期もあり、苦労を重ねながらの実施となった。

また、ZoomなどWeb会議ツールを用いた「オンライン講座」やYouTubeでの動画配信なども実施された。その皮切りは、2020(令和２)年２月から延期されていた「防災講座」であった(同年９月７日実施)ただし、家庭でオンライン環境が十分でない方も多く、公民館会場とオンラインの併用開催であった。

しかし、この併用開催も「定員制限」下にある公民館会場での実施には困難を伴った。例えば、同年12月12日に開催した乳がん講座（周西公民館女性教室「Dear WOMAN」、Zoom使用による開催）は、会場参加希望者が部屋の定員を上回ってしまい、参加を断らざるを得ない事態も起こった。



乳がん講座（2020年12月12日開催）

2020年度は家庭教育学級の再編に取り組んでいた時期であり、君津中央公民館との合同開催を準備していた。しかしながら、感染症拡大防止のため学校では異年齢交流でさえ控えている状況下において、複数の小学校の保護者が交流する学級をあえて設けるのか、本当に今やる必要があるのかという職員間の葛藤もあり、学級再編はうまく滑り出すことができなかった。

さらに、主催事業の中で特に判断を迫られたのが、幼児家庭教育学級などで実施している公民館保育であった。ボランティアである保育協力者が、学習者の子どもを預かり、時間を共に過ごすこの仕組みは、人と人との接触は避けられない。2020年度内は保育の実施ができず、再開した2021年度からも、職員・保育協力者、そして子どもを預ける学習者も含めて、感染リスクへの対策と保育の意義を常に確認し合あう、手探りでの運営が続いた。

2020(令和２)年の秋以降からは、コロナ禍が暮らしや家庭に及ぼす影響を直視し、学びを通じて共に解決策を模索する事業が主に

家庭教育支援の分野で相次いで実施された。

・2020年11月６日　周西幼児家庭教育学級（第２回）「感染症から家族を守る　知っておきたい予防のキホン」
・2021年３月11日「児童虐待をなくすために～親として、地域住民として私たちができること～」（オンライン）：コロナ禍で高まったストレスが家庭内で親から子どもに向かいやすい今、どうすれば虐待をなくせるのか。
・2021年11月18日　幼児家庭教育学級公開講座「コロナ禍の今聞きたい　親子時間のすすめ」
・2022年12月３日　講演会「子どもの不調～コロナ禍の波紋～」

当時の試行錯誤は「非常事態」への対応であったが、オンラインツールの活用、少人数での深い学びのスタイル、そして何より「日常の尊さ」への気づきは、その後の主催事業の新たな土壌となったと言える。

３　変化した「日常」と取り戻した地域の灯

先述した「はまっぺ」2020年６月号では、「新型コロナ　あなたの生活変わったことは？」と題し、インタビュー記事を掲載している。そこには次のような声が寄せられている。（部分抜粋）



飲食店前ののぼり
2022年12月撮影

・人が多いところには子供を連れて行かないようにし、大人だけで必要な買い物をさっと済ませるようにしていました。お家に友達を呼ぶ事も控え、本当に家族としか会わなくなってきました。（30代女性・君津台）



小糸川ジョギングコース看板2020年７月撮影

・小学生の子供は、突然の学校休校によりクラスメイトと過ごす大切な時間まで奪われてしまい、卒業旅行も行けなくなり、短縮の卒業式で小学校生活をしめくくることになってしまいました。学校は休校ですが、経済や家計を維持していくためにも仕事に出なければならず、外出を制限された子供たちを残して、仕事に出る日々を過ごしていました。会社も今は全社員テレワークになりました。打合せもWEBを使ったものに変わり、今までの常識の仕事スタイルがどんどん変化しています。（女性・大和田）

・中学生の子は休校を機会にiPadを使用した通信教育に入会しました。小学生の子は私の後追いをするようになり、家にいると一日私の傍で過ごすようになったので、宿題や初めての挑戦等にゆっくり付き合うことにしています。（40代女性・君津台）

・今まで楽しみだったゲームセンターやおもちゃ巡りも出来なくなり「どうして遊びに行けないの？」「どうしてプールもお休みなの？」とよく聞かれました。（30代女性・大和田）

・日中もずーっと子供が居てママ！ママ！の連呼です。子供たちはゲーム、勉強、ケンカの毎日。私も子供たちもストレスたまりまくり。ストレス発散、運動不足解消させるのに、天気が良ければ近くのグラウンドや公園に行って子供たちと一緒に体を動かして過ごしています。（30代女性・人見）

こうした切実な声は、当時の私たちの日常がどれほど一変していたかを物語っている。

そしてコロナ禍においては、個人の暮らしや公民館事業だけではなく、地域の伝統を受け継ぐ祭礼や行事も中止を余儀なくされた。

段階的な緩和があったものの、いわゆる日常を取り戻す契機は、2023（令和５）年５月の「５類移行」だった。

同年９月の「はまっぺ」と11月の文化祭特別展ではコロナ禍を経て４年ぶりに開催となった各地域のお祭り・イベントを記録している。

こうして振り返ると、コロナが私たちから奪ったものは決して小さくなかった。しかし同時に、苦難を乗り越え「つどう・まなぶ・つながる」ことの尊さや喜びをかみしめたことを忘れずにいたい。

コロナ禍から日常へ…
2023年 各地域のお祭り・イベント

▼人見神社祭礼　2023年７月22日
*前年実施できなかった神輿渡御（みこしとぎょ）、お囃子奉納（はやしほうのう）、餅撒（まき）きが再開



餅撒き

▼大和田地区　盆踊り　2023年８月11日
（大和田公園）



大和田倶楽部の踊り披露

▼神門地区　盆踊り　2023年８月11日
（神門自治会前広場）



神門盆踊り大会

▼人見地区　盆踊り　2023年８月11日
（中新田公園）



飾りの花を準備

▼君津台地区　夏祭り　2023年８月26日
（ちょうすけやま公園・かじやま公園）



子ども神輿と山車が地区を巡る

▼坂田地区　第２回坂田ふるさと祭　2023年９月10日（五竜公園）
＊坂田地区では、前年の2022年10月10日に「第１回坂田ふるさと祭」を開催。
2023年は４年ぶりの坂田八幡神社祭礼と同日開催となった。







コロナ禍の期間中、周西公民館のホームページに掲載されていたメッセージ

第２章

公民館事業･取り組みのあゆみ



開館時から継続している「幼児家庭教育学級 たんぽぽ学級」のひと場面

家庭教育に関する学びを深めながら、保護者同士のつながり、共に語り合う関係を育む。

開館10周年記念誌が発行された2015(平成27)年度の翌年である2016(平成28)年度から、2025(令和７)年度までの10年間を中心に、公民館の主催事業やその他の取り組みについての経緯、変遷を紹介します。

第１節　公民館事業・取り組みの変遷（表）

・文字：名称　　・→：継続実施　　・「」：愛称やその年のテーマ

・〔〕：期間・回数等　・()：中止などの情報　・■実施無し

第２節　公民館事業・取り組みの概要

公民館事業・取り組みの変遷(2016～2018 年度)

	2016（平成28)年度	2017(平成29)年度	2018(平成30)年度
公民館運営審議会	→	→	→
青少年・青少年教育に関する取組			
キャンプ	子どもキャンプ〔1泊2日〕	→＊代替:バスハイク	→〔1泊2日〕
移動学習	バスハイク	→	→
創作･体験	子ども教室〔7回〕	→〔7回〕	→〔8回〕
	クッキング〔3回〕	→〔3回〕	→〔2回〕
親子	親子体験教室〔8回〕	→〔9回〕	→〔5回〕
成人	周西地区成人を祝う集い	→	→
青年	青年教室「ライフプラン」	→「ピラティス」	→「防犯・護身術」
青少年相談員	活動支援	→	→
健全育成			
その他	地域と子どもの2分の1成人式	→	→
家庭教育・家庭教育支援に関する取組			
幼児家庭教育学級	「たんぽぽ学級」〔11回〕	→〔8回〕	→〔9回〕
家庭教育学級	坂田「わかば学級」〔11回〕	→〔9回〕	坂田・大和田「わかスマ学級」〔9回〕
	大和田「スマイル学級」〔10回〕	→〔10回〕	
思春期家庭教育学級	「おしゃべりカフェ」〔12回〕	→〔10回〕	→〔7回〕
サロン			
講演会		家庭教育講演会	
成人の学びに関する取組			
高齢者学級	「さざなみ学級」〔10回〕	→〔10回〕	→〔9回〕
	「なでしこ学級」〔10回〕	→〔9回〕	「ゆとり学級」〔9回〕
高齢者交流			
女性			
人権		人権講演会・啓発関連	→
趣味教養	趣味教養講座〔7回〕	→〔2回〕	→〔2回〕
地域の課題、地域の歴史文化、地域づくりに関する取組			
地域課題	認知症サポーター養成講座〔1回〕	→〔1回〕	→〔1回〕
	認知症カフェ〔1回〕	→〔2回〕	→〔1回〕(中止)
	子どもの幸せと地域の役割	→	
	地域課題学習講座「放課後プロデュース講座」	→「はまっぺウォーク」	→「きみつ新発見！周西まるかじり」
歴史･文化			
多文化共生			
地域づくり			
サークル・団体の支援などに関する取組			
	サークル研修〔2期5回〕	→〔2期4回〕	→〔2期4回〕
	大人と子どもの交流広場	→	→
	活動支援	→	→
地域文化の振興・交流促進に関する取組			
	周西公民館だより	→	→
	周西公民館地区文化祭	→	→
その他			
公民館連携	共に学ぶ市民の集い	→＊周西会場開催	→
図書			周西文庫
記念事業			

公民館事業・取り組みの変遷(2019～2025 年度)

	2019(平成31/令和元)年度	2020(令和2)年度	2021(令和3)年度
公民館運営審議会	→	→	→
青少年・青少年教育に関する取組			
キャンプ	子どもキャンプ〔1泊2日〕	(中止:コロナ)	(中止:コロナ)
移動学習	バスハイク(中止:コロナ)	→(中止:コロナ)	→(中止:コロナ)
創作・体験	子ども教室〔13回〕	→〔6回〕(一部中止:コロナ)	→〔13回〕(一部中止:コロナ)
	クッキング〔2回〕		
親子	親子体験教室〔5回〕	→〔5回〕(一部中止:コロナ)	→〔2回〕(一部中止:コロナ)
成人	周西公民館成人を祝う集い	→(当日中止:コロナ)	→
青年	青年事業「ドローン操作体験」		
青少年相談員	活動支援	→	→
健全育成	協議会運営支援(事務局員)	→	→
	講演会「異言語脱出ゲーム」		
その他	すさいジュニア地域お助け団		
	趣味教養「子どもチアダンス」〔15回〕		
家庭教育・家庭教育支援に関する取組			
幼児家庭教育学級	「たんぽぽ学級」〔11回〕(一部中止:台風)	→〔5回〕(一部中止:コロナ)	→〔8回〕(一部中止:コロナ)
家庭教育学級	坂田・大和田「わかスマ学級」〔11回〕(一部中止:コロナ)	家庭教育学級＊君津中央公民館と合同(中止:コロナ)	君津中央公民館・周西公民館家庭教育学級〔7回〕
思春期家庭教育学級	〔6回〕(一部中止:コロナ)	→〔5回〕	→「すくすくスプリング」〔6回〕
サロン			
講演会	家庭教育講演会	→	→
成人の学びに関する取組			
高齢者学級	「さざなみ学級」〔10回〕		
	「ゆとり学級」〔8回〕		
		「おとなの放課後倶楽部」〔5回〕(一部中止:コロナ)	→〔5回〕(一部中止:コロナ)
高齢者交流		「お達者倶楽部ゆいまーる」〔2回〕	→〔4回〕
女性		女性学級「DearWOMAN」〔3回〕	→〔3回〕(一部中止:コロナ)
人権	人権講演会・啓発関連	→	→〔3回〕(一部中止:大雨)
趣味教養	趣味教養講座〔2回〕	(中止:コロナ)	→〔3回〕(一部中止:大雨)
地域の課題、地域の歴史文化、地域づくりに関する取組			
地域課題			
	地域課題解決支援事業「お困りごと調査」「私たちの防災・災害」	→「高齢世帯の防災・災害」	
歴史・文化	地域学習講座 周西まるかじり	→「すさい・まちの変化100の記憶」	→「すさい・まちの変化100の記憶」
多文化共生			学習支援「多文化共生のまちづくり」〔4回
地域づくり			
サークル・団体の支援などに関する取組			
	サークル研修〔2期4回〕	→〔2期4回〕(一部中止:コロナ)	→〔2期3回〕
	大人と子どもの交流広場		
	活動支援	→	→
地域文化の振興・交流促進に関する取組			
	周西公民館だより	→	→
	周西公民館地区文化祭	→代替「周西万博週間」	→
			ＳＡＫＵＲＡ★ウォーク
その他			
公民館連携	君津市公民館交流集会	→	→
図書	周西文庫	→	→
記念事業			

2022(令和4)年度	2023（令和5)年度	2024(令和6)年度	2025(令和7)年度
→	→	→	→
青少年・青少年教育に関する取組			
→(代替:日帰りプログラム)	(中止:インフルエンザ)	→〔1泊2日〕	→〔デイキャンプ〕
→	→〔2回〕キャンプ中止代替	→	→
→〔10回〕	→〔11回〕	→〔6回〕	→〔5回〕
→〔6回〕(一部中止)	→〔5回〕	→〔4回〕	→〔2回〕
→周西公民館２０歳のつどい	→	→	→
→「友活」〔3回〕	→「みんなのともかつ」〔6回〕	→〔5回〕(一部中止:天候)	→〔5回〕(一部中止)
→	→	→	→
→	→	→	→
→「子どもの不調~コロナ禍の波紋~」	→「スマホ・ゲームのルール決め」	→「子どものやる気の引き出し方」	→「これからの子ども×生成ＡＩ」
家庭教育・家庭教育支援に関する取組			
→〔8回〕	→〔10回〕	→〔10回〕	→〔10回〕
→〔6回〕	家庭教育学級「すくすく学級」〔9回〕		
		「話そう!色とりどりの子どもたち」〔5回〕	「思春期・不登校カフェこもれび」〔5回〕
→	→	→	
成人の学びに関する取組			
→〔8回〕	→〔8回〕	→〔8回〕	→〔8回〕
→〔7回〕	→〔6回〕	→〔3回〕	→〔3回〕
→	→〔2回〕	→〔3回〕	→〔3回〕
地域の課題、地域の歴史文化、地域づくりに関する取組			
	→「防災講座」		→「自治会長情報交換会」 →「ひだまりひろば」
→「100の記憶スピンオフ」			
→「日本語ひろば」〔7回〕(一部中止:大雨)	→「日本語ひろば」〔6回〕(一部中止)	→「日本語ひろば」〔1回〕(中止)	
			地域づくり協議会支援事業
サークル・団体の支援などに関する取組			
→〔2期4回〕	→〔1期2回〕	→〔1期2回〕	→〔2期5回〕
→	→	→	→
地域文化の振興・交流促進に関する取組			
→	→	→	→
→	→	→	→
→(中止:雨天)	→		
その他			
			公民館×生成ＡＩ
→	→	→	→
			20周年記念準備事業

公民館事業・取り組みの概要（2016～2025年度）

1　公民館運営審議会

公民館運営審議会(以下 公運審)は、公民館長の諮問機関である。地区住民、利用者、地域団体・機関など様々な立場の委員を教育長が委嘱し、公民館について審議する。

君津市では、ブロック配置制としており、周西公民館は、君津中央公民館、八重原公民館、周南公民館と共に、君津地区公運審を構成している。君津地区定員12名（うち周西地区委員は３名）、任期２年。年間４回の審議会を原則としている。

住民が主体となり民主的に公民館が運営され、公民館での学びの自由と独立性を確保する為の要の存在として、公民館運営審議会制度が存在する。ここで審議されたことは、公民館運営や各種の取り組みに反映される。

次の表は、2016(平成28)年度以降の主な審議・協議の内容(一部)である。

年度	審議・協議事項
2016 (平成28)	・施設提供と整備
2017 (平成29)	・地域と学校との新たな係わり合いの中での公民館事業
2018 (平成30)	・福祉的な視点を持った公民館事業の展開
2019 (令和元)	・「大切にする機能、今後の取り組み」に向けて ・家庭教育学級、高齢者学級の見直し ・「課題解決支援」の視点を持った事業への取り組み
2020 (令和2)	・上記３点(継続) ・休館期間中の公民館の対応・活動
2021 (令和3)	・ＩＣＴを活用したより良い公民館運営 ・施設の運営状況と利用者への対応 ・予約システムの導入
2022 (令和4)	・ＩＣＴを活用したより良い公民館運営(継続) ・地域の諸活動活性化のための支援
2023 (令和5)	・君津地区における地域活性化・地域課題の解決に資する社会教育機関としての公民館のあり方について(各地区の現状と課題)
2024 (令和6)	・上記テーマにおける答申作成
2025 (令和7)	・令和6年度答申を踏まえた各館の事業 ・開館時間等、休館日 ・公民館使用料
※これらに加えて、年間事業計画、進捗状況、結果報告などは、毎年度審議している。	

各期における審議会では、時宜に応じたテーマが協議されてきた。例えば、2016年度の「施設提供と整備」は、当時議論が進んでいた「君津市社会教育施設等のあり方検討会」の進捗にあわせたテーマであった。同様に君津市学校再編基本計画(2016年３月25日策定)を受けての「地域との新たな係わり合いの中での公民館事業」(2017年度)、「君津市社会教育施設等の整備・運営方法等についての指針」(2017年２月)を受けての、「大切にする機能、今後の取り組みに向けて」(2019年度)などである。

コロナ禍では、審議会の運営において、書面開催、委員が４館それぞれに参集し、館間をオンラインでつないでの実施などの対応が取られた。また、コロナ禍での模索の中で、「ＩＣＴを活用したより良い公民館運営」(2021年度)なども議論された。

2023～2024年度は「君津地区における地域活性化・地域課題の解決に資する社会教育機関としての公民館のあり方について」がテーマとなった。これは君津市において更なる地域コミュニティの活性化と多様な住民自治(地域自治)の実現を目指す仕組みとして2024年４月からスタートした「きみつ地域づくり協議会」への動きを受けてのものであった。2024年５月には４館の館長が同テーマについて諮問し、ワーキンググループの設置など積極的な議論が重ねられ、2025年３月に答

申が出された。

同答申の中では、周西地区の地域の課題として「地域参画・担い手に関すること」「つながり・コミュニケーション」など、周西公民館の課題として、利用者の高齢化と固定化、公民館への関心の低さ、地域諸団体との結びつきの弱さなどが指摘されている。

また、「地域課題解決と地域活性に資するこれからの公民館についての提案」や「地域づくり協議会が始動する中で特に求められること」が提起された。これらは、2025年度以降の主催事業・館運営に反映され、審議会へも経過報告されている。

2025年度は厳しい財政状況による全市的な公共施設運営見直しの流れを受け、開館時間の短縮や休館日の設置が議論され、また公民館使用料についての検討が始められた。

2　青少年・青少年教育に関する取組

○すさい子どもキャンプ・バスハイク

この２つの事業は、いずれも周西地区青少年相談員連絡協議会と周西公民館との共同開催事業である。

開館当初からの「子ども生活体験教室」の流れを受けながら、2014(平成26)年度より実施となった。

概ね小学４～６年生を対象に、夏のキャンプ、２月のバスハイクが実施されてきた。近年の夏季酷暑の影響を受け、2026(令和８)年度は、８月にバスハイクを実施し、３月にキャンプが予定されている。

野外での共同体験や異学年での交流を通してたくましさや生きる力を育むことを目指して、毎回様々なプログラムが企画されている。また、「地域の大人」としての青少年相談員と子どもたちとの交流の機会にもなっている。

年度	子どもキャンプ実施状況
2016	1泊2日　木更津市立少年自然の家
2017	代替　バスハイク
2018	1泊2日　内浦山県民の森
2019	1泊2日　清和県民の森 *雨対応で宿泊は公民館
2020	(コロナ-中止)
2021	(コロナ-中止)
2022	代替：ペットボトルロケット
2023	デイキャンプ(インフル-中止)
2024	1泊2日　周西公民館
2025	デイキャンプ　清和県民の森　他





キャンプでの野外炊飯(上2016年、下2025年)

○すさい子ども教室

前身事業である「サタデー・キッズ」(2009年度)の流れを汲む「すさい子ども教室」は、2016～2018年度は、長期休みに合わせたホール開放や映画鑑賞が中心であった。

2019年度に2017年度公運審での協議を受けて事業を見直し、「創作活動」と「集団遊び」をメインに構成し、特別な体験ではなく、“自分たちでできる遊び”を広げることを目指したプログラム構成とした。

また、夏休みの宿題や冬休みの「かきぞめ」を君津高校生徒の協力により実施する取り組みも始まり、2026年度も継続している。翌2020年度からは住民ボランティアがかかわ

る運営を行い、この体制は2023年度まで継続された。



たこづくり（2022年1月）

2025年度には、公民館利用サークル「木更津友の会」と共催し、海外から講師を招いての「デンマーク体操体験会」も実施された。

○親子体験教室

2009（平成21）年から実施している親子体験教室は、子育て家庭の学びの機会、家族同士の交流の機会として、学習・創作・調理・体験などの様々なプログラムを実施してきた。

この10年間の特徴的な内容としては、近隣工場見学（2018年度）、地域史学習（2019年度他）、公民館芝生エリアでのポニーとのふれあい（2020年度）、父親の家事・育児参加を目的としたプログラム構成（2022年度他）、「ウクライナってどんな国」（2023年度）などが挙げられる。



ウクライナってどんな国（2023年12月）

2016（平成28）年度は、小学１～３年生家族を対象としていたが、2018（平成30）年度からは年長～小学２年生家族、2022（令和4）年度からは、小学生全学年家族と対象を変化させて実施してきた。多少の増減はあるものの、一定数の参加者があった事業であったが、コロナ禍を経た時期から参加者数が減少傾向となり、公民館運営全体の事情も相まって近年は実施回数が限定的になっている。

○20歳のつどい（旧 成人を祝う集い）

20歳の青年の門出を祝い励ます地域行事として、また同時に青年自身が大人になったことを自覚できる機会、地域住民との交流を図る機会を創出する社会教育事業として、君津市・君津市教育委員会が主催し、実施機関である各公民館が実行委員会等を組織して実行している。

周西公民館区域には、企業独身寮などに地区出身ではない対象者が多数在住しており、実際の「つどい」への参加はほぼないものの、同じ地域の20歳の仲間として、参加を受け入れることのできる体制づくりを継続している。

また、「地域と子どもの２分の１成人式」への協力（2018年度まで）、周西地区地域づくり協議会設立準備会への実行委員経験者の参加（2024年度）、実行委員による文化祭への模擬店出店（2025年度）など、「つどい」当日だけではない、地域との関わりづくりの取り組みが実施されている。

○青年事業

2011（平成23）年度のクッキング企画を皮切りに、青年層を対象にした事業を展開してきた。

2016（平成28）年度からは、それまでの流れを引き継ぎ「青年教室」として、ライフプラン、ピラティス、防犯などをテーマに実施し、ピラティスの取り組みは、その後、公民館利用サークルの発足につながった。

2019（令和元）年度には、認知度が高まってきたドローンの体験会を実施し、多くの参加者を得た。

コロナ禍を経て、2022（令和４）年度からは

「ともかつ」を実施。いわゆる婚活の手前の友達をつくる活動として、「１人ではやらないけどみんなでなら１度はやってみたいこと」をコンセプトに、様々な活動に取り組み、青年層の仲間づくりの場となっている。

また、青年層を対象とした継続的な事業展開は周西公民館の特徴的な事業運営の１つとなっている。

2023(令和５)年度プログラム	
6/24 (土)	Recreationみんなでモルック
8/26 (土)	Relax紅茶×トーク
10/14 (土)	Therapy絵本×涙活
12/2 (土)	Refreshバス×紅葉
2/10 (土)	Meditation写経×瞑想
3/30 (土)	Let's go! みんなでお花見



Let's go! みんなでお花見（2024年3月）

○青少年健全育成

周西中学校区青少年健全育成協議会において、以前は構成員の一部であった周西公民館であったが、2017(平成29)年度の公運審協議もきっかけとして、2019(令和元)年度より、事務局員の一員として活動支援を担うこととなった。

また、同年度より、協議会の講演会の一部を周西公民館が主管し開催している。2019年度の「異言語脱出ゲーム」（手話を用いて謎を解く体験型エンターテイメント）は71名の参加者を集め、後の周西公民館での「手話」に関連する取り組みのきっかけとなった。

2022～2024年度は家庭教育支援に関連する取り組みと兼ねたテーマを、また、2025(令和７)年度には市内公民館連携事業として、



異言語脱出ゲーム（2020年1月）

これからの子どもたちが生きる生成ＡＩ社会への大人の関わりへの理解を深める講演会を実施した。

○その他

2015(平成27)年度の開館10周年を機に始まった「地域と子どもの２分の１成人式」では、「10年後の自分への手紙」や成人を祝う集いへのくす玉プレゼントなどに取り組んだ。この事業は2018(平成30)年度まで４回実施されたが、参加児童の減少や家庭環境の多様性への配慮などを踏まえ、「２分の１成人式」のスタイルを見直した。

2019(令和元)年度には、「10歳からの地域デビュー」を掲げ、公民館をはじめとする地域行事と小学生の「お助け」をマッチングする取り組みを試みた。しかし、同年の台風災害や、その後コロナ禍もあり、継続には至らなかった。

一方、同年度には子ども向けの「趣味教養講座」として「子どものチアダンス教室」を実施し、終了後にサークルが発足した。その後も敬老会や20歳のつどいなど様々な場所でパフォーマンスを披露し、地域を元気づける存在になっている。

３　家庭教育・家庭教育支援に関する取組

○幼児家庭教育学級「たんぽぽ学級」

乳幼児期の子どもの保護者を対象にした通年の学級「たんぽぽ学級」は開館当初から継続している事業である。

近年は“子育てほっとステーション”を掲げ、家庭教育に関する学習機会の提供、保護

者同士の交流を目的に実施している。学級は「班」体制により運営され、また保育協力者による公民館保育が実施されて、学級生・保育協力者・職員の三者が一体となって運営を継続してきた。

コロナ禍の2020(令和２)年度は保育が実施できないなどの厳しい状況もあった。またそれ以前から参加者数の伸び悩みなどもあったが、コロナ禍以降は安定した参加者数があり、地域住民にとってニーズの高い事業だと推察される。

プログラム内容は、子どもの発達・成長や育児、家事や家庭生活（家事・食事等）、自分自身のケアや内面を見つめる活動、子どもを巡る社会の動きへの理解、創作活動や趣味教養、スポーツ、交流、バス移動学習など多岐に渡る。

自主活動の実施や、その後のグループ活動につながった例もあり、子育てを通じた貴重な仲間づくりの場となっている。

2025(令和７)年度プログラム	
6/12 (木)	開級式　オリエンテーション
7/7 (月)	レク＆トーク交流会
8/7 (木)	バスハイク（自主活動）
9/4 (木)	子どもに怒りすぎてしまうあなたへ～イライラの逃し方～
10/8 (水)	はじめてのマクラメ
11/14 (木)	子育ち講座①
12/3 (火)	子育ち講座②
1/21 (水)	栄養満点朝ごはん
2/17 (火)	ご自愛ヨガとジャーナリング
3/10 (火)	閉級式

○家庭教育学級

小学生の子どもをもつ保護者を対象にした家庭教育学級は、子育てについての情報交換や学級生同士の仲間作り、様々な学習・活動を通して、子どもの変化に向き合い、子どもの発達や取り巻く環境にも目を向けながら、より豊かな親子関係や家庭生活を築けるよう学びあうことを目指し、君津中央公民館・周西分館の流れを汲みながら開館当初から実施されてきた。

開館時は１つの学級であったが、2009(平成21)年度に、坂田小学校保護者対象の「わかば学級」と大和田小学校保護者対象の「スマイル学級」に分離した。それぞれで準備会が実施され学級生が当事者として学級に携わる運営が継続されて、それぞれの小学校と密接に関連したプログラムや自主活動など特色ある取り組みがなされてきた。

しかし、両学級での参加者数の減少などを受け、学級生による協議が行われ、2018(平成30)年度から統合し「わかスマ学級」として実施することになった。



わかスマ学級　開設（2018年6月）

さらに公運審での「家庭教育学級の見直し」の協議を経て、2020(令和２)年度からは、君津中央公民館区域と周西公民館区域を１つのエリアとして、「小学生の子を持つ保護者を対象とした家庭教育学級」を君津中央公民館が、周西では「思春期の子を持つ保護者を対象とした家庭教育学級」を担当することになった。しかし、見直した家庭教育学級を実施する矢先にコロナ禍にみまわれ、2020年度の合同実施はかなわなかった。2021(令和３)年度に、オンライン等の手法を用いながら実施したものの、新たなスタイルでの家庭教育学級は定着せず、2022(令和４)年度以降の合同開催は断念する形となった。

一年間の休止を経て、2023(令和５)年度は再び周西公民館単独で、対象エリアに君津中央公民館地区を含ませつつ、思春期の子を持つ保護者まで対象を広げた「すくすく学級」を開催した。

○思春期家庭教育学級

2012(平成24)年度、２つの家庭教育学級の発展版として、思春期の子を持つ保護者の学級がスタートした。愛称を「おしゃべりカフェ」とし、①思春期の子育ての課題と必要な知識や考え方の学習 ②子どもを支援し、自らも親としての生き方・子育てのあり方を客観的に捉える ③保護者同士のつながりを作り、共に学び合い語り合う関係を深めることを目標に、思春期特有の心身の発達への理解、受験・進学(高校見学など含む)、学級生自身の自己実現や暮らしの充実などをテーマに事業を展開してきた。

なお、前述の「家庭教育学級の見直し」により2019(令和元)年度より君津中央公民館地区も含めた思春期家庭教育学級を周西公民館が担当することになり、性教育、児童虐待、家事、趣味教養的な内容などもテーマに加え実施してきたが、コロナ禍と重なったこともあり、参加者は年々減少していった。君津中央公民館地区からの参加者も極僅かにとどまり、2023年度からは前述の家庭教育学級「すくすく学級」に統合することとなった。

○その他の家庭教育支援に関する取組

幼児家庭教育学級、家庭教育学級、思春期家庭教育学級の学級合同による「記録集のはら」作成は2018(平成30)年度まで取り組みが行われた。この「のはら」の名称は開館当時実施していた学級「わかば」と「たんぽぽ」が大地に根を張り、共に力強く育っていこうという思いから名付けられたものであった。その後、学級単独での発行、君津中央公民館との合同発行と形を変えながら記録集の取り組みは2021(令和３)年度まで続いた。

2024(令和６)年度からは、前述の「すくすく学級」を改変し、通年での「学級」のスタイルにとらわれず、各回申込み・サロン的なスタイルの事業「家庭教育サロン-話そう！色とりどりの子どもたち-」を実施した。翌2025(令和７)年度には、不登校児が年々増加していることをふまえ、小・中・高校生を子に持つ保護者を対象に、悩みごとを共有し、気軽に語り合うことのできる場として「思春期・不登校カフェこもれび」を実施した。

また、通年学級内の１回を「公開講座」とする形式や、健全育成、人権講演会などと兼ねる方式などをとりながら、家庭教育に関連する公開講演会を実施してきた。

このほか、複数の公民館が合同開催する形式で、公民館保育の保育協力者研修が継続的に実施されている。

年度	公開講演会テーマ
2017	揺れ動くこどもの心
2019	デートＤＶの実態と予防
2020	児童虐待をなくすために
2021	思春期の今だからこその性教育
2022	子どもの不調～コロナ禍の波紋～
2023	スマホ・ゲームのルール決め
2024	子どものやる気の引き出し方

４　成人の学びに関する取組

○高齢者学級・高齢者の学び

高齢期の生きがい創出、健康増進、仲間づくりや地域とのつながりを目的に開設されてきた高齢者学級は、老人クラブ(現 シニアクラブ)と提携した「さざなみ学級」と、一般公募による学級（名称は変遷があるが、2012(平成24)年度から「なでしこ学級」、2018(平成30)年度から「ゆとり学級」）の２つの学級が、2019(令和元)年度まで開設されていた。

「さざなみ学級」は年間10回のプログラムで、健康学習、終活、認知症、調理、交通安全、地域の歴史、レクリエーション、軽スポーツ、体操、移動学習など実施してきた。もう一方の学級「なでしこ学級」「ゆとり学級」では年間９回程度の開催で、健康学習、介護予防、食事、終活、地域誌、体操、創作、調理、災害、自分史、交流会、移動学習などの内容であった。また、２学級合同での人見保育園(当時)との交流会も実施された。

この２学級体制は、シニアクラブへの加入の状況によって参加できる学級が分かれてしまうことや、年齢層の幅広さから生じるニーズの多様化への対応の難しさ、「ゆとり学



保育園との交流（2017.10）

級」の認知度の低さなどが長年の課題となっており、2019(令和元)年度、公運審での学級見直し協議や、両学級生などの協議を重ね、2020(令和２)年度からは、高齢者学級が次のように再編された。

１つは、高齢者の生きがいや仲間づくりを支援し、“アクティブシニアのための連続学習講座”として構成する「おとなの放課後倶楽部」である。「60歳は人生３度目の二十歳」「人生の放課後をアクティブに過ごしましょう」と呼びかけ、年間８回程度実施している。

2020(令和２)年度「おとなの放課後倶楽部」	
10/16（金）	開級式＆レクリエーション
11/20（金）	ロコモティブシンドロームのおはなしと体力測定
12/11（金）	映画鑑賞「SUSAI★シアター」
1/22 （金）	歩いてふれよう地域の歴史
2/26 （金）	癒しのランプづくり＆閉級式
コロナ禍による制限で一部中止	

もう１つは、シルバー世代のための“ちょっと得するゆるやかな交流”と呼びかけて開催している「お達者倶楽部ゆいまーる」である。こちらは学級形式をあえてとらず、各回申込の運営としている。近年はスマホ講座が中心となっている。

2022(令和４)年度「お達者倶楽部ゆいまーる」	
7/20（水）	すさいうたごえ広場①
8/31（水）	すさいうたごえ広場②
2/7（火）	スマホ操作　基本編
2/14（火）	相続と争族「相続のキホン」
2/20（月）	相続と争族「マイライフ＆エンディング」
2/21（火）	スマホ操作　応用編その１
2/28（水）	スマホ操作　応用編その２



スマホ操作基本編（2023.2）

○女性対象事業

過去には趣味教養講座で女性を対象とした事業を実施したこともあったが、2016(平成28)年度以降では、2020(令和２)年度・2021(令和３)年度の２年間、「Dear WOMAN」と愛称をつけた女性学級を実施した。これは、思春期家庭教育学級での、自分自身のための学びを独立させた学級であった。連続でも単独でも参加可能とし、２年間で、パーソナルカラー、セルフケア、ネイル＆ハンド＆フットケア、ストレッチ、乳がん等のプログラムに取り組んだ。

○人権関連事業

人権意識の向上や理解を深めるための学習機会として、講演会・体験や複数回の講座を開催している。家庭教育や青少年健全育成などの事業と関連して実施していることも多い。

年度	内容
2017	講演会「性別で見る多様性と人権」
2018	同上
2019	講演会「デートＤＶの実態と予防」 ＊思春期家庭教育学級公開講演会 講演・体験「異言語脱出ゲーム」 ＊青少年健全育成講演会
2020	講演会「児童虐待をなくすために」 ＊思春期家庭教育学級公開講演会
2021	手話講座（聴覚障害への理解促進） ＊趣味教養講座（３回）

2022	「やさしい日本語講座」
2023	「なぜ戦争がおこるの」（２回）
2024	「不登校サポート！」（３回）
2025	「子どもの個性・特性・障害」 他〔３回〕 ＊「思春期不登校カフェ こもれび」公開講座
2026	講演会「ろう者の歴史から学ぶ、誰もが自分らしく生きる権利」

○趣味教養講座

開館当初から地域文化の創造や新たな地域交流・公民館利用サークルの設立などを目的として開催されてきた趣味教養講座は、2021年(令和３)年まで継続された。

年度	内容
2016	初めてのかんたんパソコン
2017	脳が喜ぶ！心が笑う！わくわくクリニカルアート!!
2018	珈琲を楽しむ講座
2019	珈琲を楽しむ講座
2021	はじめての手話

5　地域の課題、地域の歴史・文化、地域づくりに関する取組

○地域課題への取組

周西分館時代から実施していた地域の歴史・自然・文化について学ぶ「地域再発見教室」を2014(平成26)年に「地域課題学習講座」に組み換え、地域の課題として認知症を取り上げた。2016(平成28)～2018(平成30)年度には、そこから生まれた「すさい認知症サポーターの会」の支援として「認知症サポーター養成講座」と共同実施での「認知症カフェ(ほっこりタイム)」に取り組んだ。

なお、2016・2017年度には「地域課題学習講座」とは別の枠組みとして「子どもの幸せと地域の役割を考える講座」を西地区社会福祉協議会との共催で実施し、社会的養護や、子どもの成長と祖父母の関わりについての学びを深めた。

2016年度の「地域課題学習講座」は「放課後プロデュース講座」と題して放課後子ども達を地域で見守り育てていく学習の試みを行った。

その後、2017・2018年度はこの「地域課題学習講座」の枠組みの中で、地域の歴史文化についての取り組み（後述）が行われることになったことから、2019(令和元)年度から、改めて、「地域課題解決支援事業」と「地域学習講座」を設置し、位置づけを整理した。

2019年度の「地域課題解決支援事業」は、「地域課題(お困りごと)調査隊」と称して調査員を募集し、調査・アンケートを実施。令和元年房総半島台風とそれに続く大雨災害もあり、アンケートに多数の声が寄せられた「災害と高齢者」「地域で取り組む防災」をテーマに学習会を企画した。この取り組みはコロナ禍を経ながら、2023(令和５)年度まで継続された。



防災講座（2024.9）

2025(令和７)年度からは、アプローチを変え、地域の課題を共有していくための「自治会長・公民館情報交換会」を開催している。

また2025年３月の公運審答申を受け、同時に地域づくり協議会の動きも関連し、周西地区の課題として挙げられた「つながり・コミュニケーション」に資する事業として「周西ひだまりひろばプロジェクト」の取り組みが開始された。2025(令和７)年度内は有志住民とプロジェクトチームを発足させ企画づくりの協議を実施。“日常の小さな出会いを彩る”をキャッチコピーに、ギャラリー及び芝生広場での催し・創作・体験・出店・出展などを募集し、カレンダー形式で情報発信する取り組みを2026(令和８)年５月から開始している。

○地域の歴史・文化への取組

前述の通り「地域課題学習講座」の枠組みの中で、2017(平成29)年度には、市内８公民館連携事業の一環として「はまっぺウォーク」と題し、ノリ漁業についての体験・講義と地域散策を実施した。翌2018(平成30)年度も同様の位置づけで「周西まるかじり！-鉄砲巻きと堅パンと～きみつの海の今昔～」と題し、漁業資料館での体験・見学、神門自治会館での調理、新日鐵住金株式会社（当時）の見学を行った。

2019(令和元)年度は、周西地区の歴史・自然・文化などを題材に、地域の特性と魅力への理解を深めるような学習に取り組むことを目的に「地域学習講座 周西まるかじり」を新設し、「妙見信仰」をテーマに座学、青蓮寺や人見神社見学、鉄砲巻きづくりを実施した。

2020(令和２)～2022(令和４)年度は、1960年代からの急激なまちの変貌を、当時を知る住民・関係者の想いや記憶から記録化し、地域資料としていく「すさい・まちの変化100の記憶」に取り組んだ。（詳細は第３章）

○多文化共生

「学び直し」への注目度の高まりから、2020(令和２)年度より君津市の公民館全体でこの観点での取組を進めることになった。その中、周西公民館地域の状況を調査すると、日本語を母語としない外国出身者等の住民(以下、外国人)の割合が他の地域と比較して高いことがわかり、外国人労働者が一定数勤務する企業も点在していることがわかった。

そこで、学びから遠ざかっている人を意識的に対象とし、学習権保障の観点から公民館で学び・活動の場を創出することを目的に、多文化共生の取り組みを2021(令和３)年度から実施した。

2021年度は「多文化共生のまちづくり講座」と題し４回のボランティア養成講座を実施した。なおコロナ禍であったため、すべてオンライン開催となった。

2022(令和４)年度からは、外国人の生活支援（生活に必要な情報、会話上達）、仲間づくりや地域参画のきっかけづくりとして、ボランティアの協力を得ながら、公民館やその周辺での体験・交流プログラムを展開した。

2022(令和４)年度プログラム	
7/30 (土)	茶道体験
8/19 (金)	スポーツ交流
9/3 (土)	防災学習　避難所体験
10/2 (日)	書道体験
12/18 (日)	鉄砲巻きづくり
2/5 (日)	生春巻きづくり
3/26 (日)	お花見＆和菓子作り



茶道体験（2022年7月）

参加者からは好評だったものの、留学、就労などで多忙であること、車を持っていない方が多く来場が難しいことなどから、参加者が集まらず、2024(令和６)年度で一度休止とした。なお、それまでの取り組みを途絶えさせることにないよう、文化祭パンフレットの英語版を作成するなどの取り組みは継続している。

○地域づくり

2024(令和６)年度より、君津市での新たな地域づくりの仕組みとして、地域コミュニティの活性化と多様な住民自治(地域自治)の実現を目指すことを目的とした「きみつ地域づくり協議会」の制度が開始された。

周西地区では同年６月より設立準備会の取り組みが始まった。2025年３月の公運審答申を踏まえ、周西公民館では翌2025(令和７)年度より、「周西地区地域づくり協議会支援事業」と位置づけを明確化し伴走支援に取り

組んだ。

2024年６月の設立準備会発足から16回の準備会会議を経て、2025年９月28日に22名で地域団体「周西ファンBASE」が発足。同年10月４日に、周西地区での「地域づくり協議会」として市から認定を受けた。全体活動と複数のグループにわかれての活動が展開されており、公民館は地域づくり課と共に会議運営、情報発信、活動サポートなどの支援の他、共催での事業実施など行っている。



設立準備会キックオフミーティング（2024年6月）

6　サークル・団体の支援などに関する取組

「サークル団体研修会」は、長期（定期）的に公民館を利用しているサークル・団体を対象に、公民館の歴史や意義の理解促進や、公民館利用や予約の方法説明、サークル団体支援などを目的に毎年開催している。多くのサークル・団体が参加できるよう、日中と夜間に同じプログラムを２回実施することが通例となっている。また、公民館運営に関わる重要な事項についての説明・協議の場ともなっている。

また、サークルの日頃の活動の成果を発揮する機会として、夏休みなど長期休みの子どもたちの体験を受けいれる「大人と子どもの交流広場」は、2019（令和元）年度まで実施されたが、翌年度からはコロナ禍となったこともあり休止した。

この他、サークル運営についての相談対応や、「周西公民館利用者の会」の運営支援に日常的に取り組んでいる。

7　地域文化の振興・交流促進に関する取組

○周西公民館だより「はまっぺ」発行事業

開館当初から発行している周西公民館だよりは、地域情報紙としての役割を果たすこと、住民の地域への関心を高めることを目的とし、年間４回を基本として発行している。紙面の企画・取材・編集は、地域住民による編集委員体制で取り組んでいる。

2016（平成28）年度以降の特筆事項は表の通りである。

年度	特筆事項
2016	・新コーナー「いきいきママにインタビュー！」「街かど通信　いいね‼すさい」 ・たよりの愛称を募集し、投票の結果「はまっぺ」に決定
2017	・周西幼稚園の閉園特集を連載
2018	・紙面をB4判2面からA4判4面に変更 ・新コーナー「まちがいさがし」
2019	・新コーナー「すさい探訪」 ・地区内小学校児童への配布開始
2020	・コロナ感染予防のため変則的な編集体制
2021	・市制施行50周年にちなみ、新コーナー「すさい今昔」 ・小学校統合関連記事掲載
2022	・「ホテル千成」記事掲載
2023	・コロナ禍を経て再開する地域行事を多数紹介
2024	・紙面のカラー化
2025	・旧大和田小学校校舎の関連記事掲載
2026	・全市的な自治会配布方法の変更により、発行方法が変わる。あわせてＨＰに紙面掲載開始。

公民館だよりの発行は、公民館への来館者・参加者を直接対象とする他の事業とは異なり、読者・紙面登場者など「地域全体」を対象とした公民館事業となっている。

○周西公民館地区文化祭

公民館利用サークルはもちろんのこと、地域の多数の団体・機関などが参加し、文化活動や学習、文化、スポーツ活動の発表・交流

の場として開催している文化祭は、周西公民館事業の象徴的存在である。

それまでは利用者運営協議会の主催であったが、2015(平成27)年度から公民館が事務局的役割を担い、実行委員会が運営する体制で周西公民館地区文化祭を実施するようになった。

2016(平成28)年度からは開催テーマを「学んだ成果 見せる 聞かせる 文化祭 ～世代を超えて やりたいことが見つかるよ」とし、取り組みを重ねている。

年度	特筆事項
2016	・発表、ダンス、バザー模擬店、展示、体験の５分野での実施。
2017	・５分野実施 ・初めての特別企画として特別企画展「団地のある街で」を実施 ・２日目は台風接近により中止
2018	・５分野実施 ・特別企画:漁業資料館開館30周年「海苔付け体験」「30メートルの海苔巻き（鉄砲巻き）作り」
2019	・５分野実施 ・特別企画：歴史を体感！～周西「歴史」まるかじり～（クイズとシールラリー、勾玉づくり） ・小学生による開催ポスター作成や開会式司会
2020	・コロナ感染拡大防止対策のため文化祭は中止。代替事業「周西万博週間－SusaiExpoWeek－」を開催 ・発表（録画上映）、展示、模擬店の３分野開催。
2021	・３分野開催 ・特別企画:「秋風コンサート」(クラシック等の演奏、『周西公民館の歌』披露)
2022	・３年ぶりの対面開催 ・展示、発表、体験、販売の４分野 ・特別企画：「すさい・まちの変化100の記憶 スピンオフ」(土地区画整理組合解散記念碑巡りウォーキング、RKB毎日放送局制作の番組上映会)
2023	・４分野開催
	・特別企画：地域のお祭り紹介（コロナ禍からの再開）
2024	・４分野開催
2025	・４分野開催 ・特別企画:周西を「大好き」と「楽しい」でつなぐ地域づくり
2026	・第20回記念文化祭として11/３～８の６日間開催



漁業資料館開館30周年「海苔付け体験」(2018年10月)

８　その他

市内８公民館の連絡組織である君津市公民館連絡会の事業として、2009(平成21)年度から2018(平成30)年度まで「共に学ぶ市民の集い」を巡回開催していた。このうち、2017(平成29)年度は地域福祉と公民館をテーマに「支え合いの地域づくりと公民館の役割」と題して周西公民館を会場に実施された。

また、市内８公民館連携事業として「きみつを歩く」(2017)「きみつ新発見！」(2018・2019)「公民館で健康になろう」(2020)などのテーマが設定され、これに合わせて周西公民館では「はまっぺウォーク」(2017)や「きみつ新発見！周西まるかじり」(2018)を実施した。近年では、2025(令和７)年度に、生成ＡＩをテーマに、講演会と講習会を周西・清和・上総の連携事業として実施している。

この他、2018(平成30)年には、寄贈された図書を中心に、ギャラリーに「周西文庫」を設置し、読書推進と憩いの場づくりに取り組んでいる。2021(令和３)年12月には坂田青年館より「坂田文庫」の寄贈を受け蔵書の充実が図られた。

第３章

地域の歴史・文化を未来へつなぐ



1965（昭和40）年ごろの旧君津駅舎
企業誘致の記録-君津と新日鐵-（千葉県立上総博物館 平成14年度企画展）より、君津市提供写真。

公民館は、地域の歴史を次世代に「つなぐ」こともその役割１つと言えます。講座の一部や、公民館だよりの紙面など様々な場面で取り組んできましたが、この10年で特に象徴的だったのが、「すさい・まちの変化 100の記憶」です。この取り組みを振り返りながら、開館から20年を迎えた周西公民館が地域で果たす役割を改めて考えてみたいと思います。

第１節　「すさい・まちの変化 100の記憶」が伝えるもの
第２節　【資料】周西地域史関連文献一覧

「すさい・まちの変化 100の記憶」が伝えるもの

1　「100の記憶」の位置づけ

第２章でも触れたように、周西分館時代から実施していた地域の歴史・自然・文化について学ぶ「地域再発見教室」は、2014(平成26)年に「地域課題学習講座」に組み換えられた。

しかし、市内公民館連携事業との関連もあり、再び2017(平成29)年度より、地域の歴史文化をテーマにした参加体験型事業「周西まるかじり」をこの「地域課題学習講座」として実施するようになった。

2019(令和元)年度、周西公民館の事業全体の見直しの機会もあり、それまでの「地域課題学習講座」とは別に「地域学習講座」を新設し、歴史・文化についての取り組みを移行した。この「地域学習講座」の２年目の企画として2020(令和２)年度にスタートしたものが「すさい・まちの変化 100の記憶」（以下「100の記憶」または本事業）であった。

2　まちの変化

周西公民館地区の沿岸部一帯は(株)日本製鉄東日本製鉄所君津地区の工業区域である。

この土地は、1821年に近江屋甚兵衛が人見村小糸川河口付近で海苔養殖に着手して以降、海苔養殖が産業となり、住民の多くは冬場は海苔養殖、春から秋は農業で生計を立てる半農半漁の生活を営んでいた。

北九州の八幡製鐵所株式会社（当時）が君津で操業するにあたり、1961年千葉県と工業用地造設分譲協定を締結した。地元では先祖代々からの生活基盤を根底から変える埋め立てには大きな反対があったが、紆余曲折の末２つの漁業協同組合が漁協権を譲渡。瞬く間に巨大な製鉄所が建設され、北九州を中心に労働者とその家族２万人以上が君津に移住した。さらに土地区画整理事業によって住宅地、学校、商業施設などのインフラが次々に整備され、より暮らしやすいまちへと姿を変えていった。

周西地区は製鉄所の進出により人々の仕事や暮らし・文化に大きな変化が起こり、他に類を見ないような大規模かつ急激な変貌を遂げてきた。この変化は、君津市のまちづくりの歴史を象徴的に表すものとも言える。

3　「100の記憶」取り組みのきっかけ

2021(令和３)年は、これらまちの変化のきっかけとなった海苔養殖開始から200年、千葉県と八幡製鐵の協定から60年の節目の年であった。また、君津市市制施行50周年にあたる年でもあった。

大きなまちの変化から50数年の歳月が流れていた。当時を知る方々は、当然に高齢化が進んでいる。

「ここ１、２年のうちに話を聞かなんだら、もう昔のことを話せる人がおらんようになるよ。それができるのは、公民館しかないよ」周西分館時代の「地域再発見講座」をきっかけに公民館活動を始め、仲間と共に地域の文化遺産や歴史を記録する活動を続けてきた地域住民の方から、このようなつぶやきを投げかけられたのは、2019(令和元)年のことだった。

これらが重なり合い、新たな取り組みを模索することになった。折しも、コロナ禍となり、大人数が参加するような取り組みが難しい状況となったことを逆手にとり、参加体験型ではなく調査・記録を主な手法とするスタイルで、当時を知る人の記憶や想いを記録化し、地域資料として残す事業として2020(令和２)年度に「100の記憶」がスタートした。

「100の記憶」という名称には、「100人にインタビューする」という大きな目標が込められていた。

4　取り組みの経緯

「100の記憶」は、大きく分けて３期に区切り、２年間の期間で取り組んだ。

2020(令和２)年度の第１期は「調査員」を

募集し、インタビュー調査を行うための基礎知識を学ぶ期間、2021(令和３)年度は、第２期インタビュー調査、第３期まとめ作業を行い、冊子を刊行した。

【第１期　学習会（2020年９月～12月）】

第1回	**オリエンテーション** ・企画の趣旨や計画について確認、自己紹介。 ・ドキュメンタリー番組「もうひとつの八幡製鉄所・君津-『民族大移動』から50年-」(2020年、RKB毎日放送)を視聴
第2回 第3回	**学習会　周西地域の変化** ・漁業権の譲渡や製鉄所の建設 ・土地区画整理・写真で見る周西地域
第4回	**学習会　聞き取り調査の基本** ・聞き取り調査を行う際のノウハウ、気をつけるべき点など
第5回 第6回	**協議　インタビュー調査計画** ・対象者の属性分類 ・調査(聞き取り)項目を21項目設定

８名の方が「調査員」として参加。コロナによる実施延期などもあったが、学習を終えることができた。



【第２期　インタビュー調査
（2021年５月～）】

インタビュー（調査員の皆さん・公民館職員）
・人生の物語と思いを大切に聞き取り、文章に起こしていく
・限られた文字数にまとめ、ご本人に納得いただけるまで校正
・インタビュー、執筆協力者
　・北九州から移住してきた方
　・地元で生まれ育った方
　・製鉄所の進出により漁業から転職を経験した方
　・長年新日鐵に勤務した方
　・社宅で子育てをした主婦の方
　・地元企業、商店、飲食店の経営者　　など

定例会（毎月１回）を開催
・インタビュー進ちょく状況の確認や情報交換

「私の話が役に立つのなら」の声や、「ぜひ自分の話を聞いてほしい」の電話、「この人に聞くと良いよ」の紹介などもあったが、お話をうかがう少し前に亡くなった方もいらっしゃった。

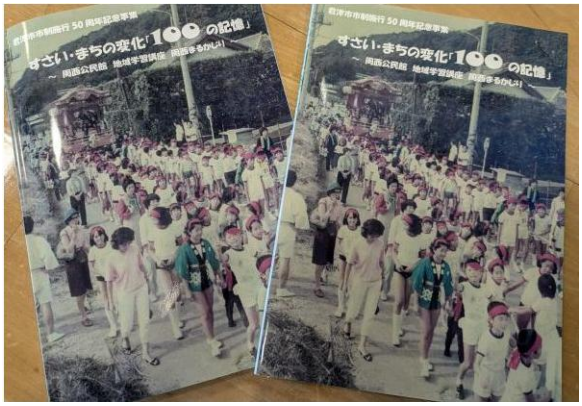
最初は言葉少なに語り始める方も、どんどん話が弾み、二時間では語りつくせないこともしばしばであった。

なお、この期間もコロナによる休館や活動制限で中断せざるを得ない時期もあった。



【第３期　発行】

2022(令和４)年３月、最初の学習会から２年半の期間をかけて『すさい・まちの変化100の記憶』が発行された。最終的には108名の原稿が掲載された。



５　「100の記憶」からの広がり

本事業と同時期に、福岡県の民間放送局・ＲＫＢ毎日放送株式会社が、君津製鐵所操業に伴い多くの人々が九州から君津へ移住し

た通称「民族大移動」に関するドキュメンタリー番組を制作していた。

番組ディレクターが初めて周西公民館に来館したのは、令和元年房総台風直後の秋のことだった。これをきっかけに、資料提供（例えば2017年特別企画展「団地のある街で」）や取材対象者の紹介などで連携を深めていった。コロナ禍の影響も受けながら、複数回、君津・周西に取材に訪れ、制作された番組が「もうひとつの八幡製鐵所・君津～『民族大移動』から50年～」であった。

ディレクター協力の下、2022年４月には「100の記憶」発行に合わせた番組上映会を周西公民館で開催し、多くの注目を集めた。

同年には発行を契機として、文化祭特別企画での土地区画整理事業の記念碑を巡るウォーキングイベントや、他地区での事業報告を行った。

また、2025（令和７）年にも九州地方の新聞に「100の記憶」が取り上げられた。



６　「100の記憶」を振り返る

「100の記憶」に調査員として携わった２人の方に、発行から３年数ヶ月が経過した今、改めて感じること・考えることを寄稿いただいた。

■地域誌にしか残せない「100の記憶」

『すさい100の記憶』に携われた事はとても光栄でした。当時私は周西公民館の幼児家庭教育学級「たんぽぽ学級」に参加しており、そのプログラムの中で周西マップクラブの元岡さんから街の歴史について教わった事が大変興味深く、元々歴史好きであった事もあって、元岡さんがいらっしゃるならぜひ事業に参加したいと思い仲間に入れていただきました。

『100の記憶』は、この地区に長く住む方にお話を聞いてその思い出と共に昔の周西地区の事を記録していくといったもので、私は当時副館長だった藤平さんと共に、昔を語ってくれるおばあちゃん世代の女性に話を何件か伺いました。やはりインタビューは男性は男性の、女性は女性のインタビューを。というのが大正解で、仕事の事などは男性同士の方が理解しやすいし、女性は女性同士の方が共感しやすい。当時の子育ての事、買い物事情など、時代が違っても共感できる部分が多い事はとても興味深かったです。中でも印象的だった事は、日本製鐵が君津に来る以前、自分が子供だった頃はこの辺りは農業も漁業もやっていて、海で貝をとり、海苔を作って、その海苔は館山から来た漁師さんが獲った魚と物々交換、田んぼでお米は獲れるし、じいちゃんが山に行ってイノシシやキジを獲ってくるからたまに肉も食べ、鶏も飼っているから卵や鶏肉も食べていた。日本が貧しい時代でも、お金が無くても食べる事には事欠かなかった。時代が経って成人して長野県出身の夫に、あの頃の日本人の中では相当豊食だなあと言われた。と語る女性の話を聞いて、気候風土が穏やかなこの地区ならではのお話だなあ。確かに長野の山奥じゃこうはいかないだろうなあ。と切に思いました。

他の女性から聞いた話にも、日本製鐵が君津に来てから人口が爆発し、学校も子供達でいっぱい！当時の大和田小学校は児童1000人、教頭先生は２人もいた。というお話もあってびっくりしました。

日本製鐵が君津に来てから、君津に元々住んでいた人々の生活も、九州から民族大移動で来た人々の生活も、大きく変わった事がよくわかる、先人達の苦労と生活の営み、喜びなどがぎゅっと詰まった『100の記憶』。コロナ禍で思ったような活動ができない事もありましたが、日本の歴史図鑑には載らない地域ならではの一冊を、職員さんと地域の

人々によって作り上げた事は、公民館事業としてとても素晴らしい事でした。この事業に携わり、様々な学びや経験を得られた事を感謝いたします。　　（朝生 真由美）

■人々の記憶を通して見る歴史

周西公民館において「すさい・まちの変化100の記憶」の事業がスタートしたのは令和２年（2020）９月、まだコロナ・パンデミックの真っ只中の時期であった。当初は「100人の方々にインタビューをしてその記録を約１年でまとめる」という大掛かりな計画を聞き、この情勢下で本当にできるのかというのが正直な思いであった。しかしながら、月１回の定例会議は着実に進められていき、５回目の会議では、実際にどのような人を対象にインタビューをするのかという対象者の種分けが議題となった。私が素案を作成する任を受け持ち、その結果、25項目の対象者区分が想定された。

具体的にどのような分類があったかというと、〇新日鐵関係に勤務し北九州方面から移住してきた人、〇地元出身で新日鐵関係に就職した人、〇地元出身の女性で新日鐵関係の移住者と結婚した人、〇大和田社宅で幼少期から生まれ育った人、など新日鐵に関係する項目がある一方、〇地元出身で商店・飲食店の経営に携わった人、〇市役所や公共施設の業務に携わった人、〇周西地域に生まれ育って他の地域に住んだことがない人、〇海外から周西地域に移住してきた人、〇周西地域の生まれで現在は他の地域に住んでいる人、などの項目もあり、より幅の広い立場、多角的な視点から、周西地域に関する人々の記憶、印象、意見、思い出、感想などを収集しようとした。

実際にインタビューを始めてみると、必ずしも一つの区分に当てはまらない場合や、複数の区分を兼ねるような人もいたが、最初の段階で色々な区分を想定して、インタビュー対象者の人選を行ったことは、より幅広い様々な観点からの「記憶」を集める上で有効だったのではないかと考える。残念ながら出来上った冊子には、紙面の都合からか、このような対象者の区分けやインタビューを行うまでのプロセスが省略されているが、それも一つの「記憶」としてここに書き記しておく。

周西地区は、君津市全体の中にあっても激変した地域であると言って良い。中でも昭和30年代末から40年代前半頃にかけての高度成長期における漁業権譲渡と新日鐵の操業、それに続く一連の区画整理事業は町を大きく変貌させた。ただし新日鐵に関わる変化だけをことさらに大きく取り上げるだけでは、見失う部分も多いと思われる。その意味で、１冊にまとめられた「100の記憶」の記事は、それぞれの職業、それぞれの世代、それぞれの人生の中で捉えられた地域の歴史の集大成ともなっており、今後の新しい地域づくりに向けてのヒントにもなるのではないかと思う。　　（小沢　洋）

7　「100の記憶」がつなげるこれからの未来

本事業を担当した職員達は、次のようなコメントを残している。

・お一人おひとりの人生の物語に胸が熱くなった。原稿に起こすときは、できるだけその方の思いや情景が伝わるよう心がけたが、それでも書ききれないことがたくさんあった。改めて、「聞く・記録する」ことの大切さを学んだ。
・製鉄所の進出は、多くの人たちの運命を変えた。その捉え方は百人百様ながらも、みなこれまでの人生を肯定し、これからのまちづくりへの期待を語ってくれた。
・幾人もの記憶を統合し、全体を俯瞰すると、表面的に理解していた「過去」が多角的に、深みを増して見えてきた。
・一滴の雫が大河に収斂されていくように、いくつもの人生が縒り合され、やがて「まちの歴史」そのものになっていくということを実感した。
・この冊子を単なる回顧録にせず、まちがたどってきた歴史を捉え直し、人々の活動の記録や想いから学ぶことは、これからのま

ちづくりを考えるうえで大きな意味があるのではないだろうか。

地域の歴史を記録していくことは、単に過去を懐かしむだけではない。激動の時代を駆け抜けた先人たちの軌跡を辿り、その想いに触れることは、私たちが立つ「今」の価値を再発見し、「未来」を展望するための確かな足がかりとなる。

個人の記憶や想いの多くは、放っておけばやがて消えてしまう。しかし、それらを丁寧に集め、編み上げることで、次世代へと受け継がれる「地域の歴史」となる。

様々なきっかけとご協力を得ながら、100名を超える想いを形にしていった取り組みが「100の記憶」であった。

周西公民館が20周年を迎えた今日、未来のまちに想いを託すため、地域の歴史文化の継承や資料として形に残すことに公民館が果たす役割・責任は、これまで以上に明確になったと言える。この記録された記憶こそが、新たな地域を創り出すための、礎となるだろう。

※なお、本節の２～５は『公民館で学ぶⅥ コロナ禍を超えて未来を創る』(2023/長澤成次編著/国土社)に収録されている『すさい・まちの変化「一〇〇の記憶」』(三枝美和子)を参考・引用し、一部加筆等して作成した。

【資料】周西地域史関連文献一覧

「100 の記憶」作成にあたっては、「記憶を記録へ」という合言葉のもと、多くの地域住民の方々へのインタビューとともに、多数の関係文献を引用・参照した。

周西地域の歴史を後世に語り継ぐことは、公民館の重要な役割である。先人が編み出した貴重な財産を「地域の宝」として次世代へつなぐため、また、地域の歩みを深く知るための手引きとして、「100 の記憶」及び本記念誌発行を契機に改めて整理・把握できた周西地域史関連文献をここに目録としてまとめた。

掲載資料には当館で保管しているもののほか、君津市中央図書館や他機関に収蔵されている貴重な資料も含まれている。

- **『千葉県君津郡君津町誌 前編』**君津町誌編纂委員会・君津町　1962(昭和37)年10月30日
- **『転勤者のしおり』**君津製鐵所人事課　1969(昭和44)年４月１日
- **『千葉縣産業文化財史蹟 近江屋甚兵衛翁史』**川名邦五郎　1969(昭和44)年11月
- **『君津市立周西中学校創立五周年記念誌』**周西中学校PTA　1973(昭和48)年２月24日
- **『千葉県君津郡君津町誌 後編』**君津町誌編纂委員会・君津市　1973(昭和48)年９月30日
- **『君津冷延工場10周年記念誌 飛翔10年』**新日本製鐵株式会社 君津製鐵所　1975(昭和50)年４月１日
- **『のりひび』**神門自治会　1976(昭和51)年11月20日
- **『周西周学校「創立十周年の歩み」』**周西中学校十周年記念事業実行委員会　1978(昭和53)年３月
- **『創立十周年記念誌 十年のあゆみ』**大和田小学校十周年記念実行委員会　1978(昭和53)年11月８日
- **『君津市君津地区商店街診断報告書』**君津市・君津市君津商工会・千葉県中小企業総合指導所　1979(昭和54)年３月
- **『坂田郷土誌』**坂田土地区画整理組合　1981(昭和56)年11月10日
- **『埋立20周年記念 はまっぺ』**君津市漁業資料保存会　1982(昭和57)年７月22日
- **『瑞雲』**君津市久保土地区画整理組合　1983(昭和58)年３月29日
- **『日々新たに 君津製鐵所20年史』**新日本製鐵株式会社　1985(昭和60)年４月１日

・『礎』君津市中野土地区画整理組合 1986(昭和61)年10月１日
・『Ｔｈｅ　Ｌｉｏｎ きみつ 20周年記念特集号』君津ライオンズクラブ　1988(昭和63)年２月21日
・『星霜20 創立二十周年の歩み』君津市周西中学校　1988(昭和63)年３月＊奥付記載なし
・『燦 人見郷土誌』君津市人見土地区画整理組合 1991(平成３)年３月
・『収蔵資料解説書』君津市漁業資料館・君津市教育委員会　1992(平成４)年７月１日
・『周西地区民俗調査報告書 人見・神門を中心として』君津市民俗総合調査会 1995(平成７)年３月31日
・『神門雑記－古きを訪ねて新しきを知る－』石井澄雄　1995(平成７)年８月10日
・『周西幼稚園開園30周年記念誌 すこやか』君津市立周西幼稚園　1995(平成７)年11月10日
・『神門雑記(その２)－古きを訪ねて新しきを知る－』石井澄雄　1996(平成８)年１月10日
・『地域再発見 周西の歴史を訪ねて』周西分館地域再発見教室　1996(平成８)年２月27日
・『君津製鐵所30周年記念写真集 躍進の軌跡 -エバーフレッシュ 君津-』新日本製鐵株式會社 君津製鐵所　1996(平成８)年３月
・『神門雑記(その２)改訂版』石井澄雄 1996(平成８)年８月10日
・『収蔵資料目録』君津市漁業資料館 1997(平成９)年８月10日
・『創立30周年記念誌 丘の風』周西中学校創立30周年記念事業実行委員会　1998(平成10)年３月吉日
・『坂田自治会報 創刊～40号総集編』平成９年度坂田自治会　1998(平成10)年３月30日
・『千葉県君津市立周西小学校 創立百周年記念誌 学窓に風光る』千葉県君津市立周西小学校創立百周年記念事業実行委員会 1998(平成10)年11月８日
・『君津市立坂田小学校創立三十周年記念誌 丘に立てば』君津市立坂田小学校創立三十周年記念実行委員会　2000(平成12)年11月21日
・『企業誘致の記憶－君津と新日鐵』千葉県立上総博物館　2003(平成15)年３月20日
・『君津町漁業協同組合文書資料目録[1]』君津市漁業資料保存会　2004(平成16)年４月10日
・『君津町漁業協同組合文書資料目録[2]』君津市漁業資料保存会　2005(平成17)年４月10日
・『君津町漁業協同組合史料集［1］』石井澄雄　2005(平成17)年11月３日
・『君津町漁業協同組合史料集［2］』石井澄雄　2006(平成18)年８月10日
・『人見浦漁業史』石井澄雄　2007(平成19)年３月３日
・『漁協史料からみた人見浦』石井澄雄 2008(平成20)年6月1日
・『埋め立て50周年記念誌 神門』石井澄雄 2011(平成23)年８月
・『南風-NANPU-』君津市立周西南中学校創立30周年記念事業実行委員会　2015(平成27)年11月
・『周西公民館開館10周年記念誌「ひだまり」』周西公民館開館10周年記念事業実行委員会　2016(平成28)年３月31日
・『周西地域誌』周西マップクラブ　2016(平成28)年10月
・『君津市立大和田小学校創立５０周年記念誌 つなぐ』君津市立大和田小学校創立50周年記念事業実行委員会　2017(平成29)年11月11日
・『君津市立周西中学校創立50周年記念誌』君津市立周西中学校創立50周年記念事業実行委員会　2017(平成29)年11月11日
・『周西幼稚園閉園記念誌 きぼう～開園から５２年間のあしあと』君津市立周西幼稚園　2018(平成30)年３月15日
・『周西ガイドブック』周西マップクラブ 2019(令和元)年10月
・『令和元年 台風15号・19号・大雨～私たちに残したもの・問いかけること～周西公民館地区の記録』君津市周西公民館 2020(令和２)年３月
・『君津市立坂田小学校創立50周年統合記念誌「継」つむぐ～未来への道』坂田小学校創立50周年統合記念事業実行委員会 2022(令和４)年３月
・『君津市立大和田小学校総合記念誌 6430人のかがやき』君津市立大和田小学校総合記念事業実行委員会　2022(令和４)年３月11日

第４章

サークル・団体活動のあゆみ



周西公民館利用者の会　総会（2026年4月）

周西公民館では、約40のサークル、地域団体が定期的に公民館を使用している。この20周年の節目にあわせ、団体や活動の紹介・ご自分たちの団体の歴史・今後の目標などを寄稿いただくと共に、長期利用サークルの活動の変遷をまとめた。

第１節　サークル・団体活動のあゆみ（寄稿）
第２節　サークル・団体活動の変遷

周西公民館２０周年を迎えて

舞踊サークル柳会

今年で開館20周年となりました周西公民館、更に未来へ向かって増々のご発展をお祈りいたします。

日頃私達も利用させていただいております。私達は舞踊サークル柳会と申します。柳はしなやかで柔軟性がありそして強くとの意味合いで命名されたと聞いております。先代の奥伝師範千代扇から始め、創立30年となりました。最初の頃は少人数でスタートしたようでした。

現在は毎週木曜日午後１時から３時迄の練習で会員数８名、平均年齢76才といった所です。年々身体も重く感じ頭の回転も鈍くなりつつあるのを少しでも現状維持できる様に日々頑張っております。以前はボランティア活動などで老人ホームを訪れることもありましたが、コロナ禍を堺に遠ざかってしまいました。

現在の一年間の目標としては、文化祭や敬老会での発表が主なものとなります。当日は日頃の練習の成果を発表するにあたり、その日ばかりはそれぞれに髪をセットし華やかなお化粧と、とっておきの着物を着付けし、その場に望んでおります。それもひとつの楽しい時間であります。

このような柳会であります。舞踊に少しでも興味を持てた方は是非このサークルにいらしてください、お待ちしております。

これからの周西公民館がどなたでも気軽に交流の場として利用できますことを望んでおります。今後ともよろしくお願いいたします。



元気いっぱい！みんなでチア☆フル!!

チア☆フル

私達はもともと、公民館の主催講座として「成人式に華を添える」活動からスタートしました。

そこから令和２年、サークルとして改めて発足し今年で７年目になります。

周西地区だけでなく近隣の地区からも子どもが参加する「チアリーディングサークル」として子ども達の健康、地域活動を軸に皆さんに少しずつ認知されてきているのかな、と思います。

対象年齢は年中以上からとし、今現在(令和７年度)は年長さんから小学６年生まで12人、幅広い年齢の子が月に一度ホールに集まって文化祭に向けて練習しています。

覚える内容は年齢関係なく同じものを先生から教わります。

幅広い年齢層のおかげか、年下の子は年上の子を見て習い、年上の子は年下の子を自ら引っ張る、という学校ではなかなか見られない子ども達の成長を目の当たりにし保護者として誇らしく感じます。

また、最近では文化祭だけでなく「敬老会」「20歳の集い」にも参加し地域の一員として様々な方から子ども達のチアリーディングを楽しんでもらう機会が増えたのは嬉しい限りです。

今チア☆フルに所属している子ども達が数年後に「20歳の集い」に出席し、後輩の子ども達がチアリーディングを披露する姿が見られるよう、今後も活発に活動していきたいと思います。



今日を大事に

なおクラブ

開館20周年おめでとうございます。

「こんにちは　お願いします」と声掛けすると、職員・スタッフの皆さんが「こんにちは」とキチンと目を合わせ笑顔の挨拶が返ってきます。

いつも私たち利用者が安全・快適に活動できるように心遣いしていただき感謝しています。

常に思うことですが、少しでも多くの方にこういう地域活動施設を利用していただきたいと思います。

人と人との交流だけではなく、もしかすれば病院通いの回数が少なくなるかもしれない。なんて考えてしまいます。

「ころばぬ先の杖」ではありませんが病院にお世話になる前に自分で体・知・脳を鍛えれば健康寿命は延びると思います。

この周西地区は大人も子供達も多く人がよく集まっています。

この環境がず～っと続きますように利用者の一人として切に願っています。

これからも仲間に感謝して、楽しく公民館を利用させていただけたらいいかなと思っています。

30周年、40周年とますますのご繁栄をお祈り申し上げます。

“今日を大事にして
明日もできることを
それなりに… ”



運動で健康寿命を伸ばそう

すばる卓球

設立は、令和４（2022）年４月。今現在の会員は男性14名、女性６名です。

半数以上は75才以上ですが、練習、試合と毎週土曜日午後活動しています。

活動は、ラジオ体操から始まります。そして、ラリーを行った後、ダブルスの試合を行います。休憩を取りながら約２時間行っています。

会員間の親睦も出来、楽しみながら健康増進を図っています。





楽しくなければ吹き矢じゃ～ない

スポーツ吹矢周西

周西公民館開館20周年、おめでとうございます。私たち吹き矢サークルは、平成27年４月より、アクア木更津支部として発足しました。総勢34名で構成して活動を行っています。その中で君津地区のメンバー12名が、平成30年より周西公民館にお世話になっています。

年齢構成は、60代～80代が、中心となって吹き矢の練習を行っています。

吹き矢を吹くときには呼吸法を使って息をしっかり留めて筒の中に矢を一気に吹いて的の中央に当てます。そのときの緊張感が、とても感動します。吹き矢を吹くのは、小学生から高齢者まで誰でも簡単に出来ます。吹き矢を吹く事で精神面と集中力を高め、血行促進、特に肺機能を活性化する効果もあり健康維持にとても役立っています。

吹き矢は、的の中央に当てる競技です。主に初心者は６ｍから、ベテランになると10ｍの距離から的を狙います。主に８ｍからの距離の方が多いようです。的に当てるまでの集中力を高め、技術向上と精神統一を目指して楽しく練習をしています。目標は、関東大会での優勝です。吹き矢同好会メンバー全員で和気あいあい楽しみながら練習をしていますのでもし興味のある方は、周西公民館に足を運んで、吹き矢の楽しい競技を見学に来てください。お待ちしています。

（小笠原記）



「吹き矢で健康維持」で練習しています。

あれから２０年

なぎなた周西クラブ

周西公民館開館20周年。

なぎなた周西クラブも20周年。なぎなたの稽古は220㎝の長物を用いる為、屋内で、天井が高く、広い場所が必要です。稽古場所の確保が難しい中、周西公民館の開館をとてもうれしく、ありがたいと思ったことを覚えています。

あれから20年。会員の出入りはありましたが、その時のメンバーの中の６名は、現在も活動しています。なぎなたが生涯スポーツと言われる所以かと、うれしく思います。

活動は、月２回（水曜日）の稽古、公民館文化祭、君津市なぎなた競技会、君津中学校の武道授業の補助、そして君津市以外での研修会や競技会への参加などです。

公民館のまわりも変わりました。保育園ができ、かわいい姿を見せてくれます。広場では多くの方たちが体を動かしています。桜の木は大きく育ち、毎年私たちを笑顔にしてくれます。

私たちのサークルの合言葉は『楽しい水曜日』です。見渡せば、緑がいっぱい。自然豊かなこの場所には穏やかな時間が流れています。いつも気持ち良く利用させていただいていることに感謝しています。

今までの20年。そしてこれからの時間。なぎなた周西クラブは、笑顔で集まって、楽しく、元気に、稽古を続けていきたいと思います。



2025年周西公民館地区文化祭での体験会

心身ともに健康第一に！

トリム体操サンステップ

トリムとは「バランスを保つ」の船舶用語です。

サンステップの目的は、

1，身体と心の健康を維持すること

1，いつまでも元気に生活できるための身体をつくること

毎週木曜日９時半から11時、午前中のひとときを、佐々木とし子インストラクターご指導のもと活動する、年齢不詳の歳を感じさせない女性のサークルです。

ある一日の練習風景です。まず脳トレから、右手、左手の違う動きの動作でも一緒の動作になっても「あれー」笑いながら決まりポーズはピッタリです。

次にストレッチ、身体の柔軟性を鍛えます。

練習の最後は、曲に合わせてのリズム体操です。

インストラクターは団員の子どもと同じ年齢のはつらつとした女性です。団員一人一人の健康状態を常に把握し適切な対応をしてくださいます。

皆、インストラクターが大好きです。

年２回食事会をおこなって団員の親睦をはかっています。

場所は多目的ホール、または会議室です。

入団希望者には練習部屋の事情もありお待ちいただくこともあります（ご迷惑をおかけします）。



健全な身体をあなたへ！

ゴム体操教室

私達サークルは前身である「すさいヨガサークル」の解散に伴い、新たな講師を迎えて平成29年10月に「ゴム体操教室」として発足しました。

この教室はゴム状の紐を足（違和感のある一方）と腰（骨盤当たり）、また胸部に巻き付け、ゴムの反発力を用いて身体の骨の曲がりや歪みの矯正を施す体操です。

講師は「テキサス・カイロプラクティック大学」（アメリカ）で解剖学を学び、また長年に渡りスポーツトレーナーとして活躍されていた方です。

活動は月二回の第一金曜日と第三金曜のＰＭ１時から３時までの２時間です。

身体ともに健やかで異常のない体でこそ幸せな日々が送れます。

皆さん、一度体験してみては如何ですか！





心と身体の健康の為に！

ムーン・ストレッチ

私達は「ムーン・ストレッチ」というストレッチ体操のサークルです。

毎週金曜日の午前中に活動しています。30年以上前に周西分館から始まったサークル。その間、人数の増減はありましたが、現在は会員14名、優しく楽しい先生の指導のもと50代から80代までの女性達で頑張って体を動かしています。

当初からの目標でもある「最後まで自分の足で歩く」を目指して、体のストレッチから筋トレ、お口のストレッチ（お喋り）等…。１時間半があっという間に過ぎます。家庭以外で自分の居場所を作ることも目的で、みんなで和気あいあいと、気の合う仲間が集まっています。ストレッチの見学、体験はいつでも大歓迎です。

最後になりましたが、周西公民館開館20周年おめでとうございます。市民の交流の場として、公民館はなくてはならない場所だと思います。これからもお世話になります。よろしくお願い致します。





体の続くかぎり

ピラティス木曜会　園下幸子

周西公民館の開館20周年お目出度う御座居ます。早いものでピラティス木曜会を立ち上げて13年近くになります。

平成26年2月に会則を作成し一緒にやりましょうと言ってくれた仲間たちと、運営も分からないまま会員の皆様が気楽に参加出来る事を目指し進めてまいりました。当初は多目的ホールをなかなか確保出来ず、ある時は会議室を二つ合わせテーブルとイスを部屋の外に出し準備した事を思い出します。会場の確保は未だに大変な様です。

ピラティス木曜会を立ち上げたキッカケは周西公民館からのピラティスをやってみませんかと言う声がけでした。興味があり参加するとウットリするような音楽を聞きながら講師の声がけで、時にはあまりの気持ち良さに寝てしまう人もいました。

１時間半ですが目には見えない筋肉を目覚めさせ骨盤を修正し少しずつ呼吸を整え、体をやわらかくほぐしていきます。何よりも今現在は私達高齢者に応じた内容で、講師のすばらしい心遣い嬉しいかぎりです。

コロナという大変な時代を乗り越え、会員も少なくなる事もなく、未だに30名程の大所帯で和気あいあいと運営されています。今でも会員に寄りそう運営をモットーにしています。

多目的ホールに響き渡る講師の合図で、大げさですが体力の続く限りピラティス木曜会が続く事を願いながら筆を置きます。



いつまでもナウでヤングな心と体を！

ナウなヤングのピラティス

周西公民館の開館20周年、誠におめでとうございます。私たち「ナウなヤングのピラティス」は、平成29年度の公民館主催事業をきっかけに、翌平成30年度に有志で立ち上げたサークルです。開館からの歴史と共に歩み続け、お陰様で今年で活動９年目を迎えました。

サークル名は、発足当時の講座が若者向けの企画だったことに由来しています。

現在は幅広い年代の会員が、原則として毎月第１・２・３火曜日の夜７時半から一時間ほど、心地よい音楽の中で集中して楽しく体を動かしています。

ご指導いただくのは、いつも明るい笑顔で私たちを元気づけてくださる、大人気の佐々木先生です。会員一人ひとりのレベルに合わせて丁寧にアドバイスをいただけるため無理なく続けることができ、終了後は「体がスッキリした」「体幹が鍛えられて姿勢が良くなった」という喜びの声が教室内にあふれています。

また、活動後のちょっとしたおしゃべりタイムや、公民館の文化祭への参加も私たちの大きな楽しみです。文化祭では毎年、趣向を凝らした模擬店を出店しており、会員同士で協力して準備を進めることは、ピラティスとはまた違った喜びがあります。地域の方々や他サークルとの交流を通じ、公民館での繋がりをより深く感じる貴重な機会となっています。

運動不足の解消だけでなく、心身ともにリフレッシュできるこの場所は、私たちにとってかけがえのない大切な居場所です。これからも温かい雰囲気を大切に、次の10年、20年に向けて楽しく健康づくりに励み、共に心豊かな時間を過ごしていきましょう！

明日の自分のために

サークル「ガネーシャ」

私たち「ガネーシャ」はピラティスのサークルです。令和２年の８月に発足しました。講師を招いて週１回、１時間のレッスンです。

手作りのローラーやこぶ付きタオルを使用して筋膜をほぐし、骨格の歪みを改善します。肩こり、腰痛、股関節痛、膝痛などの不調を和らげ、引き締まった身体を手に入れることを目指しています。

また、昨年から椅子を使用したピラティスも取り入れています。

会員にレッスンを始めてからの感想を聞くと、「レッスン後は身体の凝りがほぐれ軽くなった」「肩甲骨がほぐれる感覚が最高！」「背筋が伸びて身体のバランスが良くなった」など良いことばかり。

優しくも少しだけ厳しい講師の、分かりやすく丁寧な指導で、自分の身体が変わって行くのを実感できます。

現在会員は50代、60代が中心ですが、人生100年時代。まだまだ続く明日の自分のために、しなやかで動ける身体を作り、これからの日々を楽しみたいとレッスンに励んでいます。



みんなで元気に!

サークル「ラージャ」

サークル活動として周西公民館の利用年数は浅く、２年しか経っていませんが、活動そのものの歴史は長く、16年間ゆうゆう館で活動していました。しかし、2024年の閉館にともない、周西公民館でサークルとして再出発することとなりました。

現在の活動は　毎週火曜日

９：３０～１０：２０　　ピラティス

１０：３０～１１：３０　　ヨガ

の２部制で活動しています。

会員の多くは女性ですが、年齢が高めの方も多く、ヨガの方では３名の男性会員もいます。

指導してくださっている先生は、次々と新しいことを採り入れてくれるため、レッスンのマンネリ化もありません。会員はそれぞれ個人差があるので、先生と全く同じポーズをとれる人もいればそうでない人ももちろんいます。

しかし、「きつかったら無理せず休んでください」と常に声かけしてもらえるので、気負いなくレッスンが受けられています。

このような雰囲気のなかで、毎回いい汗を流しています。

この先、10年20年と元気に過ごせていけるよう、みんなで楽しく続けていければと思っています。



20年を振り返って

すさいハーモニー

平成18年、周西公民館が開館したときに主催事業として「歌のひろば」が開講されました。終了後、歌を続けたいという方々で翌年、合唱サークル「すさいハーモニー」を発足しました。

指導者として迎えられた田邉真奈美先生は、そのまま19年間、熱心に教えて下さっています。特に発声が一番大切と、姿勢や体の使い方、声の出し方など丁寧に、ジョークを交えながら、楽しく練習しています。又、音符どおりに歌うことはもちろん、曲のイメージや表現を歌に込められるよう指導されます。練習曲として、唱歌、抒情歌、ポップスなど親しみのある曲を選曲されています。難しい曲やアカペラは大変ですが、ハモった時の感動は何とも言えません。

コロナ感染の年の文化祭では、職員の方がビデオ撮影をして下さり、スクリーンでの発表になりました。メンバーの高齢化で、人数が少なくなってしまいましたが、文化祭の発表に向けて頑張っています。

毎月第二、第四水曜日の午後二時間練習しています。

歌が好きな方、合唱は初めてという方にぜひお勧めしたいと思います。

一緒に仲間作りをしませんか。

参加をお待ちしています。



開館20周年おめでとうございます

日本製鉄君津合唱同好会

先ずは、私どもの団体について紹介させていただきます。名前の通り、当時の新日本製鐵(株)君津製鐵所(現在は日本製鉄(株)東日本製所君津地区)に勤務していた合唱を愛好する人達が1970年６月に設立しました。

現在の会員数は12名(女性７名、男性５名)と当初の半数以下になり、活動も毎年11月に君津市民文化ホールで開催される「きみつコーラルフェスト」へ出演することに絞り、予約が取れた毎月土曜日２回をこの周西公民館で練習をおこなっております。

我々を指導していただいている指揮者の半田先生は、お住いの茨城県牛久市から土曜日の渋滞の中、練習場(君津)まで通ってくださり、曲を伴奏していただくピアニストの田邉先生は、周西公民館の同じ利用団体の「すさいハーモニー」の指揮者や「君津市民合唱団」のピアニスト等を兼務されているお忙しい中、練習のたびに参加されています。

周西公民館さんとのご縁は、令和３年に練習場所であった会社サークル活動拠点が老朽化に伴い、利用できなくなったことから、新たな練習場所をピアノがあり、比較的に土曜日が利用可能で、室内がきれいであることを条件に探した結果、会社の近くにあるこの周西公民館を拠点として、活動することとなり、令和４年度から正式に利用者の会へ入会いたしました。

これから周西公民館活動を通じて、合唱の素晴らしさ、合唱が健康の維持に欠かせないことなどを広めていきたいと考えています。

また、今後も本団体を維持するために、一般の方々の勧誘も積極的に行っていきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



シャンソンを愛して

君津シャンソンクラブ 代表 大庭 富枝

2012年４月、シャンソン好きの仲間が集まり、故澤仙森先生(作曲家、周西南中校歌作曲)のご指導で学んでまいりました。

澤先生亡き後は、渡辺恵子先生、そして現在は渡辺先生が病気療養中のため、ＩＺＵＭＩ先生(作曲家)にお願いしています。

シャンソンはフランスの歌謡曲ですが、私達歌う事が大好きな仲間達はシャンソン以外の曲も自由に選び学んでいます。

例えば、日本の古き良き時代の歌や、オリジナル曲(地域の方々の作詞に故澤仙森先生が曲をつけたもの)等です。

シャンソンは、自由・平等・博愛の精神をもとに、人生観、世界観を謳っておりますが、それぞれの歌い手や感性により仕上がりが異なってまいります。

発声や詞の持つ心等、いかに表現するか、試行錯誤を繰り返し創唱するのです。一曲発表する迄にかなりの時間を要し、そして又同じ曲でも時間が経ってから歌うと新たな心に深みが増し、新しい曲に生まれ変わります。

〔私達の活動〕

○2015.９　第一回ジョイントコンサート
君津シャンソンクラブ　蛙たち
なつかしい昭和歌曲とシャンソンを歌う
(周西公民館多目的ホール)

○2017.９　第二回ジョイントコンサート
君津シャンソンクラブ　蛙たち
なつかしい昭和歌曲とシャンソンを歌う
(周西公民館多目的ホール)

○偶数月第３土曜日
シャンソンミニコンサート
(君津市塚田ベル・ウッド)

(文責)金田　邦子



見物歓迎飛び入り大歓迎 道場破りお断り

キミツJAZZワークショップ

キミツJAZZワークショップは令和５年に始め、月に一回か二回、多目的ホールでジャムセッションをやって遊んでいる集まりです。

元々ジャムセッションとは仕事を終えたバンドマンたちが集まって仕事とは別の自分たちがやりたい音楽を演奏して楽しんでいた集まりのことです。

一般的な音楽サークルは演奏する曲を決め、その曲を皆で仕上げコンサートや発表会、あるいはコンテストを目指して練習します。

一方、私たちは、その時集まったメンバーが演奏したいと思った曲を演奏して楽しみます。

キミツJAZZワークショップは、この文章を書いている私が一応、主宰者と言うことで代表と言う立場ですが私にとってこの集まりに参加して頂いている人は、会員と言うよりはお客様です。

ですからキミツJAZZワークショップは出席欠席遅刻早退は自由。参加出来る時に参加して頂ければ結構。フリーと言う意味では会費もフリー（無料）、会則も役職もない、ゆる〜い集まりです。

さて昔のジャズメンたちの自由なジャムセッションと言う集まりの中からビバップと言う新しいジャズが生まれました。

私たちの集まりの中からは何が生まれてくるでしょうか。

私達には夢があります。（文責　中山）



最初に参加した子が23歳

ママの笑顔を考える会

コロナ前は、25組位いた参加者が１組になる時もありました。それでも継続を決め、やっと今は９組位の参加者になり、賑やかになってきました。続けてきて良かったです。

最初の活動に参加した子は、今ではもう23歳。当時のママ達は、家に子どもと二人っきりで、ママも子どももリフレッシュする場所を求めていました。今は育休の時間を子どもと楽しい体験をしたい、またおしゃべりをしたいというのが主な様です。

私たちの目標は、ママが笑顔になり、ママの友達を作って欲しいということ。

入れ替わる参加者に寂しさを感じます。でも第２子が生まれて、また参加してくれる方もあり、『居心地のいい場所だったんだなー』と、この場所は必要とされていると実感します。

当初のスタッフで残っているのは私だけで、その後10年関わってくれた方も色々環境も変わり、動ける方も減り、毎年スタッフを大募集しています。

ですが、年１回の大イベントの「ママ・パパランド」は、意気込みだけは負けず開催しています。ママが笑顔なら、子どもも笑顔、それを見ているパパも笑顔、それを見ているおばあちゃん、おじいちゃんも笑顔になりますよね。みんなの笑顔が見られるように今後も活動していきます。





周西公民館20周年を祝って

サークル四季の味の会

私達の会にも会則が有ります。

一．本会は、名称「四季の味の会」とする。

二．目的、活動内容

本会は、サークル活動を通じ四季の味を楽しみ、心豊かな食育と日本の食文化を楽しむことを目的とする。

三．役員、本会は次の役員を置く。任期は、一年とする。代表１名、会計１名

四．会費

（イ）本会は会費をもって運営にあてる

（ロ）活動は月一回、会費は月額千円とし、年二回に分けて集金をする。

（ハ）休会の場合でも会費は納入する。

（ニ）会費は、先生の謝礼、サークル活動費にこれにあてる。

（ホ）本会は、十五人を定員とする。

（ヘ）欠席する場合は、前日までにラインに入れる。

（ト）途中入会した人は月割りの会費とする。

（チ）退会する人へ会費は返金しない。

五．付則　本会則、平成二十七年二月二十七日より施行。

以上の会則により11年続いています。農家からの旬の野菜が手に入り、いつも新鮮野菜で沢山の料理を作って楽しんでおります。



２月　里イモのつくね、サラダ、太巻寿司



３月　新たけの子ごはん、天プラ、フキ等ぼたもち、くり茶巾しぼり

周西公民館　二十周年によせて

押し花サークル　クローバー

私たちのサークル「押し花サークル　クローバー」は、約十年前から周西公民館の会議室を使わせていただき活動しています。

活動内容は、簡単に言ってしまえば「生花を押し花にして、その押し花を使って作品を作ること」です。

季節毎に咲く花々を自宅の庭や散歩の道すがら採取して、その花の自然な美しさが残るように押し花にしていく作業は楽しくて時間を忘れてしまいます。そして出来た押し花をデザインして額に入れた「押し花額」として作品に仕上げたり、最近では日常の生活で使えるようなインテリア小物を作ったり年末には月ごとに押し花をあしらったカレンダーを作ったりしました。作品が完成すると達成感で幸せな気持ちになります。

そうなると次に必要になるのが発表の場です。周西公民館は活動の場を提供して下さるだけでなく、発表の場も提供して下さっています。それが、毎年十一月に行われる文化祭です。

私たちのサークルは、毎年、押し花額の展示と押し花を使った栞等の作成体験で文化祭に参加させて頂いてきました。作品を見に来て下さるお客様や体験参加者の方々に楽しんでいただき、押し花の魅力を伝えられることは本当に有り難いことだと感謝しています。

おかげさまで、この二年あまりでメンバーも増えて、皆やる気満々ですので、今年の文化祭も充実した内容にしようと頑張っているところです。

最後に、周西公民館の二十一年目のスタートが地域の皆様の暮らしを豊かにすることに貢献できますように、私たちのサークルも共に歩んでいきたいと願っています。

20年振り返って

写友君津

周西公民館創立20周年、おめでとうございます。私達サークルも発足して20年になりました。サークル活動の場を周西公民館にいただき感謝しています。

現在メンバーは６人で毎月２回の会合を開き、各人が撮った写真を持ち寄り、絞りはいくつとかシャッタースピードは、などと密度の濃い勉強会をしています。又被写体のテーマを決めサークル員で撮り比べています。

作品は周西公民館と君津駅北側の通路に展示させていただいています。

現在は周西公民館から、プロジェクターを借用して、各人が撮った写真を拡大し見ながら意見を出し合い、検討しています。時々熱中し過ぎて終了時間が延びることもあります。

これからも活発な活動をしていきたいと思っています。

常に和の精神をもち、心地良い周西公民館の環境と、美しい小糸川の桜並木で、今後もサークル活動を続けていきたいと思っています。





周西囲碁クラブの生いたちと今後の課題

周西囲碁クラブ

会長代行　壁屋元生

1）クラブの紹介

本クラブの発足は囲碁ゲームを通じ地域の人的交流と街づくりを目的に周西公民館発足時に合わせ発足。会員数は６～10名程度の男性中心。毎月土曜日の午前中に実施中。会員は無類の囲碁愛好家。

2）クラブの歴史

平成18年９月の当公民館開設に合わせ発足。10～12名の会員数でスタートした後毎年減少傾向。また大会は当初数年続いて実行されたがコロナ禍を期に休止状態。現在に至る。

3）運営方法

(1) 組織的には会長、副会長、会計の三役で進行。

(2) 会費は１人1,000円の年会費、数ヶ月に１回開かれる大会の臨時徴収1人500円のみ。

(3) ルールは基本日本棋院のルールに乗っとる。実力上手のほうが白石を持ち、下手は黒石をもって先行する。石は盤上に画かれた黒い線（縦横）の交点に置く。

一度盤上に置いた石は動かせないので十分考えて石を置くこと。置いた石は場合によって相手方に取られたり反対に取ったりすることが可能。又、折角打った石に２つ以上の目がなければその石全体は相手に取り上げられるので目造りは肝要である。

欠け目（ダメ石が詰まった時見かけ状の目）は石の生死に関係なく全体の石が囲われ死石となり、相手に打ち上げられ、自分の陣地に埋められるので最も要注意。

4）今後の課題

会員の若返りが必須。

(1) 女性会員の勧誘

(2) 幼児～高校生といった若年層の訪問勧誘

周西テクテクウォークの歴史

周西テクテクウォーク　代表　小林　昌宏

平成20(2008)年に発足し、文化祭に年間行程先の写真等を出品し、会員を募集。

当時は60代の方が多く、夫婦で参加している方がいた。まだ若かったので、電車(土日のフリー切符)を購入し、秋川渓谷，山梨県の大月の日本三寄橋の猿橋,御岳山、御殿山、高尾山散策等、或いはバスで一泊し、上高地、草津、栃木の龍王峡ハイキング、長野池之原湿原、秩父長瀞、宝登山神社等。参加者も34名程で、足腰が丈夫な人が多かった。

現在は、当時の会員で残っている人は10数人で、新しい人が多く、現在の加入者41名(男性６名女性35名)、平均年齢78歳。コロナが終了した後、君津市の生涯バスを利用し、県内外で日帰りが出来るコースの散策が多くなった。現在君津の公民館の中で、散策人数が40名程のサークルはないと思う。

人生100年代を迎え、散策で足腰を鍛え、私どものサークルは、周西公民館と共に今年度に至っている。今後の目標として仲間が健康で、楽しい活動を継続していきたい。

さて令和３年の公民館文化祭で完成した「周西公民館の歌　きらめき」（作詞：地域の皆さま 補作詞・作曲：大河原敏雄 編曲：山崎智）を、吉川みくり先生（君津中央公民館オカリナサウンズのピアノ伴奏の先生）が伴奏し、皆で斉唱した。「朝日に輝く・・子どもらの声・・木々も色づき・・未来にはばたく周西公民館」と、周西公民館の姿容が網羅されている。20周年でも、毎年の文化祭でも斉唱をお願いしたい。



2026年３月24日　北鎌倉散策、建長寺山門前にて

開館20周年に寄せて

腹話術サークル（磯野章治）

思い起こせば我がサークルは公民館主導の基で起ち上がって、部員８名と良き先生と出会い、指導を受け、その年の第一回文化祭に参加させて頂きました。

その後の腹話術サークルの活動としては、各高齢者施設に赴きボランティア活動を行い、喜んだり、また、時には涙を流してくれる人がありました。年に３回から４回施設に赴いた思い出があります。

新型コロナウイルス感染症により高齢者施設への訪問は自粛になり、私達のボランティア活動も無くなりました。

ここで思い出されるのは、我が妻が「そんな腹話術をやって、何がうれしいの」と小言を口すっぱく言っていたことです。ところがある時に、腹話術サークルの皆さんと一緒に高齢者施設に行き、その施設で腹話術をした後に、寸劇の桃太郎の鬼退治に参加させていただいた時、施設の皆様がたいへん喜んだ顔を見て、初めてボランティア活動とは素晴らしいものだと言ってくれました。

ですが我ら腹話術サークルも８名の部員の中で４名が八十歳であり、この令和８年３月31日をもって解散することになりました。何か淋しい思いもしますが、これも人生の一つの区切りでしょう。

周西公民館の職員の皆様には何かとお世話様になり、ありがとうございました。皆様のご健康と今後のご活躍を願っています。

今後は臨時的に腹話術サークルとして、使用するかもわかりませんが、その節にはよろしくお願いいたします。



みんなで手話

手話サークル「虹」

2021年夏、周西公民館の手話講座から始まり、続けて勉強したい仲間が集まり2022年に発足してから５年目となりました。

あいうえおの指文字から始めて、少しずつ単語も覚え、先生方ともわずかながらも、手話で会話ができるようになってきました。

覚えた手話がテレビのニュースやドラマに出てくると、「これはこういう意味だな」と分かることもあり、嬉しくなります。

２年目からは文化祭にも参加するようになり、手話歌を披露してきました。「さんぽ」「手のひらを太陽に」「上を向いて歩こう」とみなさんになじみのある曲に合わせて手話で表現します。会場にいらした方も一緒に手を動かしてもらい、楽しい時間となりました。

長く活動をしてきても、やはり未だに手話をたくさん覚えられず、覚えてもすぐ忘れ、の繰り返し。それでも先生方は、手話を覚えよう、理解しようとする姿勢が嬉しいとおっしゃってくれます。

これからも、ゆっくりではありますが、楽しく少しずつ手話を覚えていきたいと思います。



生活を楽しむ仲間たち

木更津友の会

全国友の会は1930年、羽仁もと子を中心に『婦人之友』の愛読者によって誕生した団体です。

木更津友の会会員は40代から90代と幅広く、年代をこえて、衣（普段着の製作、手入れ）、食（毎日の献立や買い物の工夫）、住、家計（予算のある家計簿をつけて生活を見直す）、子どものこと（子どもの自立を願い、子ども自身が持つ生きる力に働きかける）などを学び合い、健全な家庭から、よりよい社会を創りたいと願って活動しています。

秋には周西公民館で家事家計講習会を開催し、「予算のある家計簿をつけましょう」と呼びかけました。また文化祭では手作りのクッキー、スモックエプロンなど会員の手作り品の販売をしています。冬休みは子ども向けの工作、夏休みには簡単にできる昼食の親子料理講習会をしました。

公民館と共催で「デンマーク体操」を開催し地域との交流を深めました。

また、災害復興支援として少しでもお手伝いしたいと能登の仮設集会所に会員の手作りのクッキーやエプロンを送る活動を続けています。

ご興味のある方は是非、お声掛けください。お待ちしています。



2025.11.25デンマークオレロップ体操アカデミー講師を迎えて子供たちと

地域福祉の増進を目指して

君津西地区社会福祉協議会

周西公民館におかれては、開館20周年誠におめでとうございます。また、地域の身近な拠点施設として、多様な学習機会や交流の場を提供し、地域の暮らしや文化を育んでこられたことに対し、心から感謝申し上げます。

さて、君津西地区社会福祉協議会（西地区社協）ですが、君津市社会福祉協議会の指導のもと、周西公民館が開館した一年後の2007年４月に設立され、地域福祉の推進を目指し、住民主体による活動を行っております。これまで、西地区内の自治会、民生委員児童委員、周西公民館、シニアクラブ、ボランティアなどの皆さんと連携し、「敬老会」「ふれあいサロン」「バスハイク」「見守り友愛訪問」などの福祉活動を実施しているところであります。

このような中、周西公民館には、西地区社協が福祉活動を実践するうえでの会議は勿論、「敬老会」や「ふれあいサロン」などの「集いの場」として、大きな役割を担っていただいております。さらに、各種サークル活動を支援するとともに、高齢者を対象とする生涯学習「おとなの放課後倶楽部」を年８回開催するなど、西地区の福祉活動に積極的に取り組んでおられます。

しかしながら、西地区においても少子高齢化などの社会情勢の変化に伴い、一人暮らし高齢者の増加や地域の人間関係の希薄化などの課題に直面しています。これらの課題に対応するためには、関係機関などが連携を深め、住みよい心の通じ合う地域づくりを目指し、一緒に考え、取り組んでいかなければなりません。

西地区社協としても、引き続き、関係機関などと連携し、地域福祉の増進に努めていく所存であります。周西公民館におかれましても、地域の拠点として、今後とも、課題解決に向けて取り組みを推進されるようお願いしまして、お祝いの言葉とします。

子供達にとって身近な存在になりたくて

周西地区青少年相談員

私達は、地域の青少年健全育成活動を推進するため、千葉県と君津市から委嘱を受けて活動しているボランティア団体です。

市内には100人を超える青少年相談員がいて、各地区に分かれて、バスハイクやキャンプ等、色々なイベントを企画して青少年と交流しています。私たち周西地区の青少年相談員も公民館と協力して、色々なイベントを企画しています。

こう話しても、中々伝わらないと思い、私は「青少年相談員って？」と聞かれたら「近所に住んでいる“身近”なおじさん達」と言おうと思っています。

子供達が公民館に行くと、青少年相談員と呼ばれているおじさん達が話を聞いてくれたり、一緒に遊んでくれたり、普段はできないような体験をさせてくれる。その体験を通して、またイベントに参加してみたいと思えるような身近な存在になり、大人になった時に、少しでも思い出話として話してくれたら嬉しく思います。

そのために、仕事終わりにみんなで公民館の会議室に集まって悩んだり、笑ったり色々意見交換をしながら、子供達も私達も笑顔で会えるよう取り組んでいます。

この活動をしていくことで、子供達だけでなく私達自身も公民館に行けば、いつものメンバーがいて、子供達と一緒にたくさんの体験をすることができています。これからも子供達にとって身近で笑顔になれる存在となれるよう活動をしていきます。



周西のいいね！と楽しい！をつなぐ

周西ファンＢＡＳＥ

周西公民館の開館20周年、心よりお祝い申し上げます。

私たち「周西ファンＢＡＳＥ」は、令和７年９月に設立し、同年10月に君津市公認の「周西地区地域づくり協議会」となりました。周西地域を愛するメンバーが集まり共に楽しみながら、地域をつなぐことを目的に活動しています。私たちが大切にしているのは、まず「自分たちが楽しむこと」です。地域での楽しい体験や交流を通じて自然と人と人がつながる。そのつながりが孤立を防ぐ力となり、地域の困りごとも助け合いの中で解決していく。そんな、誰もが気軽に立ち寄ることができ、笑顔になれる居場所を目指しています。





これからも、周西地域を舞台に多世代が交流できる企画を考え、地域の活力を高めていきたいと考えております。子どもたちからシニア世代まで、国籍も問わず、一緒に笑い合えるイベントの開催や、地域の魅力を再発見する活動などを通して、つながりの輪が広がっていくと嬉しいです。周西公民館のように、温かく開かれたコミュニティを目指してまいります。これからも周西地区の輝く未来を、一緒に創っていきましょう！

利用運営協議会から、利用者の会へ

周西公民館が開館した2006（平成18）年、９月１日に「周西公民館利用運営協議会」が発足しました。

公民館活動の発展と、各サークル、地域の交流を図ることを目的に活動してきましたが、10年を経過した2016（平成28）年12月にアンケートを実施し、2017（平成29）年度総会にて、翌年度から新たな組織に移行することが了承されました。

2018（平成30）年５月13日、利用者運営協議会総会が開催され、解散となり、同時に新たな組織である「周西公民館利用者の会」が発足しました。

利用者の会は、公民館活動及び運営に寄与すること、サークル間の交流、地域貢献並びに豊かな地域づくりを目的に掲げ、各種の交流事業や年２回の公民館環境整備作業を実施しています。

2023（令和５）年には７月から『周西公民館利用者の会 サークルの輪』を発行。周西公民館で活動しているサークルを取材し、紹介していきました。１年間で13号を発行し、46のサークルを紹介しました。



【サークル・団体活動の変遷】

	内　容	年度 団体名	2015 27	2016 28	2017 29	2018 30	2019 31/元	2020 2	2021 3	2022 4	2023 5	2024 6	2025 7	2026 8
1	社交ダンス	さくらダンス同好会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	社交ダンス	レッツダンス	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
3	社交ダンス	中富親和会	○	○	○	○	○	○	○					
4	社交ダンス	ダンスサークルフレッシュ	○	○	○	○	○	○						
5	社交ダンス	君津社交ダンス同好会	○											
6	社交ダンス	ウィングα					◎	○	○					
7	舞　踊	柳会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	よさこいソーラン	夢楽人			◎	○	○	○	○	○				
9	ダンス	ホークーアオフラサークル	○	○	○	○								
10	チアダンス	チア☆フル						◎	○	○	○	○	○	○
11	卓　球	プラネット	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	卓　球	さわやかサークル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	卓　球	なのはな君津	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	卓　球	なかよし卓球サークル	○	○	○	○								
15	卓　球	なおクラブ								◎	○	○	○	○
16	卓　球	すばる卓球								◎	○	○	○	○
17	スポーツ吹矢	吹矢同好会周西 →スポーツ吹矢周西					◎	○	○	○	○	○	○	○ 改称
18	なぎなた	なぎなた周西クラブ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【サークル・団体活動の変遷】

	内　容	年度 / 団体名	2015 27	2016 28	2017 29	2018 30	2019 31/元	2020 2	2021 3	2022 4	2023 5	2024 6	2025 7	2026 8
19	空手	日本空手協 上総支部								◎	○	○	○	○
20	健康体操	トリム体操 サンステップ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	健康体操	健康美体操 サークル	○	○	○	○	○	○	○	○				
22	健康体操	気功わかさ会	○											
23	健康体操	きみつの会				◎	○	○	○	○	○	○	○	○
24	ストレッチ	すみれの会	○	○	○									
25	ストレッチ 体操	ムーン ストレッチ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	ピラティス	ピラティス 木曜会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	ピラティス	ナウなヤングの ピラティス				◎	○	○	○	○	○	○	○	○
28	ピラティス	サークル 「ガネーシャ」							◎	○	○	○	○	○
29	ピラティス	ピラティスサー クルチャンドラ								◎	○	○	○	○
30	ピラティス ヨガ	サークル 「パドマ」							◎	○	○	○		
31	ピラティス ヨガ	ピラティス・ヨガサ ークル「ラージャ」								◎	○	○	○	○
32	ヨ　ガ	ヨガサークル たんぽぽ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
33	ヨ　ガ	ヨガサークル ひなた	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
34	ヨ　ガ	すさい ヨガサークル	○	○	↘									
	ゴム体操	ゴム体操教室			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
35	ヨ　ガ	スーリヤヨガ		◎	○	○								
36	ヨ　ガ	ヨガサークル ことの葉								◎	○			

【サークル・団体活動の変遷】

	内　容	年度 団体名	2015 27	2016 28	2017 29	2018 30	2019 31/元	2020 2	2021 3	2022 4	2023 5	2024 6	2025 7	2026 8
37	気　功	周西氣功クラブ	○	○	○	○	○							
38	コーラス	すさい ハーモニー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
39	コーラス	日本製鉄君津 合唱同好会								◎	○	○	○	○
40	シャンソン	君津シャンソン クラブ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
41	合唱・伴奏	うたごえ サークル「灯」			◎	○	○	○	○	○	○	○		
42	フルート	七色の ハーモニー				◎	○	○	○	○	○	○	○	○
43	ジャズ演奏	君津 JAZZ 研究会			◎	○	○							
44	ジャズ演奏	君津 JAZZ ワークショップ									◎	○	○	○
45	リズム遊び	親子リトミック 「ぐんぐん」	○	○	○	○	○							
46	書　道	周西書道 サークル	○	○	○	○	○	○	○					
47	書　道	親子書道 サークル	○	○	○									
48	書　道	書に親しむ会	○	○	○									
49	料　理	四季の味の会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
50	料理ほか	多麻手箱	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
51	料　理	料理クラブ	○	○										
52	料　理	男の料理会			◎	○	○	○	○	○	○	○	○	
53	パソコン	人見パソコン	○											
54	パソコン	PASOくらぶ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【サークル・団体活動の変遷】

	内　容	年度 団体名	2015 27	2016 28	2017 29	2018 30	2019 31/元	2020 2	2021 3	2022 4	2023 5	2024 6	2025 7	2026 8
55	パソコン	P・Cキモサベ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
56	パソコン	ビッグマウス											◎	○
57	地域学習・ マップ作製	周西マップ クラブ	○	○	○	○	○							
58	写　真	写友君津	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
59	詩　吟	大和田詩吟 同好会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
60	散　策	周西テクテク ウォーク	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
61	俳句	湯っこ同好会・ 俳句はるかぜ会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	俳句 のみ	
62	将　棋	将棋親睦会	○	○	○	○	○	○						
63	囲　碁	周西囲碁クラブ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
64	囲　碁	周西碁楽会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
65	子育て支援	ママの笑顔を 考える会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
66	腹話術	腹話術サークル (ふくわサークル)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
67	茶　道	茶道クラブ あじさい会	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
68	生け花	花　楽				◎	○	○	○	○				
69	フラワーアレ ンジメント	フラワーサー クル BERRY			◎									
70	手　話	手話サークル 虹								◎	○	○	○	○
71	語　学	英会話サーク ル ABC	○											
72	百人一首	百人一首										◎		

【サークル・団体活動の変遷】

	内　容	年度 団体名	2015 27	2016 28	2017 29	2018 30	2019 31/元	2020 2	2021 3	2022 4	2023 5	2024 6	2025 7	2026 8
73	家事・家計を学ぶ会	木更津友の会										◎	○	○
74	手作り	手作り同好会	○	○										
75	手芸	くらふとサークル fuwarin						◎	○	○	○	○	○	
76	手芸	すみれの会										◎	○	○
77	絵手紙	周西絵手紙サークル	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
78	折り紙	折り紙サークル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
79	押し花	押し花サークルクローバー			◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
80	彫金	周西彫金サークル								◎	○			
81	認知症カフェ	すさい認知症サポーターの会				◎	○	○	○	○				
82	老人クラブ	中富あけぼの会	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
83	ボランティア活動	悠遊会	○	○	○	○								

※新規発足、または周西公民館での活動開始は◎印とした。

※現況調査、サークル一覧等を参考に作成。年度当初の情報を中心に調べたため、年度途中の改変が反映されていない場合がある。

第５章

資料・データ



周西地区の公園マップ

2020(令和２)年２月発行「はまっぺ」57号より

1 施設概要

(1)設計コンセプト

玄関前エントランスホールを中心とした「出会いの場」、ホールを中心とした「集いの場」、会議室などを中心とした「活動の場」の３つのゾーンからなっており、各ゾーンに囲まれた中庭から採光と通風が確保され、施設全体が癒しの空間となり、三舟山や小糸川の眺望を生かしながら、自然環境を取り込んだ開放的な雰囲気の中で学習活動ができる施設である。

(2)所在地および建物

- 所在地　君津市人見４丁目 11 番 21 号
- 敷　地　約 6,000 ㎡（施設 約 3,000 ㎡、駐車場 約 3,000 ㎡）
- 階　数　地上１階
- 構　造　鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
- 床面積　1,058.95 ㎡
- 駐車場　99 台（うち身体障害者用３台）

(3)利用について

- 開館時間　９：00～22：00（日曜日は 17：00 まで）
- 休 館 日　祝日、年末年始

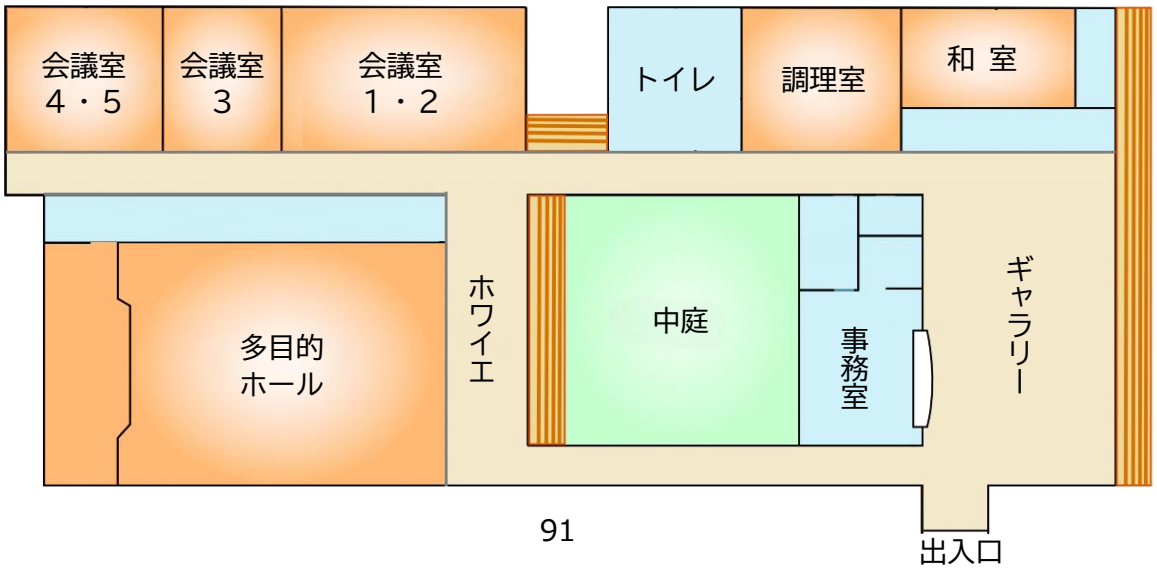
※ 2026(令和８)年10月より変更。休館日に月曜日が加わる。火から土は21：00閉館。ただし１週間前までに予約が無かった日は17時閉館。

(4)施工業者

建築工事	㈱新昭和	(君津市東坂田)
機械設備工事	㈲三冷設備	(君津市人見)
電気設備工事	共和電気工事㈱君津営業所	(君津市坂田)
外構工事	㈲君津運輸建設	(君津市大和田)
工事監理	㈲荒井設計事務所	(君津市久保)

(5)総事業費　約３億 8,200 万円

(6)館内概要

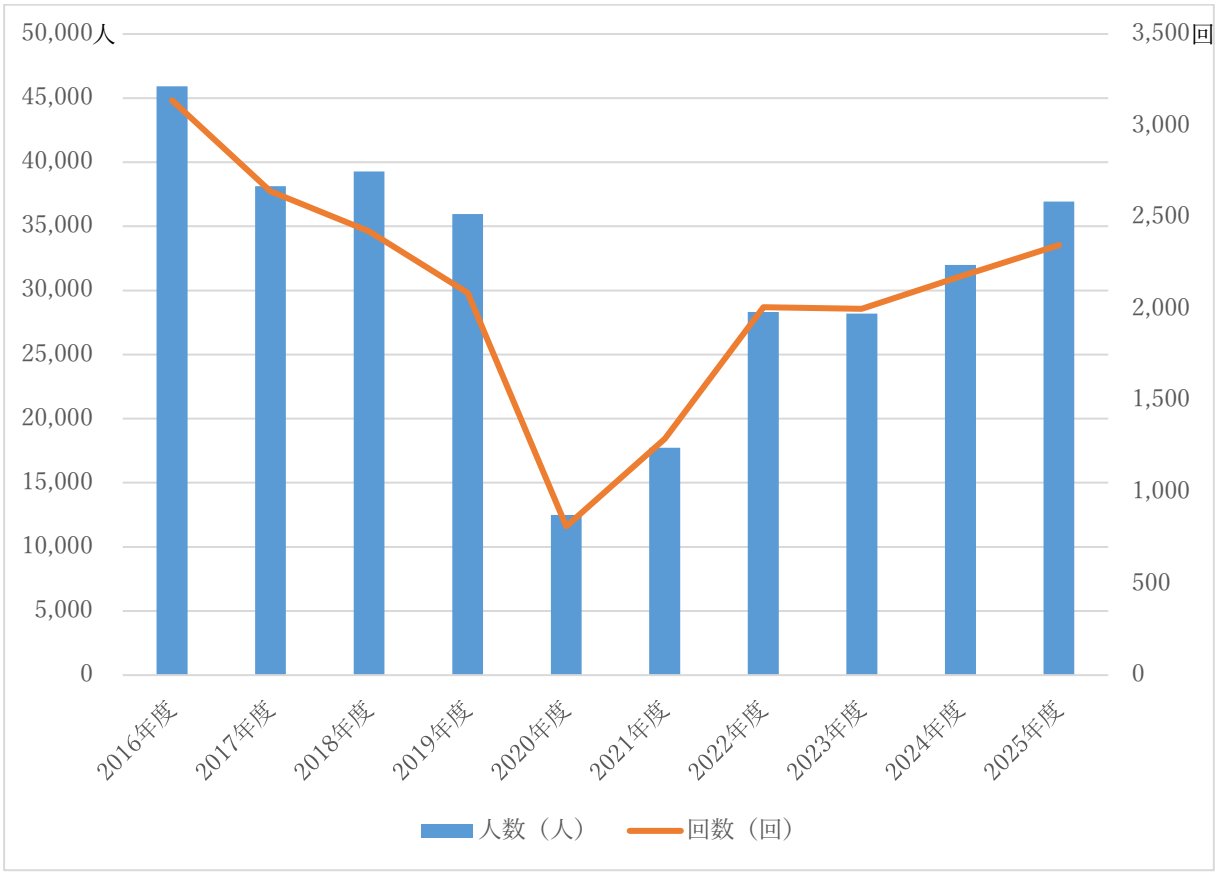


2 施設利用状況

（周西公民館利用統計より）

2016（平成 28）～2025（令和 7） 各年度の利用回数と人数

年度	2015 末時点	2016 平成 28	2017 平成 29	2018 平成 30	2019 令和元	2020 令和 2	2021 令和 3	2022 令和 4	2023 令和 5	2024 令和 6	2025 令和 7
回数（回）		3, 138	2, 642	2, 423	2, 088	812	1, 291	2, 008	1, 999	2, 176	2, 347
人数（人）		45, 922	38, 122	39, 289	35, 953	12, 494	17, 727	28, 313	28, 185	31, 979	36, 923
累計（回）	28, 749	31, 887	34, 529	36, 952	39, 040	39, 852	41, 143	43, 151	45, 150	47, 326	49, 673
累計（人）	487, 784	533, 706	571, 828	611, 117	647, 070	659, 564	677, 291	705, 604	733, 789	765, 768	802, 691



３ 人　口

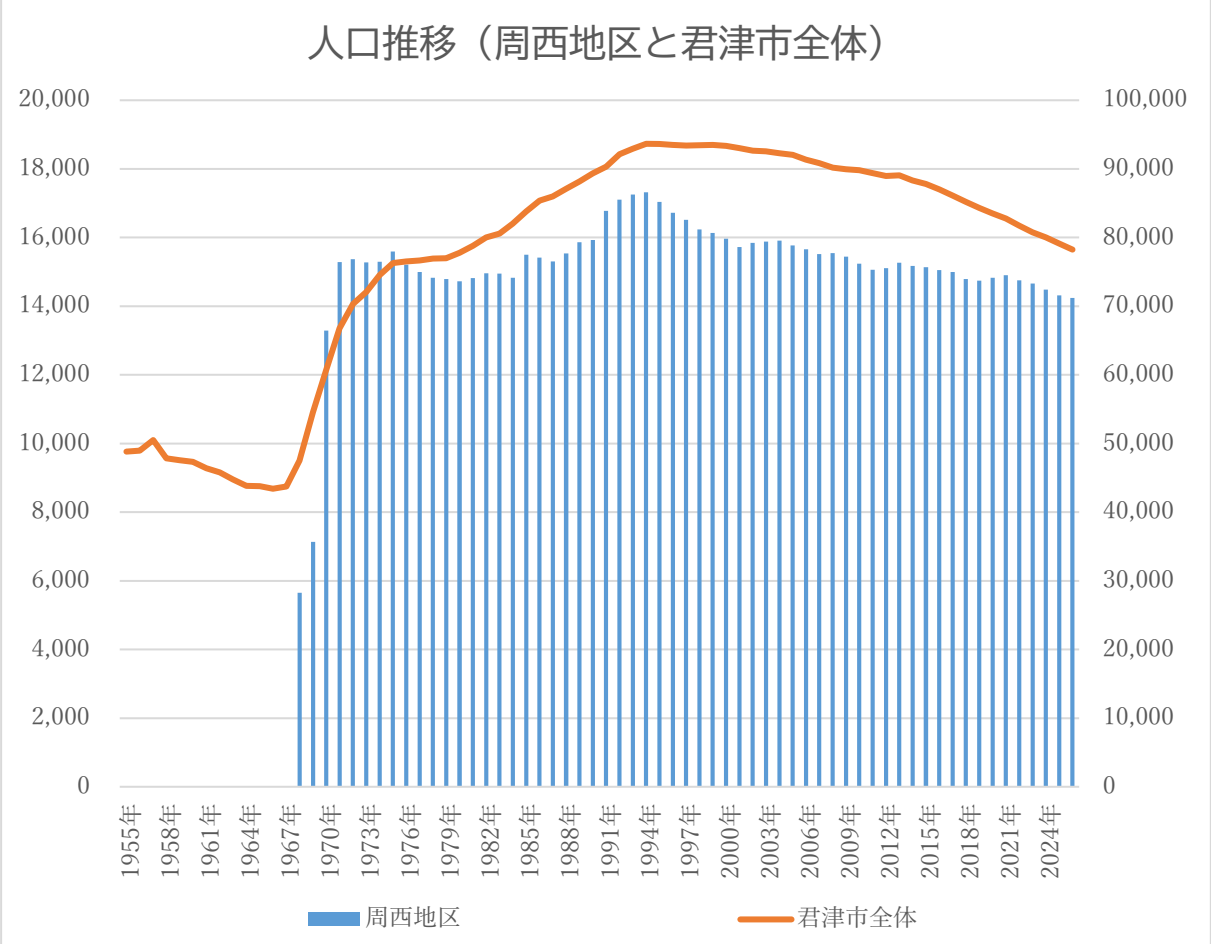
君津市住民基本台帳人口地区別推移表　（10 周年記念誌掲載表に一部修正を加えて加筆）

・各年３月 31 日現在。（君津地区公民館区域別人口内訳は 2008 年まで各年概ね９月末現在。1968 年から 1972 年までは日付を統一した資料なし。）

・1970 年までは、旧君津町、小糸町、清和村、小櫃村、上総町としての数値

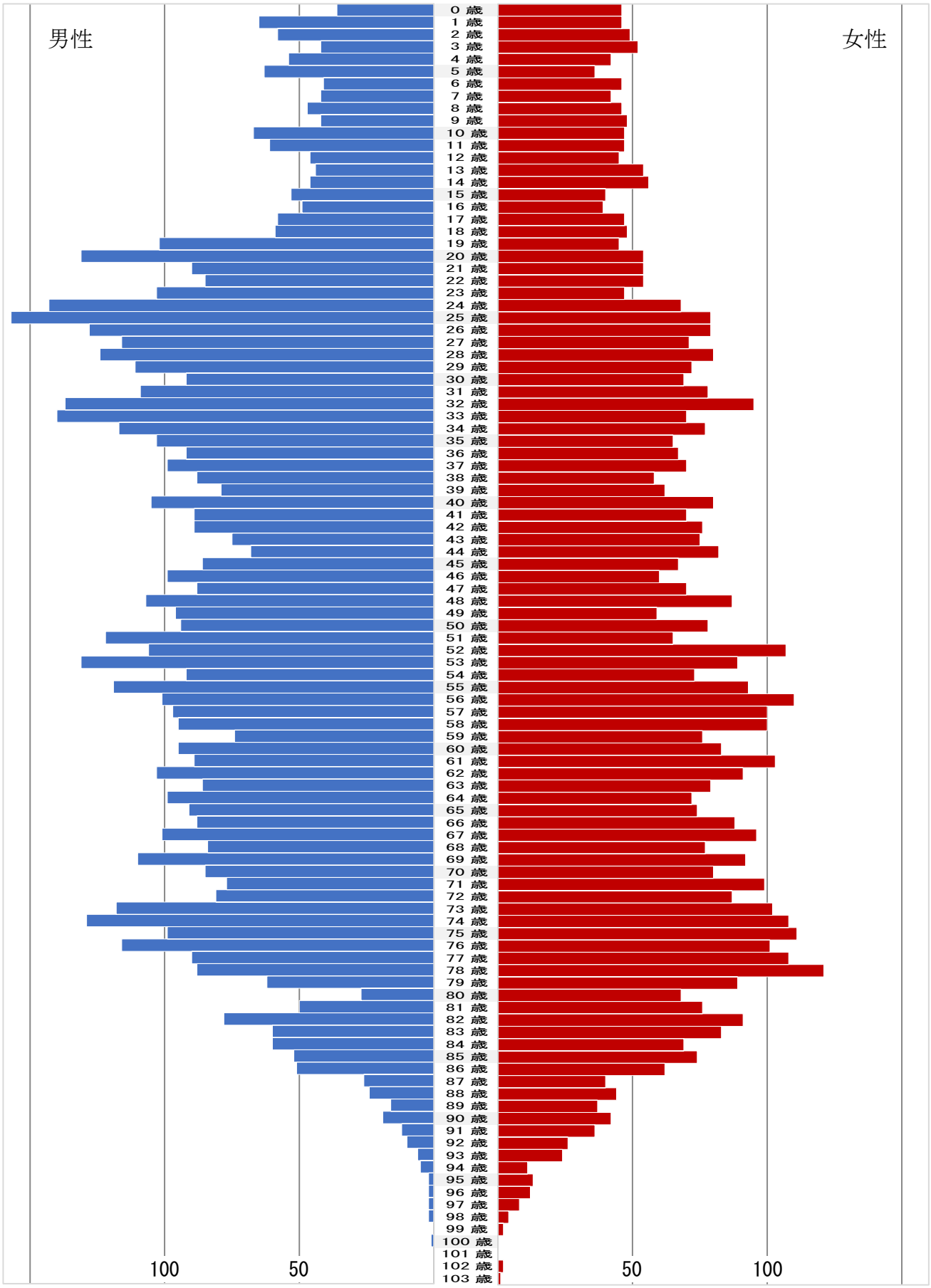
年		君津地区					小糸地区	清和地区	小櫃地区	上総地区	市全体
1955	昭和 30	13,848					6,658	5,208	7,714	15,396	48,824
1956	昭和 31	13,918					6,866	5,205	7,629	15,322	48,940
1957	昭和 32	13,773					6,493	7,397	7,603	15,231	50,497
1958	昭和 33	13,680					6,409	5,162	7,414	15,191	47,856
1959	昭和 34	13,550					6,408	5,095	7,344	15,169	47,566
1960	昭和 35	13,527					6,373	5,116	7,311	15,014	47,341
1961	昭和 36	12,976					6,272	5,088	7,197	14,886	46,419
1962	昭和 37	12,871					6,231	4,855	7,114	14,710	45,781
1963	昭和 38	12,895					6,181	4,694	7,033	13,962	44,765
1964	昭和 39	12,804					6,085	4,493	6,890	13,582	43,854
1965	昭和 40	13,379					5,855	4,417	6,866	13,256	43,773
1966	昭和 41	13,616	君津地区公民館区域別人口内訳				5,804	4,319	6,670	13,005	43,414
1967	昭和 42	14,221	周西	君津中央	八重原	周南	5,753	4,254	6,645	12,851	43,724
1968	昭和 43	18,386	5,656	5,832	9,378	2,781	5,544	4,245	6,576	12,769	47,520
1969	昭和 44	25,474	7,138	6,062	9,794	2,905	5,623	4,164	6,662	12,647	54,570
1970	昭和 45	31,875	13,294	7,130	11,192	3,966	5,577	4,186	6,649	12,524	60,811
1971	昭和 46	37,820	15,287	7,585	11,925	6,142	5,600	4,126	6,710	12,513	66,769
1972	昭和 47	41,364	15,370	7,580	12,632	6,291	5,708	4,115	6,701	12,441	70,329
1973	昭和 48	42,186	15,272	7,628	13,323	6,240	6,382	4,094	6,896	12,514	72,072
1974	昭和 49	43,649	15,298	8,191	14,431	6,815	7,277	4,101	6,923	12,545	74,495
1975	昭和 50	45,141	15,595	8,008	15,130	6,964	7,673	4,121	6,894	12,480	76,309
1976	昭和 51	45,172	15,212	8,462	14,906	6,734	7,911	4,098	6,853	12,504	76,538
1977	昭和 52	45,081	14,999	8,833	14,903	6,655	8,167	4,075	6,778	12,538	76,639
1978	昭和 53	45,282	14,831	8,839	15,212	6,539	8,278	4,076	6,807	12,491	76,934
1979	昭和 54	45,351	14,787	9,180	15,341	6,473	8,390	4,025	6,849	12,378	76,993
1980	昭和 55	46,250	14,730	9,908	15,873	6,451	8,396	3,999	6,821	12,318	77,784
1981	昭和 56	47,368	14,822	10,458	16,435	6,349	8,446	3,961	6,829	12,208	78,812
1982	昭和 57	48,752	14,959	10,816	17,079	6,398	8,445	3,948	6,773	12,089	80,007
1983	昭和 58	49,431	14,947	10,898	17,917	6,455	8,423	3,911	6,763	12,054	80,582
1984	昭和 59	50,845	14,831	11,168	19,046	6,548	8,396	3,890	6,783	12,106	82,020
1985	昭和 60	52,596	15,499	11,335	20,263	6,661	8,480	3,897	6,746	12,077	83,796
1986	昭和 61	54,369	15,416	11,578	21,464	6,531	8,439	3,833	6,689	12,042	85,372
1987	昭和 62	55,131	15,301	11,822	22,412	6,268	8,411	3,803	6,688	11,938	85,971
1988	昭和 63	56,317	15,538	11,943	23,658	6,042	8,444	3,796	6,673	11,861	87,091
1989	平成元	57,592	15,862	12,153	24,470	6,034	8,381	3,854	6,610	11,734	88,171
1990	平成２	58,911	15,927	12,533	25,051	6,043	8,349	3,886	6,592	11,594	89,332
1991	平成３	59,880	16,774	12,702	25,817	6,115	8,393	3,873	6,643	11,540	90,329
1992	平成４	61,722	17,102	12,894	26,412	6,050	8,509	3,843	6,622	11,457	92,153
1993	平成５	62,614	17,253	12,917	27,012	5,998	8,574	3,827	6,597	11,332	92,944
1994	平成６	63,323	17,315	12,932	27,353	5,914	8,651	3,807	6,600	11,277	93,658
1995	平成７	63,080	17,035	12,955	27,415	5,753	8,982	3,807	6,602	11,144	93,615
1996	平成８	62,891	16,718	13,297	27,401	5,503	9,272	3,754	6,587	10,983	93,487
1997	平成９	62,699	16,515	13,530	27,361	5,405	9,624	3,714	6,587	10,795	93,419
1998	平成 10	62,522	16,237	13,684	27,361	5,386	9,949	3,707	6,589	10,676	93,443
1999	平成 11	62,629	16,131	13,790	27,706	5,277	10,066	3,682	6,600	10,514	93,491
2000	平成 12	62,741	15,970	13,833	27,795	5,238	10,062	3,668	6,564	10,319	93,354

2001	平成 13	62,620	15,723	13,925	27,628	5,361	10,111	3,624	6,491	10,203	93,049
2002	平成 14	62,562	15,841	13,938	27,638	5,424	10,075	3,566	6,381	10,082	92,666
2003	平成 15	62,815	15,882	14,179	27,328	5,582	9,987	3,540	6,270	9,971	92,583
2004	平成 16	62,791	15,915	14,277	27,105	5,757	9,973	3,481	6,232	9,821	92,298
2005	平成 17	62,876	15,775	14,270	27,097	5,944	9,852	3,450	6,250	9,644	92,072
2006	平成 18	62,716	15,660	14,268	26,975	6,026	9,692	3,396	6,124	9,425	91,353
2007	平成 19	62,804	15,519	14,286	26,882	6,190	9,486	3,321	5,989	9,258	90,858
2008	平成 20	62,725	15,543	14,332	26,857	6,288	9,323	3,229	5,876	9,041	90,194
2009	平成 21	62,919	15,447	14,420	26,772	6,280	9,247	3,184	5,791	8,827	89,968
2010	平成 22	63,089	15,240	14,626	26,821	6,402	9,177	3,152	5,719	8,662	89,799
2011	平成 23	63,137	15,060	14,947	26,633	6,497	9,088	3,108	5,593	8,451	89,377
2012	平成 24	63,195	15,105	15,063	26,481	6,546	8,993	3,037	5,471	8,262	88,958
2013	平成 25	63,687	15,263	15,382	26,458	6,584	8,904	2,957	5,438	8,093	89,079
2014	平成 26	63,406	15,173	15,404	26,280	6,549	8,776	2,915	5,347	7,872	88,316
2015	平成 27	63,400	15,133	15,496	26,199	6,572	8,613	2,859	5,279	7,662	87,813
2016	平成 28	63,021	15,057	15,596	25,821	6,547	8,506	2,801	5,215	7,456	86,999
2017	平成 29	62,624	14,995	15,630	25,529	6,470	8,405	2,757	5,155	7,177	86,118
2018	平成 30	62,266	14,789	15,680	25,289	6,508	8,259	2,699	5,076	6,881	85,181
2019	平成 31	61,933	14,746	15,732	25,025	6,430	8,100	2,653	4,959	6,677	84,322
2020	令和 2	61,664	14,831	15,785	24,701	6,347	7,930	2,589	4,868	6,448	83,499
2021	令和 3	61,376	14,900	15,682	24,524	6,270	7,815	2,521	4,748	6,288	82,748
2022	令和 4	60,838	14,756	15,581	24,327	6,174	7,660	2,472	4,655	6,096	81,721
2023	令和 5	60,299	14,658	15,495	24,070	6,076	7,537	2,440	4,590	5,898	80,764
2024	令和 6	59,935	14,480	15,559	23,884	6,012	7,429	2,396	4,518	5,725	80,003
2025	令和 7	59,590	14,319	15,561	23,685	6,025	7,285	2,345	4,409	5,513	79,142
2026	令和 8	59,242	14,241	15,552	23,617	5,832	7,052	2,318	4,330	5,324	78,266



周西地区人口ピラミッド

2026(令和 8)年３月



4 周西地区自治会長（市政協力員）　冊子版のみ掲載

年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
坂田											
君津台連合											
君津台東											
君津台西											
君津台南											
君津台北											
大和田											
大和田団地統括											
人見											
神門											

5 周西地区青少年相談員　冊子版のみ掲載

期	19 期			20 期			21 期			22 期	
年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
坂田											
君津台											
大和田											
大和田団地											
人見											
神門											

・下線は会長

・定数は、坂田３、君津台２、大和田１、大和田団地１、人見２、神門１　計 10

（第 22 期選出現在）

6 君津地区公民館運営審議会委員　冊子版のみ掲載

年度／地区	2015・2016	2017・2018	2019・2020	2021・2022	2023・2024	2025・2026
周西						
君津中央						
八重原						
周南						

・１期２年間　・４館で「君津地区公民館運営審議会」を構成　・下線は委員長

7 公民館だより編集委員　冊子版のみ掲載

2016（年度）	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026

8 利用運営協議会・利用者の会役員　冊子版のみ掲載

	2016（年度）	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
会長											
副会長											
事務局											
庶務											
会計											
幹事または総務											
監事											

・2018（平成 30）年度より、新体制「周西公民館利用者の会」となった。

9 職　員

	2016（年度）	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
館長	鴇田　昌弘		宮﨑　直樹			大河原　敏雄		鈴木　剛始		笹本 和男	五十嵐 徹
職員	副館長 平野　陽一		副館長 藤平　裕子					副館長 ↗ 笹本　和男			
	主事　主任主事 池田　里水 ↘		主任主事 山田　友唯 ↘			副主査 三枝　美和子			主任主事 鈴木和幸	副主査 山田　友唯	
	公民館主事 今井　雄生		公民館主事 中村　亮彦			主任主事 ↗ 山田　友唯				副主査 中村　亮彦	
	主事 田中　一成		主任主事 池田 里水		2020.10- 公民館主事 平島　幹子				主任主事 矢代　雄一		
					10月- 会） 矢島　尭					2025.1- 主事 高橋　洋子	
			5-10月 日） 大石加奈子		会） 在原　結香						
用務員	山下　惠子										
	鎌田　頼子										
		松尾 剛介	松尾　徳人								蔵 憲治
	加藤　一雄		上宇都　うた子								

・館長職は、2019 年度までは非常勤特別職、2020～2024 年度は会計年度任用職員、2025 年後以降は常勤職員が館長となっている。
・表中の、「日）」は日日雇用職員、「会）」は会計年度任用事務職員
・用務員は、～2019 年度〔日日雇用職員〕、2020 年度以降は〔会計年度任用職員〕

10 周西公民館開館 20 周年記念事業　実施要項(抄)

1　実施目的

2006(平成18)年５月14日に市内８番目の公民館として開館した周西公民館は、開館より20年の歩みを進めてきた。

そこで、2026(令和８)年度を開館20周年と定め、地域住民、関係機関・関係者、公民館が一体となって

(1) 地域と公民館のこれまでの歩みや地域の動きを振り返り、まとめること
(2) 周西地区の現状と課題を見つめ直し、今後の地域活性化への足がかりとすること
(3) これからの地域の豊かな暮らしや文化振興、地域発展に資する公民館の役割を見つめ直すこと

を目的に、各種記念事業に取り組む。

2　名称　　周西公民館開館20周年記念事業

3　事業内容

(1) 開館20周年記念誌及び広報紙の発行

(2) 開館20周年記念式典の実施

(3) 開館20周年記念文化祭の実施

(4) 開館20周年記念イベントの実施

4　執行体制

(1) 周西公民館開館20周年記念事業実行委員会を設置し、実施に取り組む。

(2) 実行委員会には、役員会、記念誌部会、記念文化祭部会、記念イベント部会を設置する。

ア　役員会は、地区内自治会長からの選出、地区選出の教育委員・社会教育委員および公民館運営審議委員、周西公民館利用者の会会長・副会長、周西地区地域づくり協議会代表により構成する。役員会には、実行委員長、副実行委員長、会計、監査、各部会担当を置く。記念事業全体総括と共に、記念式典実施を所管する。

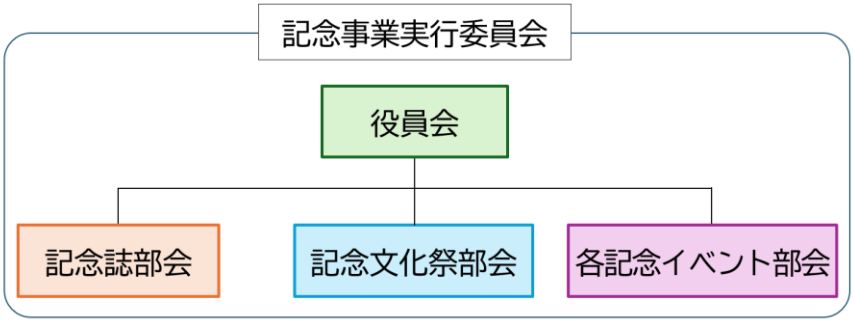
イ　記念誌部会は、周西公民館だより「はまっぺ」編集委員、および2017(平成29)年度以降の同編集委員経験者有志により構成する。記念誌及び広報紙の発行を所管する。

ウ　記念文化祭部会は、第20回文化祭実行委員会をもって充てる。

エ　記念イベント部会（プロジェクトチーム）は、各種の記念イベントの具体化に合わせて、その都度の募集により構成する。

(3) 上記ア～エの総体を周西公民館開館20周年記念事業実行委員会と位置づける。

(4) 同実行委員会は、周西公民館開館20周年記念事業が全て終了したときに解散する。



11 周西公民館開館 20 周年記念事業のあゆみ

（2026年9月15日現在の記載）

1　実行委員会体制

(1)役員会

実行委員長
　相場 明彦（人見自治会長）
副実行委員長
　中村 研一（利用者の会　前副会長）
会　　計
　馬場 ミヨ（公民館運営審議会委員）
監　　査
　水口 純子（公民館運営審議会委員）
役　　員
　古屋 有佳（公民館運営審議会委員）
　小泉 啓輔（利用者の会　会長）
　野上 慎治（周西ファンＢＡＳＥ　共同代表）

(2)記念誌部会　５名

編集委員　朝生 真由美（君津台）
　　小沢 洋（人見）
　　川崎 佳世子（人見）
　　廣部 かおり（大和田）
　　古屋 有佳（西坂田）

(3)記念文化祭部会　44名

第20回記念周西公民館地区文化祭
実行委員会
実行委員長　中村研一（さわやかサークル）

(4)各種記念イベント部会

○周西地区「支え合う防災」
　地域づくり協議会「周西ファンＢＡＳＥ」との共同開催。同会より３名の実行委員。

○周西地区大モルック大会
　実行委員会役員会を中心に企画運営。当日スタッフを募集

○周西ひだまりひろばプロジェクト
　４名のプロジェクトメンバーにより企画運営。

2　各種事業の概要

(1)開館20周年記念誌及び広報紙発行

①開館20周年記念誌
　2025年11月から編集会議開始。

②開館20周年記念広報紙発行
　2026年12月発行予定の「はまっぺ」を記念事業特別号として作成・発行予定

(2)開館20周年記念式典

・2026年11月３日（火・祝）９時～
・内容：周西公民館の歌／あいさつ／来賓紹介／君津高校書道部による書道パフォーマンス／記念品配布

(3)開館20周年記念文化祭

・2026年11月３日（火・祝）から11月８日（日）の長期間開催。
・展示、発表、体験、販売の４分野に加え、特別企画として、「地域と公民館の10年のあゆみ」を展示

(4)開館20周年記念イベントの実施

①周西地区「支え合う防災」



・５月17日（日）10時から12時
・地域づくり協議会「周西ファンＢＡＳＥ」との共同実施
・「災害避難時に支援を必要とする人への支援をどう考えるか」をテーマに、支え合いの地域づくりを目指す取り組みとして実施



・内容：こどもの標語作品発表／体験談「令和元年台風のとき、助けを必要とする人たちはどう過ごしたか」（動画上映）／君津市の災害時要支援者への取組（周西地区の現状）について／避難行動訓練イーバッグ（カードタイプのワークショップ）
・参加者：58人（関係者含む）

②ＸＲ体験会「親子で体感！最先端ＸＲ技術とキミの未来」

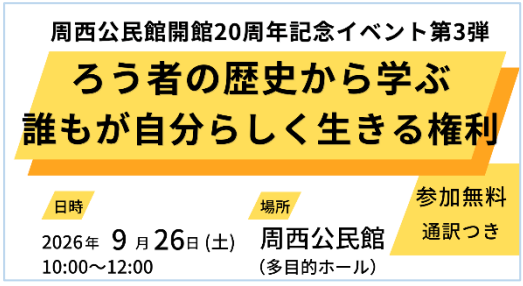


・９月５日（土）13時30分から16時
・協力・講師：安藤晃弘さん（株式会社ハシラス 代表取締役社長。坂田小学校、周西中学校出身）



・内容：①ステージマジシャンからＸＲ会社の社長へ？！のお話　②最新のＸＲ技術を体験！（３つのコンテンツ体験と解説）
・参加：親子18組35名含む　計45名

③講演会「ろう者の歴史から学ぶ、誰もが自分らしく生きる権利」



・９月26日（土）10時から12時
・講師：植野圭哉さん（社会福祉法人 千葉県聴覚障害者協会 理事長）

④交流事業「周西地区　大モルック大会」
・11月３日（火・祝）10時から
・自治会、各種地域団体、公民館利用サークル、地区住民などに参加を呼びかけ、地域全体が一体となって交流を深める取り組みとして実施
・32チームの参加を予定

⑤つながりの場づくり事業
「周西ひだまりひろばプロジェクト」



・2025年度よりプロジェクトメンバーにより学習・検討を開始し、2026年5月から本格実施した、周西公民館のギャラリー及び芝生広場の利用活性化の取り組み。
・公民館のギャラリー及び芝生のエリアを「ひだまりひろば」と呼称し、出店、出展、体験などの企画希望者を募集。日常的な「出会い」の機会を創出する。
・５～８月の期間で、のべ46回の企画が実施された。

３　取り組みの経過

2025年

10月16日	開館20周年記念事業実行委員会（役員会）発足
11月18日	開館20周年記念誌部会発足。第１回編集会議
12月２日	第２回記念誌編集会議
12月３日	第３回記念誌編集会議

2026年

１月20日	第４回記念誌編集会議
２月12日	周西ファンＢＡＳＥによる「支え合う防災」に向けた事前学習会
２月24日	第５回記念誌編集会議

３月10日　第６回記念誌編集会議

３月19日　「支え合う防災」実行委員会 第１回打合せ。以降、随時実施

４月７日　第７回記念誌編集会議

４月17日　第２回役員会

４月26日　利用者の会総会にて経過説明、意見交換

４月28日　第８回記念誌編集会議

５月13日　周西公民館地区内自治会長・公民館情報交換会にて、説明と協力の依頼

５月17日　記念イベント①　周西地区「支え合う防災」開催

５月18日　第３回役員会

５月19日　第９回記念誌編集会議

５月24日　周西公民館利用者の会「サークル談話会」にて経過説明、意見交換

５月28日　市の定例記者会見で20周年記念事業について発表

６月15日　第４回役員会

６月19日　周西公民館サークル団体研修会にて経過説明、意見交換

６月23日　第10回記念誌編集会議

７月７日　第11回記念誌編集会議

７月13日　第５回役員会

７月21日　大モルック大会一次募集開始

７月28日　第12回記念誌編集会議

７月30日　記念文化祭実行委員会発足。第１回文化祭実行委員会

８月17日　第６回役員会

８月18日　第13回記念誌編集会議

９月１日　第２回文化祭実行委員会

９月５日　記念イベント②　ＸＲ体験会「親子で体感！最先端XR技術とキミの未来」

９月14日　第７回役員会

９月15日　第14回記念誌編集会議

--以下、予定--

９月26日　記念イベント③ 講演会「ろう者の歴史から学ぶ、誰もが自分らしく生きる権利」

10月７日　第８回役員会

10月18日　モルック大会チーム代表者会議

10月28日　第９回役員会

10月31日　記念誌発行

11月３日　記念式典

記念イベント④　「周西地区 大モルック大会

記念文化祭スタート
・記念文化祭にて特別展「つなぐ～地域と公民館の10年」を実施

11月７・８日　文化祭メイン開催日

11月18日　第３回文化祭実行委員会

12月17日　記念広報紙（はまっぺ特集号）発行

編集後記

周西公民館は私にとってもたくさんのつながりをつくってくれました。

特に幼児家庭教育学級「たんぽぽ学級」に長年関わらせていただいた事から、地域にたくさんのママ友ができて、小学校の行事に参加しても子供に負けないくらい私も友達がいます(笑)。

この10年、災害、コロナ、坂田小と大和田小の統合など、この地域でも本当に色々な事がありましたが、そのひとつひとつに公民館と職員さんが丁寧に関わってくれ、営利目的でなく、純粋に“地域のつなぐ”を一生懸命にやってきてくれた事を心から感謝しています。これからも公民館の“つなぐ”を大切にして、次世代の新しい人達もみんなが暮らしやすい地域になってくれるよう願っております。開館20周年おめでとうございます。

（編集委員　朝生 真由美）

周西公民館開館から今年で20年。2006年（平成18）→2026年（令和８）の間に、日本も、君津市も、周西地区も変化したことは多い。日本の人口は2008年をピークに減少に転じた。君津市ももう新しい街とは言えなくなり、人口減少・少子高齢化の波は避けられず、学校の統廃合が進んだ。企業も変化し、君津市を代表する製鉄会社は２度社名が変わった。特急電車は朝夕の僅かな本数だけとなり、みどりの窓口も無くなった。

平成から令和へ。その最初の年にこの地域は台風15号という大きな災害に見舞われた。そしてそれに続くコロナの暗い時代。そのような荒波を受けて、消えていった商店や飲食店も多い。コロナが去った後にやってきたのは慢性的な人手不足と急速な機械化・合理化への流れ。また気候変動と毎年の猛暑の影響で、恒例の地域行事も内容や開催日の変更を余儀なくされるようになった。そんな現在の中で、周西地区の変わらぬ良さとは何かについて、小糸川沿いの遊歩道を歩きながらあらためて考えをめぐらせてみたい。

（編集委員　小沢 洋）

私が小学生の頃、こども会の催し物で周西分館を利用していました。その後はこども会役員として周西分館を利用したのを最後に数年が経ち、現在の場所にできたばかりの周西公民館で講習会を受けに来て、「いつの間にこんなきれいな公民館ができたんだ」と驚きました。

それが今では周西公民館でサークル活動に参加し、利用者の会役員を経てまさかの広報紙・20周年記念誌の編集委員まで携わる事になろうとは。仕事をしながら、高齢の母の面倒をみながらの編集委員は時間に追われている中、大変でしたが、編集会議を重ねていく度に徐々に形になっていく様は楽しく、また自分の名前が公の文書に載る不思議を感じずにはいられませんでした。開館20周年を迎えた周西公民館の記念誌製作に偶然にも携わった事は、私の人生の中でかなり貴重な体験となりました。

2019年には大型台風の上陸で千葉県は多大な被害を受けましたが、その傷も癒えきれないのに今度は新型コロナウイルスで世界中が混乱に陥りました。公民館の利用が制限された時期もありましたが、皆さんの笑顔が溢れる日常が戻りました。これからも周西公民館を利用させていただきます。

（編集委員　川崎 佳世子）

周西公民館の20周年記念誌！この素敵な出来事に携われたことを嬉しく思います。初めは自分に何が出来るか不安でした。編集委員のみなさんと一緒に調べたり、話し合ったり少しずつ形になって行く記念誌作業の時間は、とても楽しかったです。「つなぐ、つなげる」という想いで、地域の方々が築いて

きた歴史を振り返り、未来へと思いをつなぐ…を思いながら慣れない作業に戸惑うこともありましたが、編集委員のみんなさんが優しくしてくれたから、焦らずゆっくり自分のペースで進めることができました。今、完成した誌面を前にして、みんなと一緒にやれて嬉しく思います。そして、このメンバーだったからこそ、みんなとやれてよかったという深い感謝の気持ちでいっぱいです。最後になりますが、制作にご協力いただいたすべての皆様に心より御礼申し上げます。

（編集委員　廣部 かおり）

周西公民館開館20周年を迎えるにあたり、記念誌作成事業に携わる機会をいただけたこと大変ありがたく感じております。私は周西在住歴が短いので、今回の編集を進める中で、周西地区の歴史の一端を垣間見ることができ、貴重な経験となりました。「すさい今昔」の過去と現在の変貌ぶりに時の流れを感じました。この先10年、20年後にどうなっているかを想像しながら撮影した「すさいの今」はとても楽しくいい思い出になりました。10年後、再びこの記念誌を開いたときに、周西がどのようになっているのかを皆さんの目で確かめてほしいです。そして、この一冊を通して、作成に関わった全ての人々の周西へ、また公民館への思いを少しでも感じていただけたら幸いです。私たちが受け継いだ周西への思いを、これからも変わりゆく景色の中で、次の世代へつながっていくことを切に願い編集後記とさせていただきます。

（編集委員　古屋 有佳）

５人の編集委員の皆様の多大なるご尽力と、調査や取材に温かくご協力いただいた地域の皆様のお力添えにより、この開館20周年記念誌を発行できましたことに、心より感謝申し上げます。

本誌で振り返ったこの10年は、劇的な変化の連続でした。新たな元号のスタート、大きな災害やコロナ禍、スマートフォンや生成ＡＩの急速な普及も進みました。また、地域においては学校再編などの変化とともに、これからの地域づくりに向けた新たな動きも生まれています。

そうした激動の年月において、公民館はみなさまに寄り添い、共に歩む存在となれていたでしょうか。学びや暮らしを支える役割を果たせていたでしょうか。職員として自問自答を重ねながら、編集作業にあたりました。

この記念誌が、次の10年、20年先へと地域と公民館のあゆみを温かく「つなぐ」架け橋となり、これからの地域と豊かな暮らしをつくる足がかりとなることを願っております。

（職員　中村 亮彦）



2026年９月15日　最後の編集会議にて

周西公民館開館20周年記念誌　つなぐ周西

編　集　周西公民館開館20周年記念事業実行委員会記念誌部会

発　行　周西公民館開館20周年記念事業実行委員会
君津市周西公民館
千葉県君津市人見４丁目11番21号
電話　0439-57-6080

発行日　2026（令和８）年10月31日

周西公民館の歌「きらめき」

作　詞：地域の皆様
補作詞：大河原 敏雄
作　曲：大河原 敏雄
編　曲：山崎 智

1 朝日に輝く 小糸川 春には桜の 散歩道
柔らかな日差しの中 鶯（うぐいす）も鳴きわたり
人と人とのふれあい 笑顔満ちあふれ
明日（あす）もまた来たい 周西公民館

2 ひときわ高い 獅子の山 人見神社に 見守られ
さわやかな夏風の中 木々の緑もまばゆく
ロビーに子どもらの声 元気に響き渡る
共に学び合う 周西公民館

3 木々も色づき 山なみ燃える 富士を仰ぎ見て 立ち上る煙
幾多の文化が生まれ 仲間の思い重なり
手に手を固く取り合って 新たな輪を広げよう
未来にはばたく 周西公民館



元周西分館外観。1980(昭和55)年建設。2006(平成18)年の周西公民館開館後は、「地域福祉推進センターゆうゆう館」として使用。2024(令和６)年３月末でゆうゆう館も閉館となった。所在地：君津市人見2-5-31。2024(令和６)年２月撮影。


すさい
20th
すさい
周西